

令和5年

京都市感染症発生動向調査  
事業実施報告書

京都市保健福祉局

## はじめに

京都市では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、京都市感染症発生動向調査事業指定医療機関の協力の下、京都市保健所と京都市感染症情報センターが感染症情報を収集・公表しています。

令和5年のインフルエンザは、全国の定点当たり報告数が流行期入りの目安である「1」を下回らないまま、令和4年/令和5年シーズンから令和5年/令和6年シーズンに移行するという異例な発生状況でした。本市においても例年よりも早い時期からの流行がみられ、コロナ禍以前のような猛威を振るいました。

小児科定点把握対象の疾患では、ヘルパンギーナの報告数が例年よりも高く推移しました。また、主に夏に流行する咽頭結膜熱の定点当たり報告数が9月に警報基準値を超え、冬季において流行が拡大しました。

新型コロナウイルスについては、令和5年5月に五類感染症へ移行しましたが、定期的に感染拡大が起きています。ゲノムサーベイランスの結果からは、短期間に変異株の置き換わりがみられているため、引き続き、新たな変異株の把握に努めてまいります。

その他の感染症についても、新型コロナウイルス感染症が発生した令和2年以降、流行の時期の変化やこれまでにない感染拡大がみられるものもあり、今後の発生動向を注視する必要があります。

感染症発生動向調査事業は、このような感染症の発生状況を正確に把握、分析し、その結果を関係者の皆様や市民の皆様へ迅速に情報公開することにより、的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

今般、「令和5年京都市感染症発生動向調査事業実施報告書」を作成しましたので、本報告書を感染症の予防及び公衆衛生対策の資料として御活用いただければ幸甚に存じます。

本報告書の作成にあたり御協力いただきました京都府医師会、京都市感染症発生動向調査指定医療機関及び京都市感染症発生動向調査委員会の諸先生方に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともより一層の御指導・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月

京都市保健福祉局

# 目 次

## I 発生動向

### 1 令和5年感染症発生動向調査概況

(1) 感染症発生動向調査事業概要 .....	1
(2) トピックス	
ア 新型コロナウイルス感染症のまとめ .....	2
イ インフルエンザのまとめ .....	3
ウ 梅毒のまとめ .....	4
(3) 全数把握対象感染症(一類～五類感染症の一部)の概況 .....	5
(4) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況	
ア インフルエンザ/COVID-19 感染症定点	
(ア) インフルエンザ .....	11
(イ) 新型コロナウイルス感染症 .....	12
イ 小児科定点	
(ア) RSウイルス感染症 .....	13
(イ) 咽頭結膜熱 .....	14
(ウ) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 .....	15
(エ) 感染性胃腸炎 .....	16
(オ) 水痘 .....	17
(カ) 手足口病 .....	18
(キ) 伝染性紅斑 .....	19
(ク) 突発性発しん .....	20
(ケ) ヘルパンギーナ .....	21
(コ) 流行性耳下腺炎 .....	22
ウ 眼科定点	
(ア) 急性出血性結膜炎 .....	23
(イ) 流行性角結膜炎 .....	24
エ 性感染症定点 .....	25
オ 基幹定点 .....	27
(5) 感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省で定める疑似症の概況 .....	27
表・図 .....	28

### 2 検査情報

(1) 三類感染症 .....	39
(2) 四類感染症	
ア デングウイルス .....	39
イ ジカウイルス .....	40
ウ 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルス .....	40
エ M痘ウイルス .....	40
(3) 五類感染症	

ア 感染性胃腸炎患者集団発生事例 .....	41
イ 麻疹ウイルス及び風疹ウイルス .....	43
ウ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 .....	43
(4) 京都市感染症発生動向調査事業における病原体検査(定点医療機関分) .....	44

# 1 令和5年感染症発生動向調査概況

## (1) 感染症発生動向調査事業概要

本事業では、平成11年4月1日から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染症法」という。）に基づき、感染症に関する情報を迅速に収集、解析、提供及び公表することにより、有効かつ的確な予防対策の確立に資することを目的としています。

令和5年12月末現在、届出対象となる感染症は一類感染症 7疾患、二類感染症 7疾患、三類感染症 5疾患、四類感染症 44疾患、五類感染症 49疾患(全数 24疾患、定点把握 25疾患)、新型インフルエンザ等感染症 4疾患、感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症が1疾患の計117疾患です。

情報収集は患者を診断した医師からの届出によるものであり、一類から五類の全数把握感染症については市内の全医療機関、五類の定点把握感染症及び疑似症については延べ148箇所の指定届出機関(インフルエンザ定点 69、小児科定点 43、眼科定点 10、STD定点 13、基幹定点 1及び疑似症定点 13からなる)の協力を得ています(令和5年12月末現在)。

市内医療機関から届出された感染症情報は医療衛生企画課を経由して入手・収集し、国へ伝達するとともに京都市感染症週報及び月報、緊急情報等によって、感染症情報の解析結果を医療衛生企画課、指定届出機関(定点の医療機関)、京都府医師会及び教育委員会等にインターネットやFAXで提供・還元しています。

また、電子メール配信サービスを通じても感染症情報を提供しており、

「医療従事者向け京都市感染症情報」(配信登録アドレスは下記。登録には別途ログインIDとパスワードが必要)

( <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000179736.html> )、

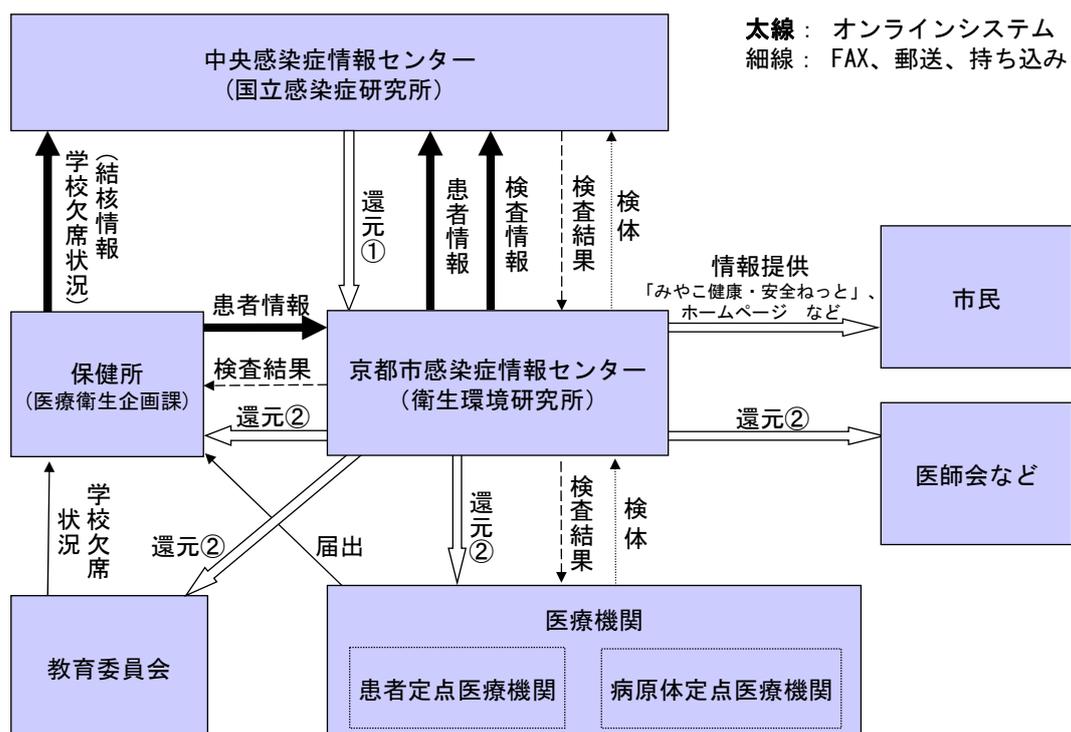
「健康危機管理情報電子メール配信(みやこ健康・安全ねっと)」(配信登録アドレスは下記)

( <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000023349.html> )

により行っています。

さらに、医療衛生企画課や衛生環境研究所のホームページにも感染症情報を掲載しています。

京都市感染症発生動向調査事業実施体制



還元① 国の「感染症週報/月報」及び全国の患者情報のデータ、検査情報のデータ

還元② 「京都市週報/月報」、「京都市こどもの感染症」及び国の「感染症週報/月報」

## (2) トピックス

### ア 令和5年 新型コロナウイルス感染症のまとめ

図1 京都市と全国における令和4年第1週～令和5年18週までの人口10万人あたりの報告数

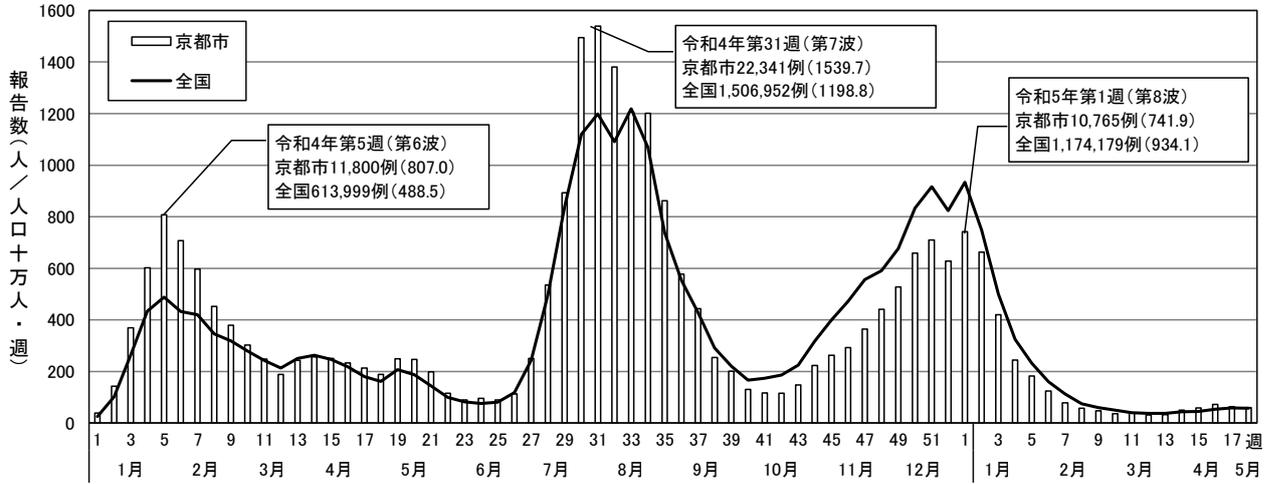


図2 令和5年第19週以降の定点当たり報告数の推移

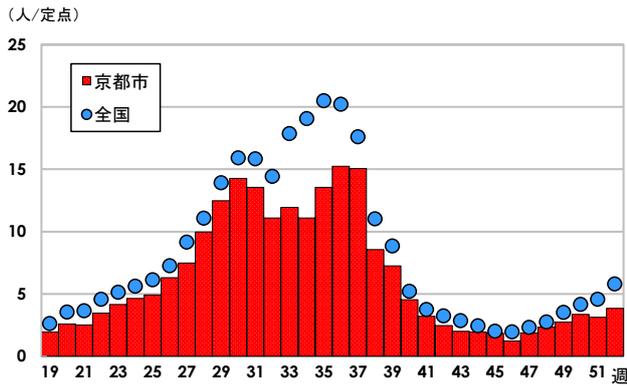


図3 年齢階級別報告数の割合(京都市・全国)2023年19週～52週

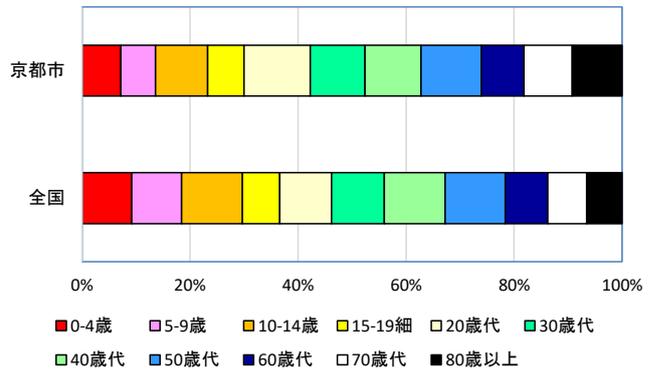
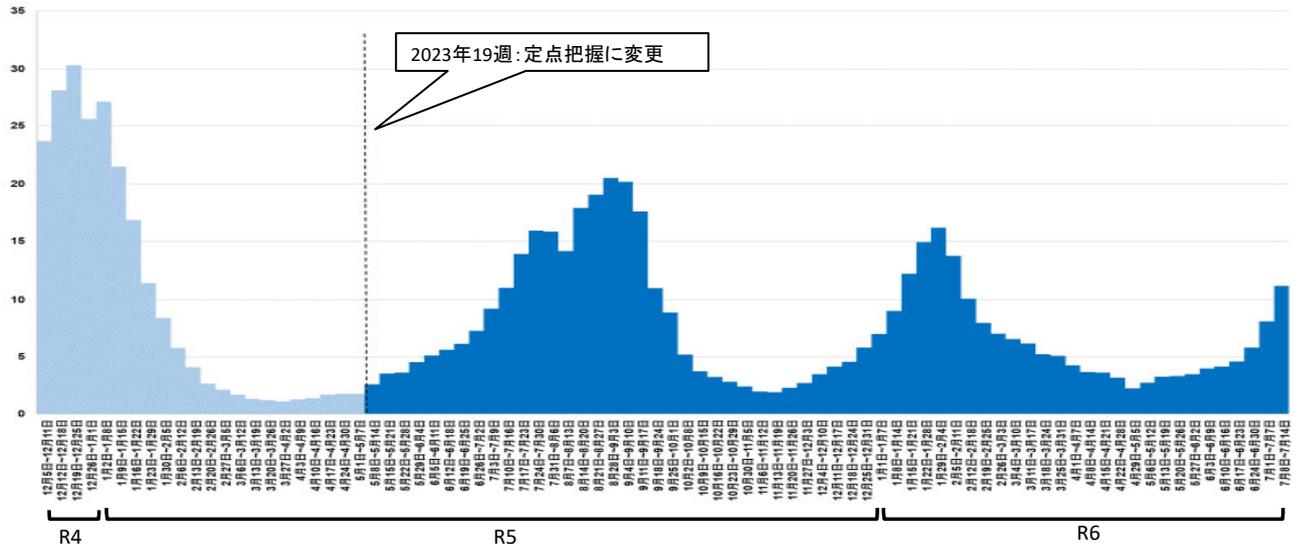


図4 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国)推移(厚生労働省報道発表資料抜粋)



厚生労働省新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料(発生状況)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00438.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00438.html)

# イ 令和5年 インフルエンザのまとめ

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

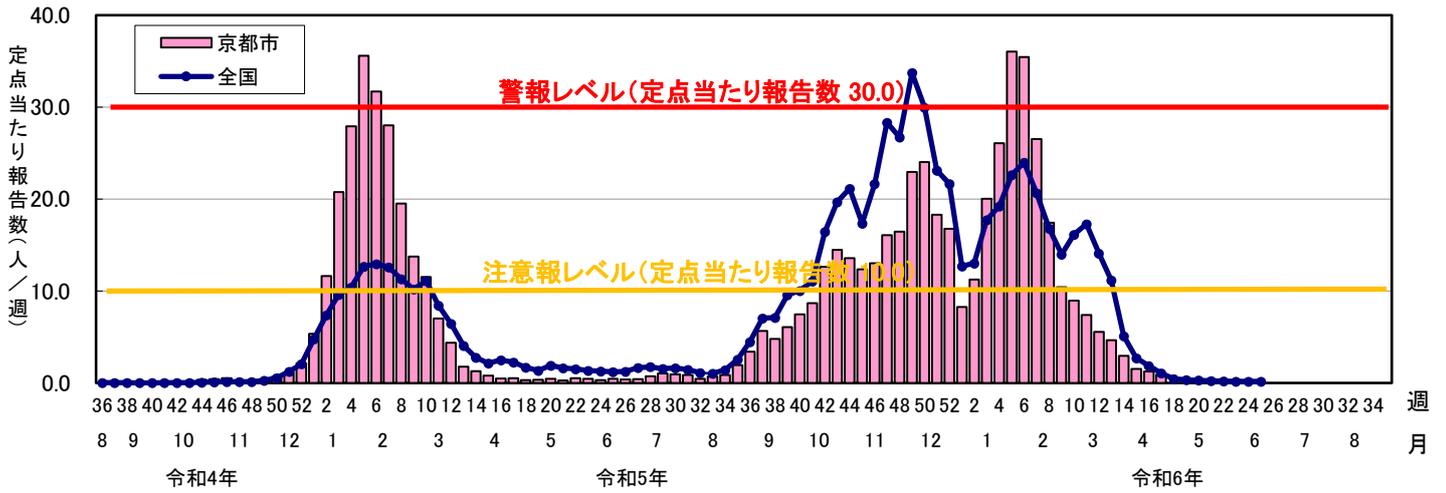


図2 全国のウイルス分離検出件数推移

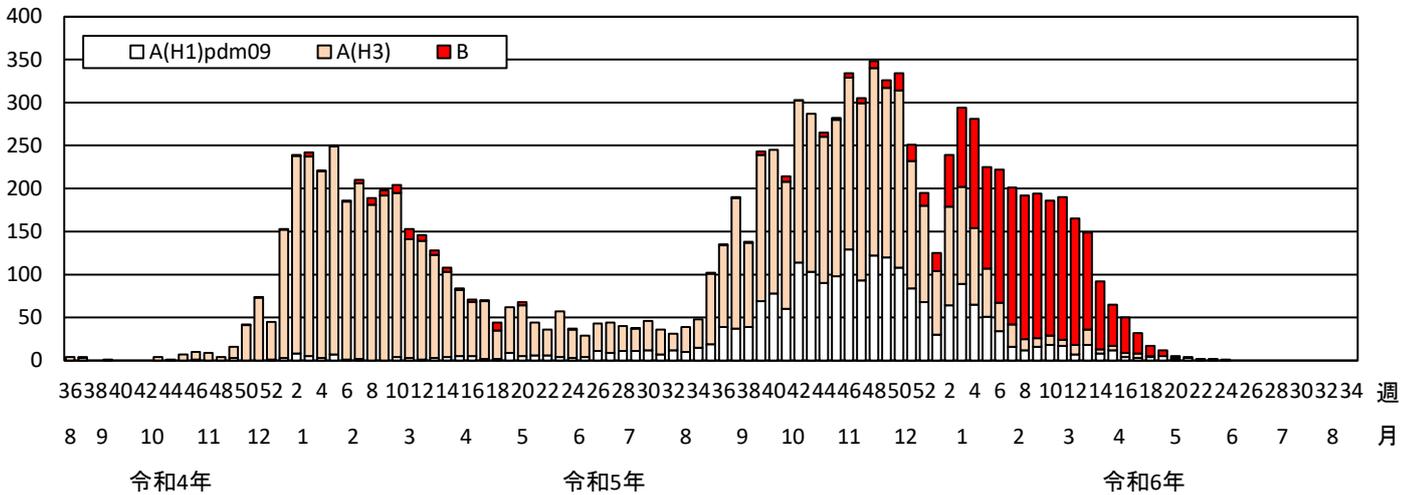


図3 京都市及び全国の年齢階級別割合

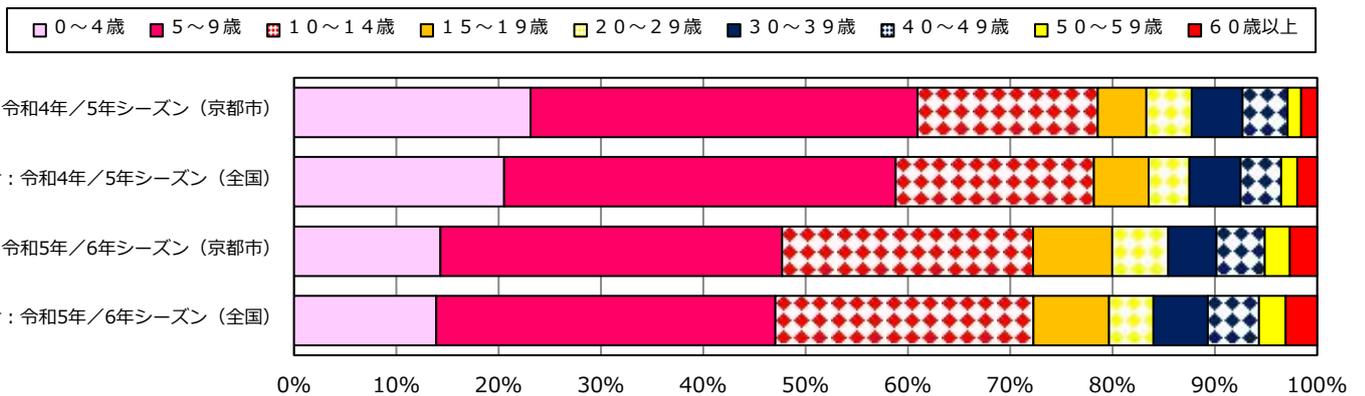


表1 京都市の過去5シーズンの流行状況

シーズン	H30/H31	R1/R2	R2/R3	R3/R4	R4/R5	R5/R6
「1.0」を上回った週	第51週	第48週			第51週	第36週
ピーク時の 定点当たり報告数 (ピークの週)	47.71 (第4週)	18.28 (第52週)	0.03 (第4週)	0.09 (第33週)	35.58 (第5週)	36.57 (第5週)
「10」を下回った週	第7週	第6週			第11週	第10週

## ウ 令和5年 梅毒のまとめ

図1 京都市における梅毒の年間報告数の推移

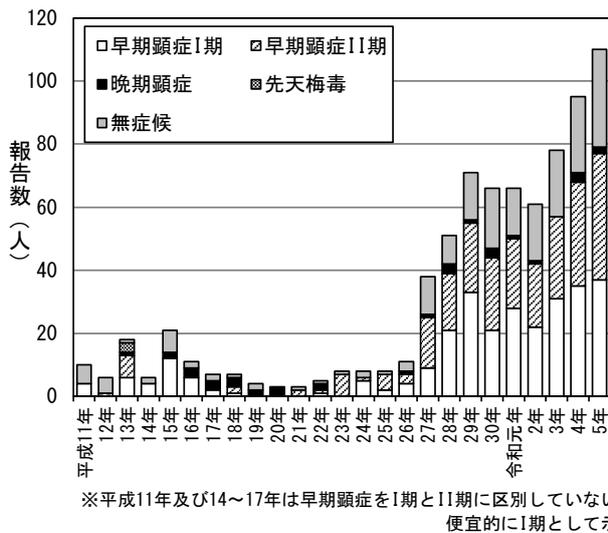


図2 全国における梅毒の年間報告数の推移

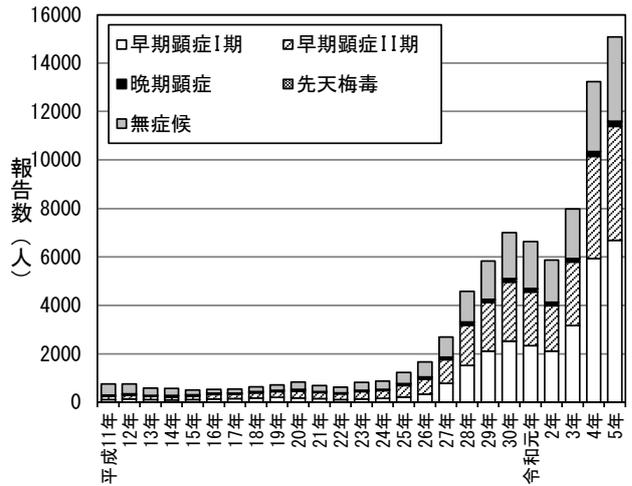


図3 全国における梅毒の診断時病期割合の推移

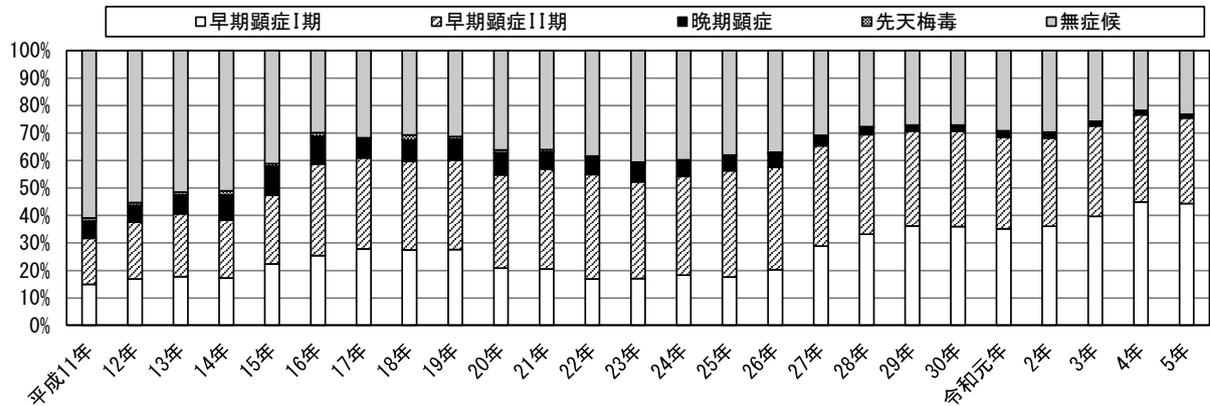


図4 京都市における梅毒の年齢構成比の推移

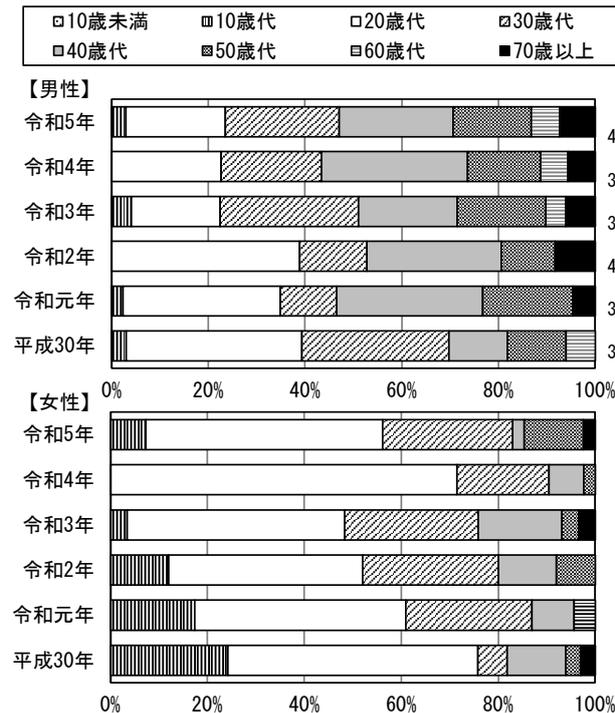
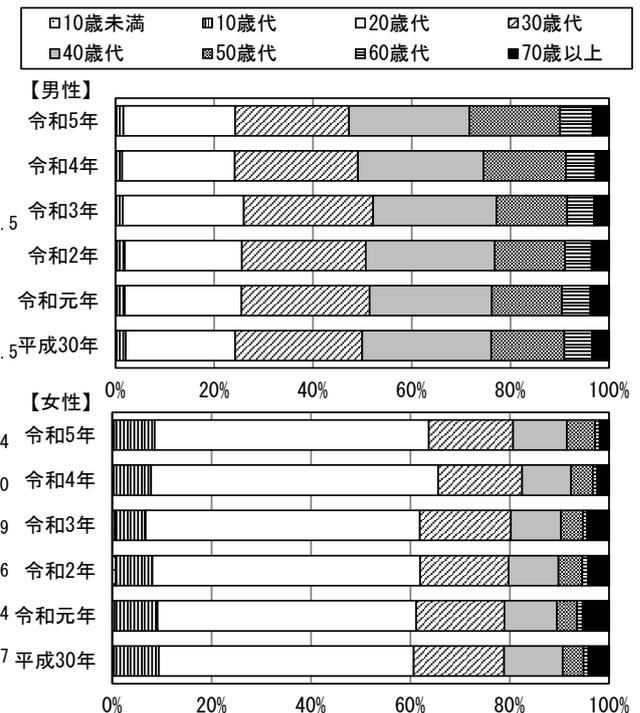


図5 全国における梅毒の年齢構成比の推移



※本市のカラム外側には、年齢中央値を示した。

(3) 全数把握対象感染症(1類~5類感染症の一部)の概況  
 《表-1-1》全数把握対象感染症の診断年別報告数の年次推移

全数把握対象感染症		診断年 <sup>(注1)</sup>											
		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
二類	結核	379	431	344	337	372	339	330	261	261	215	239	
	肺結核	219	239	187	190	185	171	166	132	100	107	118	
	その他の結核	160	192	157	147	187	168	164	129	151	108	121	
三類	細菌性赤痢	4	1	3		2	2	1	1	0	1		
	フレキシネル	3	1			1		1	1		1		
	ソンネ	1		3		1	2						
	腸管出血性大腸菌感染症	46	35	26	29	23	32	43	22	34	23	38	
	O6									1			
	O8							1			1	2	
	O26	6	6		3		12		3	1	2	1	
	O69			1									
	O78		1										
	O91						1	1					
	O103		3	1				19	1	1		1	
	O111			1								2	
	O115									1		3	
	O121						1						
	O128							1			1	2	
	O145	7			2		1	1	2				
	O146					3	1	1				1	
	O157	33	24	20	23	20	13	17	14	25	16	19	
	O165			1									
不明		1	2	1		3	2	2	5	3	7		
腸チフス	3	2	1	3	1		1				1		
パラチフス	2	1											
四類	E型肝炎		1		1	1	2	2	2	1	1	4	
	A型肝炎	2	3		3	4	14	7			1		
	オウム病					1		1	1				
	コクシオイデス症										1		
	重症熱性血小板減少症候群	(注2)			1								
	チクングニア熱		1										
	つつが虫病											1	
	デング熱	11	5	11	5	5	3	9			2	4	
	デング熱	9	5	11	5	5	3	9			2	4	
	デング出血熱	2											
	日本紅斑熱			1		1		3	2			3	
	日本脳炎							1					
	マラリア	1	3		3	4	1	1	1		1	2	
	三日熱		1						1				
	四日熱							1			1		
	熱帯熱	1	1		3	3	1					2	
	不明		1			1							
	レジオネラ症	8	16	28	17	17	29	33	14	19	25	24	
	肺炎型	7	16	28	17	17	28	31	12	19	19	23	
	ボンティアック熱型	1					1	2	2		6	1	
	レプトスピラ症					1	1						
	五類	アメーバ赤痢	13	16	22	21	19	20	12	8	8	10	7
		腸管アメーバ症	13	15	19	20	15	18	11	7	6	10	6
		腸管外アメーバ症			3	1	2	2	1	1			1
		腸管及び腸管外アメーバ症		1			2				2		
	ウイルス性肝炎	8	3	1	3	1	5	3	1	1	2	1	
	B型肝炎	7	3	1	3	1	5	2	1	0	2		
C型肝炎	1						1						
その他									1		1		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	(注4)	9	34	30	35	47	44	38	43	41	39		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)						(注6)	3	1			2		
急性脳炎		1	3	8	3	2	5	4		3	2		
クリプトスポリジウム症											1		
クワイツフェルト・ヤコブ病		3	2	3	4	4	2	5	1	2	5		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	2	6	9	7	9	10	10	11	12		
後天性免疫不全症候群	19	15	14	16	19	18	15	14	4	4	13		
無症候性キャリア	11	7	7	6	6	9	12	3	1	3	8		
AIDS	5	4	6	5	9	6	3	9	3	1	5		
その他	3	4	1	5	4	3		2					
ジアルジア症	1	2		4	1		2			1			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	(注3)	2	3	6	10	3	7	9	5	2	5		
侵襲性髄膜炎菌感染症	(注3)		1	4		1	1						
侵襲性肺炎球菌感染症	(注3)	15	40	51	77	63	73	73	25	19	28		
水痘(入院例に限る)	(注4)	2	1	3	2	3	8	2	1	3	3		
梅毒	早期顕症：I期	8	11	38	51	71	66	66	61	78	95	110	
	早期顕症：II期	2	4	9	21	33	21	28	22	31	35	37	
	晩期顕症	5	3	16	18	22	22	22	20	26	33	40	
	無症候	1	1	1	3	1	3	1	1	1	3	2	
	無症候	1	3	12	9	15	19	15	18	21	24	31	
播種性クリプトコックス症	(注4)		1			2	2	1	2	5	3		
破傷風		1	1		1	1	1	1			2		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1	1	1	2		1	4		3		
百日咳						(注5)	87	113	19	4	3		
風しん	210	1	1				14	11					
麻疹	3	4		2	1	1	2						
薬剤耐性アシネトバクター感染症	(注4)		1	7							1		
(注7) 新型コロナウイルス感染症								(注8)	3550	22,069	331,709	(注9) 44,444	

(注1) 診断年月日での集計結果であり、過去の事業報告書の結果とは異なる部分がある。  
 (注2) 平成25年4月から全数把握対象の五類感染症に追加された。  
 (注3) 平成26年9月から全数把握対象の五類感染症に追加された。  
 (注4) 平成30年1月から全数把握対象の五類感染症に追加された。  
 (注5) 分類名は、「新型コロナウイルス感染症」である。  
 (注6) 平成30年5月から全数把握対象の五類感染症に追加された。  
 (注7) 分類名は、「新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。」、令和2年2月1日から指定感染症に定められ、令和3年2月13日から新型コロナウイルス感染症に追加された。  
 (注8) 令和5年5月8日から全数把握対象感染症に変更された。

《表-1-2》全数把握対象感染症の診断月別報告数

全数把握対象感染症		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
二類	結核	239	14	17	22	21	20	15	21	16	22	22	21	28	
	肺結核	118	8	10	11	8	9	7	12	8	11	8	10	16	
	その他	121	6	7	11	13	11	8	9	8	11	14	11	12	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	38	1		8		3	4	5	5	2	6	2	2	
	O8	2					1	1							
	O26	1						1							
	O103	1							1						
	O111	2											2		
	O115	3							1	1	1				
	O128	2			2										
	O146	1												1	
	O157	19			4		2		2	4	1	5		1	
	不明	7	1		2				1			1		1	
腸チフス	1												1		
四類	E型肝炎	4				1						1	2		
	つつが虫病	1											1		
	デング熱	4								1	2		1		
	デング熱	4								1	2		1		
	日本紅斑熱	3					1	1	1						
	マラリア	2								2					
	熱帯熱	2								2					
	レジオネラ症	24	2		2		3	4	1	2	6	1	2	1	
	肺炎型	23	2		2		3	4	1	2	5	1	2	1	
	ボンティアック型	1									1				
五類	アメーバ赤痢	7	1	1					1	1		2	1		
	腸管アメーバ症	6		1					1	1		2	1		
	腸管外アメーバ症	1	1												
	ウイルス性肝炎	1									1				
	その他	1									1				
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	39	2	2	1	2	1	4	5	3	5	6	4	4	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	2							1		1				
	急性脳炎	2	1										1		
	クリプトスポリジウム症	1											1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5	1	2			1							1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12			2		2	2	2			3	1		
	後天性免疫不全症候群	13	1				1	1				4		6	
	無症候性キャリア	8										3		5	
	AIDS	5	1				1	1				1		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10	1				1	4		1		1		1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	36	4	2	2	3	2	2			3		2	4	12
	水痘(入院例に限る)	3					1	1	1						
	梅毒	110	3	11	12	8	17	5	8	10	8	13	7	8	
	早期顕症: I 期	37	1	6	2	6	6		3	3	3	3	3	1	
	早期顕症: II 期	40	1	4	5		6	4	3	3	2	7	3	2	
晩期顕症	2					1		1							
無症候	31	1	1	5	2	4	1	1	4	3	3	1	5		
播種性クリプトコックス症	2							1			1				
破傷風	2						1						1		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3							2				1			
百日咳	1								1						
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2							1	1						
五類感染症 合計	251	14	18	17	16	30	19	19	18	16	33	19	32		

《表-1-3》全数把握対象感染症の行政区別報告数

全数把握対象感染症		合計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京
二類	結核	239	22	18	22	14	10	30	14	14	34	40	21
	肺結核	118	14	8	6	5	5	18	10	6	14	19	13
	その他	121	8	10	16	9	5	12	4	8	20	21	8
三類	腸管出血性大腸菌感染症	38		4	1	18	2	2	3	1	2		5
	O8	2				1							1
	O26	1			1								
	O103	1							1				
	O111	2		1									1
	O115	3				3							
	O128	2				2							
	O146	1				1							
	O157	19		3		7	1	2	2	1	1		2
	不明	7				4	1				1		1
腸チフス	1											1	
四類	E型肝炎	4				1			1			1	1
	つつが虫病	1		1									
	デング熱	4		1		2		1					
	デング熱	4		1		2		1					
	日本紅斑熱	3						2	1				
	マラリア	2				2							
	熱帯熱	2				2							
	レジオネラ症	24		4	1	2	1	2	4			6	4
	肺炎型	23		4	1	2	1	2	4			5	4
	ボンティアック型	1										1	
五類	アメーバ赤痢	7				1		1	1			1	3
	腸管アメーバ症	6				1		1				1	3
	腸管外アメーバ症	1							1				
	ウイルス性肝炎	1				1							
	その他	1				1							
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	39		9	5		2	2	2		7	3	9
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	2		1			1						
	急性脳炎	2		1	1								
	クリプトスポリジウム症	1			1								
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5		1	1				1			2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12		6	1	1	1				2	1	
	後天性免疫不全症候群	13		2	4	3	2						2
	無症候性キャリア	8		1	3	3	1						
	AIDS	5		1	1		1						2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10		2		2	1	1				1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	36		6	3	2	2	4	2		2	8	7
	水痘(入院例に限る)	3		1				2					
	梅毒	110	3	7	16	36	2	12	3	4	13	8	6
	早期顕症：Ⅰ期	37	1	1	3	10		6		1	9	4	2
	早期顕症：Ⅱ期	40	1	2	8	14		5	1	2	3	2	2
晩期顕症	2		2										
無症候	31	1	2	5	12	2	1	2	1	1	2	2	
播種性クリプトコックス症	2											2	
破傷風	2		1								1		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3		1									2	
百日咳	1									1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2											2	
五類感染症 合計	251	3	38	32	46	11	22	9	4	26	26	34	

《表-1-4》全数把握対象感染症の性・年齢階級別報告数

全数把握対象感染症	合計	男性														女性																			
		男合計	年齢階級													女合計	年齢階級																		
			0-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-		65-	70-	75歳以上	0-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	65-	70-	75歳以上
二類	結核	239	147			2	15	4	2	2	2	5	9	6	8	9	22	61	92	2		1	10	4	4	3	3	2	5	2	2	3	9	42	
	肺結核	118	75			2	12	3					1	1	5	3	1	4	12	31	43			1	6	3	2	2	2			2	6	19	
	その他	121	72				3	1	2	2	1	4	4	3	7	5	10	30	49	2			4	1	2	1	1	2	5		2	3	3	23	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	38	13				2	2	3	1		1	1				1	2	25		2	3	4	2	3	2	1	1	1	1			2	3	
	O8	2																	2		1						1								
	O26	1	1								1																								
	O103	1	1														1																		
	O111	2																	2		1	1													
	O115	3																	3					1									2		
	O128	2	1				1												1					1											
	O146	1																	1						1										
	O157	19	5				1	1	2	1									14	1	1	3	1	1	2	1	1					2	1		
	不明	7	5				1	1					1	1			1	2	1			1													
四類	腸チフス	1	1				1																												
	E型肝炎	4	4						1				2	1																					
	つつが虫病	1																	1														1		
	デング熱	4	4				2						1	1																					
	デング熱	4	4				2						1	1																					
	日本紅斑熱	3	2														2	1										1							
	マラリア	2	1	1															1								1								
	熱帯熱	2	1	1															1								1								
	レジオネラ症	24	20						1			3	4	1	3	2	6	4													1	3			
	肺炎型	23	19						1			3	3	1	3	2	6	4													1	3			
	ポンティアック型	1	1										1																						
	レプトスピラ症																																		
五類	アメーバ赤痢	7	6						1			1		2	1	1	1										1								
	腸管アメーバ症	6	5						1			1		1	1	1	1										1								
	腸管外アメーバ症	1	1												1																				
	ウイルス性肝炎	1																	1														1		
	その他	1																	1														1		
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	39	26	1			1						2	3	1	1	17	13	1												2	2	8		
	急性激性脳炎(急性灰白髄炎を除く)	2	1	1															1	1															
	急性脳炎	2	2	1	1																														
	クリプトスポリジウム症	1	1				1																												
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5	2										1				1		3							1						2			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12	7									2		1	1	3	5									1	1	1	1	1					
	後天性免疫不全症候群	13	13				1	3	4	1	1	1	1	1																					
	無症候性キャリア	8	8				1	3	1	1	1	1	1																						
	AIDS	5	5				3	1					1																						
	慢性的インフルエンザ菌感染症	10	8	1	1	1							1				4		2												1	1			
	慢性的肺炎球菌感染症	36	18	2							1	2		2	3	8	18	1	1					1		1	1	1	1	1	1	11			
	水痘(入院例に限る)	3	3			1		1									1																		
	梅毒	110	69			2	5	9	6	10	9	7	7	5	2	2	2	3	41		3	13	7	7	4	1	5				1				
	早期顕症: I期	37	29				3	5	3	3	2	5	4	1	1		2		8		1	1	2	2	1	1									
	早期顕症: II期	40	24		1		2	4	2	4	5		1	1	1	2	1		16		2	7	4	3											
	晩期顕症	2	2										1				1																		
	無症候	31	14			1		1	3	2	1	2	3				1	17			5	1	2	3		5						1			
	播種性クリプトコックス症	2	1														1		1													1			
	破傷風	2	2								1					1																			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	2												1	1			1													1			
	百日咳	1																	1								1								
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2	1																1	1												1			
	五類感染症 合計	251	162	5	1	2	4	6	14	11	12	11	11	10	10	9	8	8	40	89	3	1	3	13	7	7	5	2	3	7	2	3	4	3	26

《表-1-5》全数把握対象感染症の感染地域(推定を含む)

全数把握対象感染症	合計	国内	海外							不明					
			海外小計	インド	インドネシア	タイ	中華人民共和国	トーゴ	ネパール		バングラデシュ	フィリピン	ベトナム	マレーシア	ミャンマー
二類	結核*	242	164	27	4	1	3		7	1	4	4	3		51
	肺結核	120	79	19	4	1	2		4	1	3	1	3		22
	その他	122	85	8			1		3		1				29
三類	腸管出血性大腸菌感染症	38	35												3
	O8	2	2												
	O26	1	1												
	O103	1	1												
	O111	2	2												
	O115	3	3												
	O128	2	2												
	O146	1	1												
	O157	19	18												1
	不明	7	5												2
腸チフス	1		1					1							
四類	E型肝炎	4	4												
	つつが虫病	1	1												
	デング熱	4		4	1	1				1		1			
	デング熱	4		4	1	1				1		1			
	日本紅斑熱	3	3												
	マラリア	2		2					2						
	熱帯熱	2		2					2						
	レジオネラ症	24	19	2		2									3
肺炎型	23	18	2		2									3	
ボンティアック型	1	1													
五類	アメーバ赤痢	7	6												1
	腸管アメーバ症	6	5												1
	腸管外アメーバ症	1	1												
	ウイルス性肝炎	1	1												
	その他	1	1												
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	39	37												2
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	2	2												
	急性脳炎	2	2												
	クリプトスポリジウム症	1	1												
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5													5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12	11												1
	後天性免疫不全症候群	13	9	2								1	1		2
	無症候性キャリア	8	5	2								1	1		1
	AIDS	5	4												1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10	7	1										1	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	36	33												3
	水痘(入院例に限る)	3	3												
	梅毒	110	92	1		1									17
	早期顕症: I 期	37	33												4
	早期顕症: II 期	40	32	1		1									7
	晩期顕症	2	1												1
	無症候	31	26												5
播種性クリプトコックス症	2	2													
破傷風	2	2													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	3													
百日咳	1	1													
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2	2													
五類感染症 合計	251	214	4		1						1	1	1	33	

(\*)推定感染地域が複数のため、実際の報告数と合計が異なる。または、複数の推定感染地域を含む。

結核(肺結核): 国内と海外(インドネシア)1例、国内と海外(ベトナム)1例  
結核(その他): 国内と海外(フィリピン)1例

《表-1-6》全数把握対象感染症の感染経路(推定を含む)

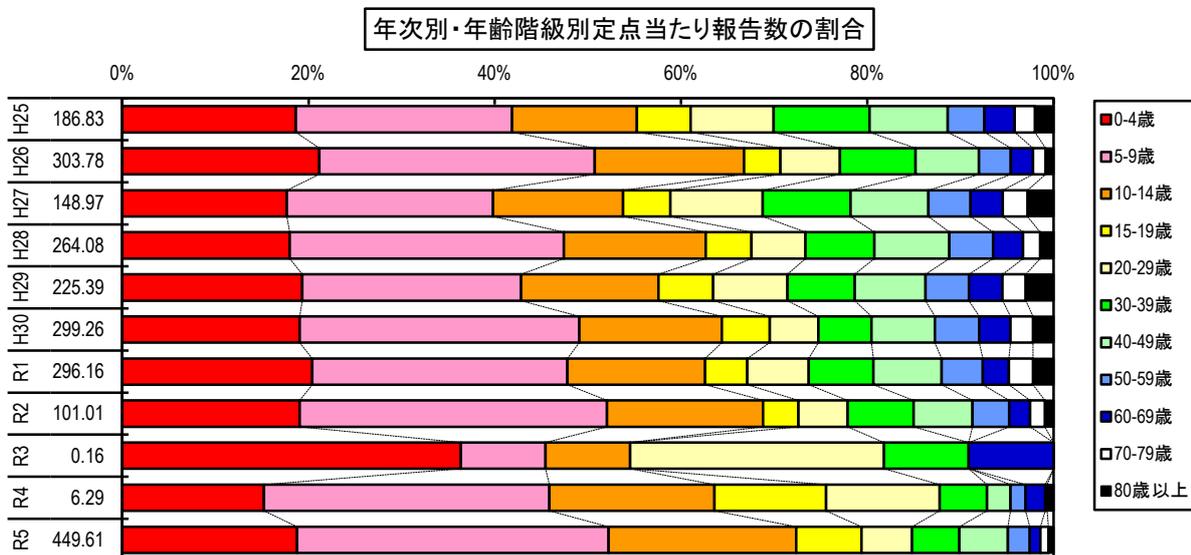
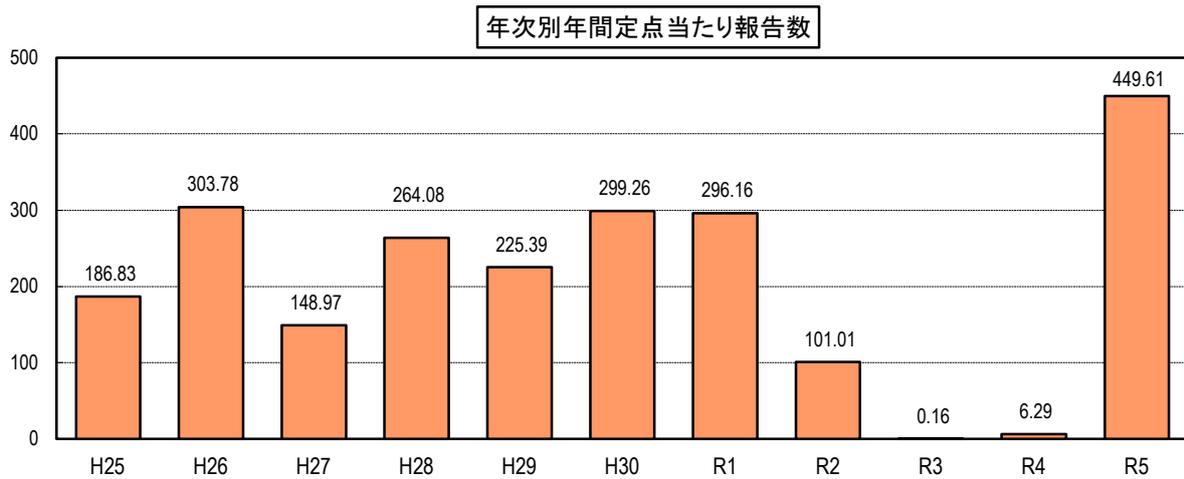
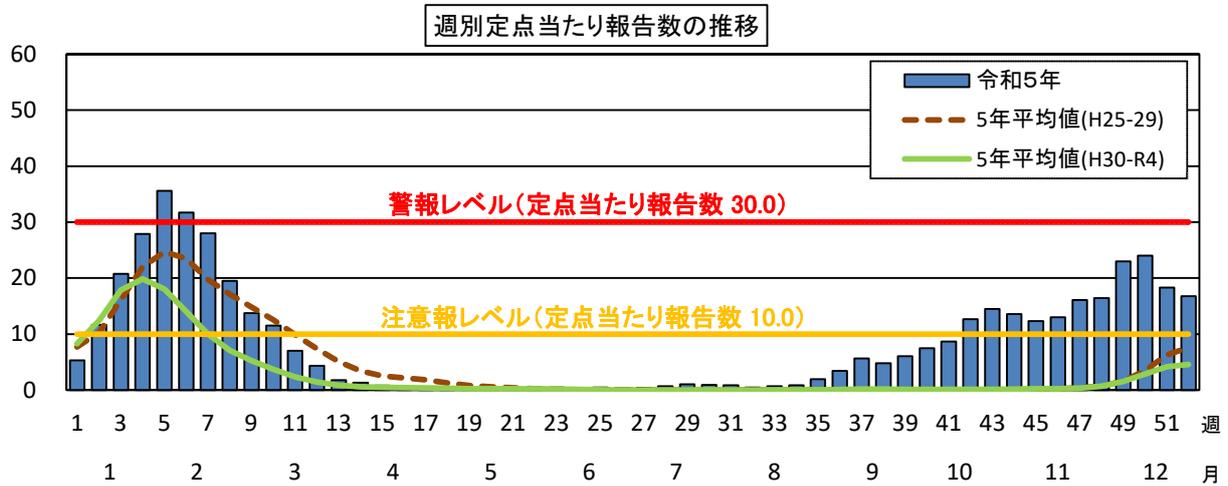
	全数把握対象感染症	合計	推定感染経路														
			飛沫・飛沫核	再燃	経口	接触	性的接触	水系	媒介動物	創傷感染	塵埃	医療器具	手術部位	以前からの保菌	家族内感染	院内感染	その他
二類	結核	239	134	3												1	101
	肺結核	118	73	2													43
	その他	121	61	1												1	58
三類	腸管出血性大腸菌感染症	38			19	2										4	13
	O8	2				1											1
	O26	1			1												
	O103	1															1
	O111	2													1	1	
	O115	3															3
	O128	2				1											1
	O146	1			1												
	O157	19			15											2	2
	不明	7			2											1	4
腸チフス	1																1
四類	E型肝炎	4			4												
	つつが虫病	1						1									
	デング熱	4						4									
	デング熱	4						4									
	日本紅斑熱	3						3									
	マラリア	2						2									
	熱帯熱	2						2									
	レジオネラ症	24						7		2						4	11
肺炎型	23						7		2						4	10	
ボンティアック型	1															1	
五類	アメーバ赤痢	7			2	2											3
	腸管アメーバ症	6			1	2											3
	腸管外アメーバ症	1			1												
	ウイルス性肝炎	1															1
	その他	1															1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	39								6			26	1	2	4	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	2	2														
	急性脳炎	2	2														
	クリプトスポリジウム症	1			1												
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5															5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12	1		1				6							2	2
	後天性免疫不全症候群	13					10										3
	無症候性キャリア	8					6										2
	AIDS	5					4										1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10	3													3	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	36	14			3										8	11
	水痘(入院例に限る)	3														1	2
	梅毒	110					97										13
	早期顕症: I期	37					35										2
	早期顕症: II期	40					35										5
晩期顕症	2					1										1	
無症候	31					26										5	
播種性クリプトコックス症	2															2	
破傷風	2							2									
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3														1	2	
百日咳	1															1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2													1		1	
五類感染症 合計	251	22		3	4	109		8		6		26	2	19	52		

#### (4) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ／COVID-19 感染症定点

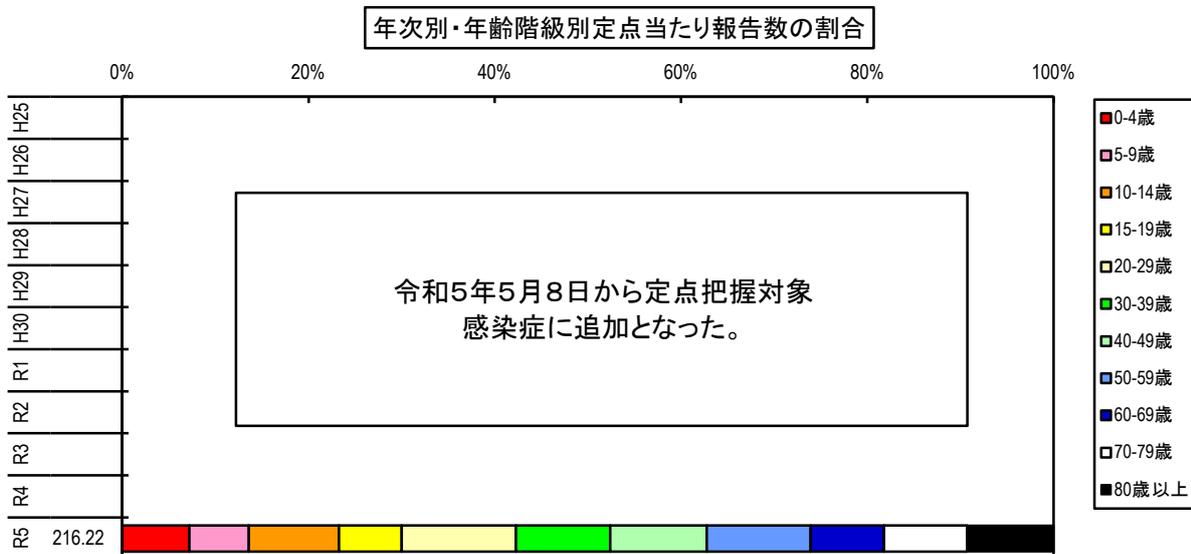
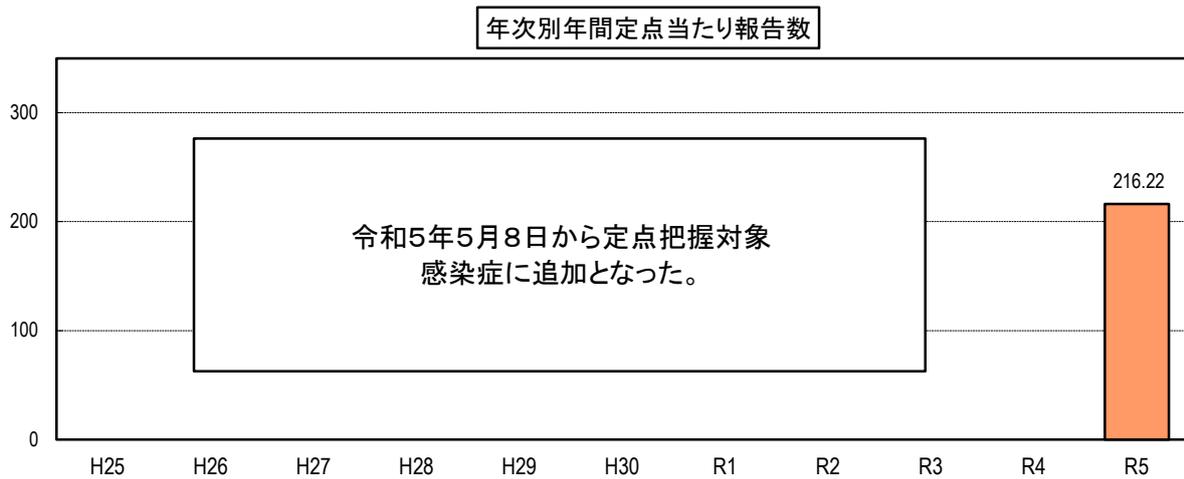
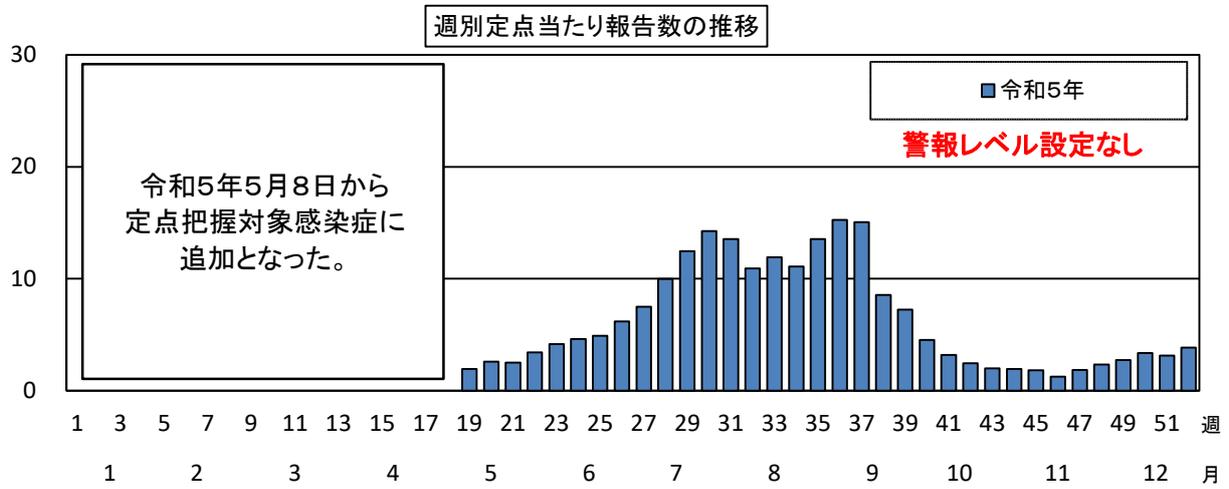
(ア) インフルエンザ

- ・年間報告数:31,023例(年間定点当たり報告数:449.61)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:3.20 / 前年比:71.48



(イ) 新型コロナウイルス感染症

・年間報告数: 14,919例(年間定点当たり報告数: 216.22)

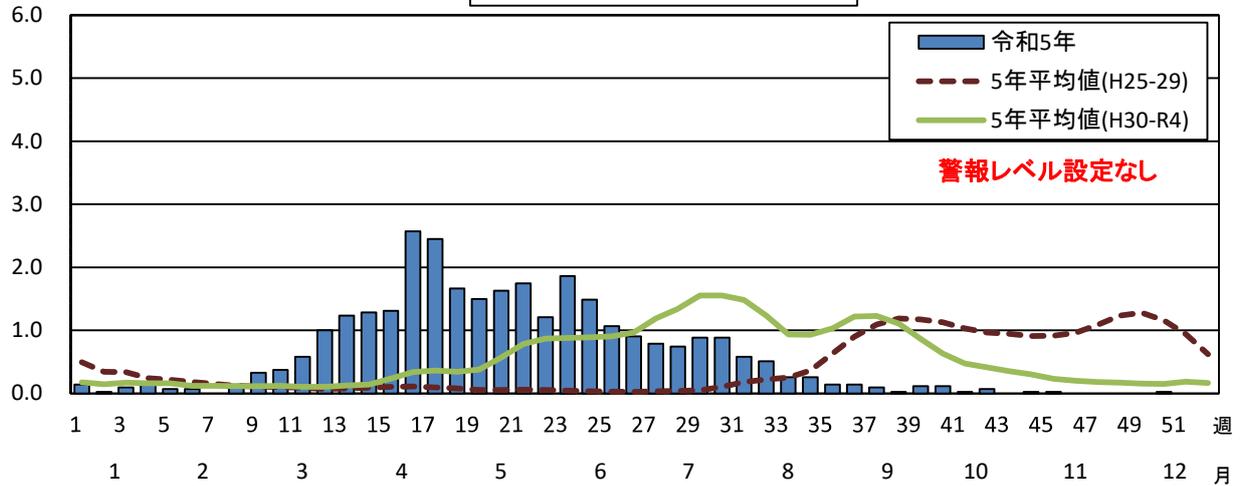


イ 小児科定点

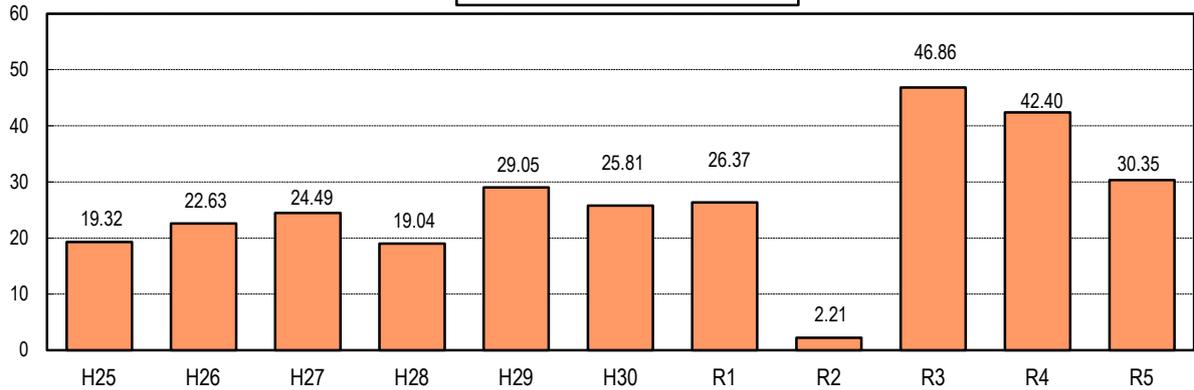
(ア) RSウイルス感染症

- ・年間報告数:1,305例(年間定点当たり報告数:30.35)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:1.06 / 前年比:0.72

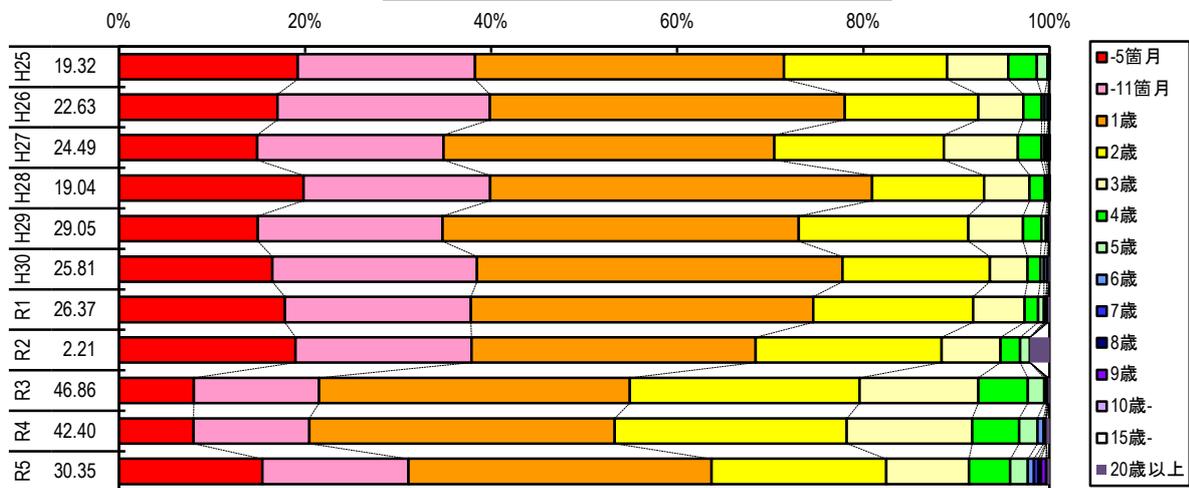
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



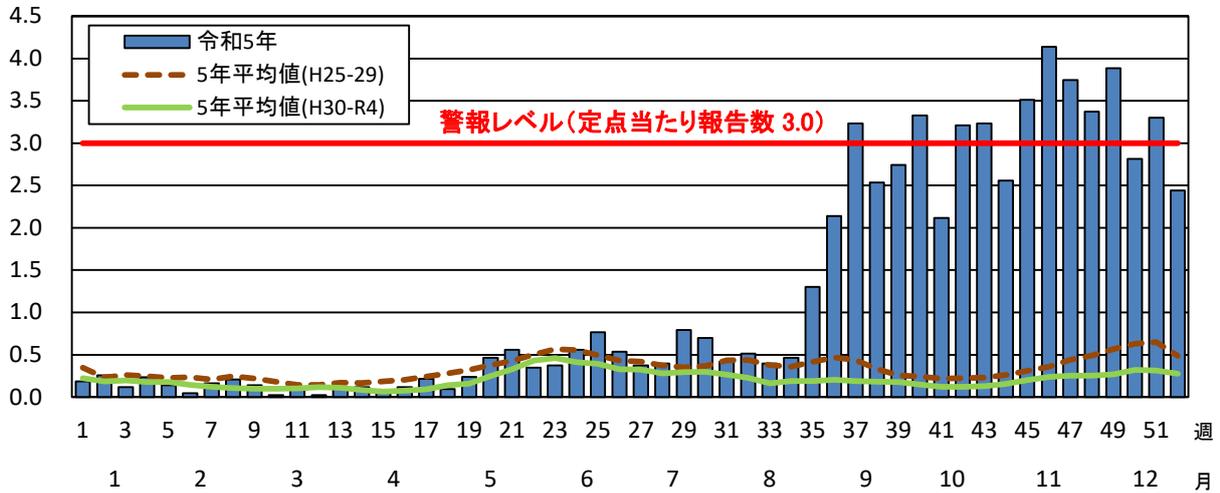
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



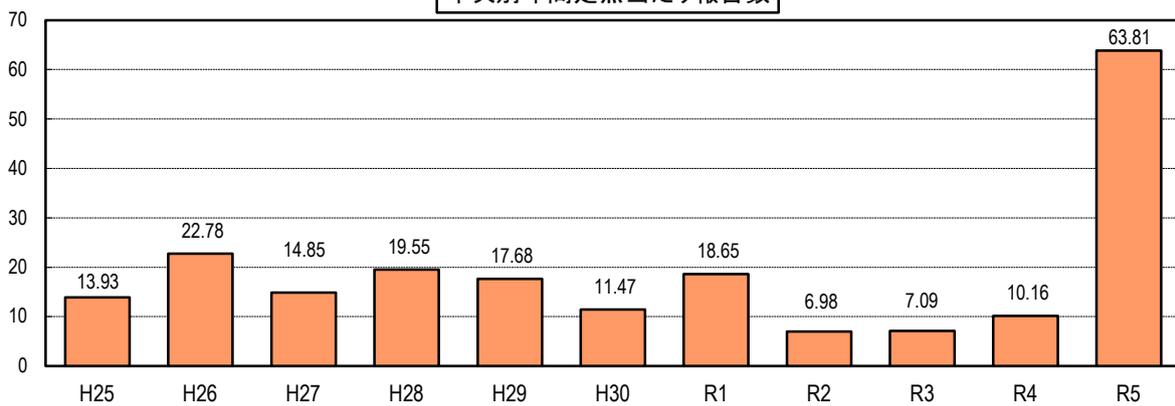
(イ) 咽頭結膜熱

- 年間報告数:2,744例(年間定点当たり報告数:63.81)
- 年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:5.87 / 前年比:6.28

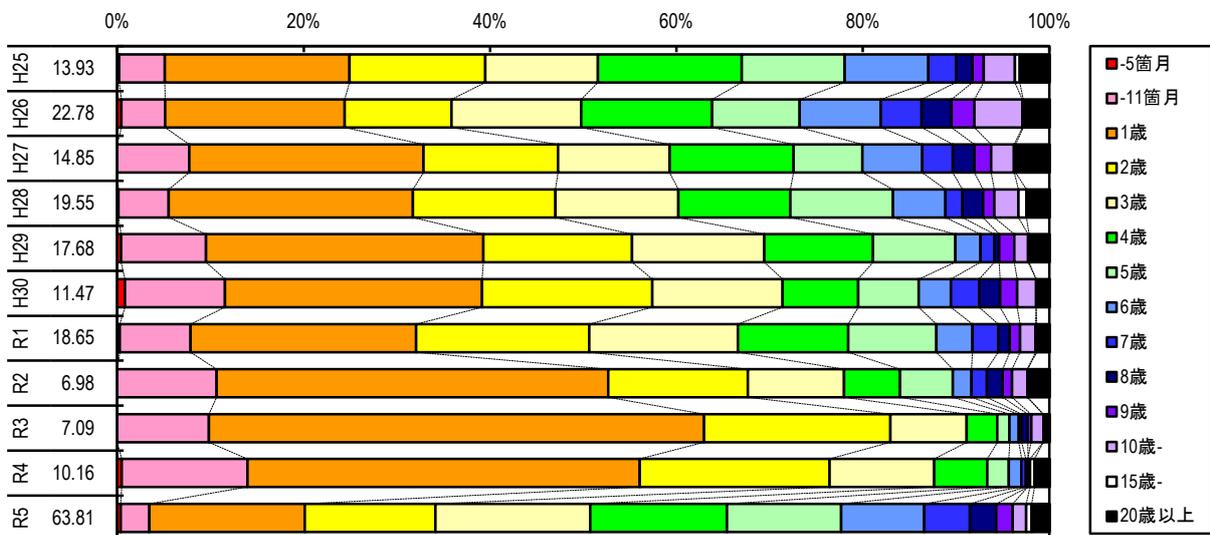
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



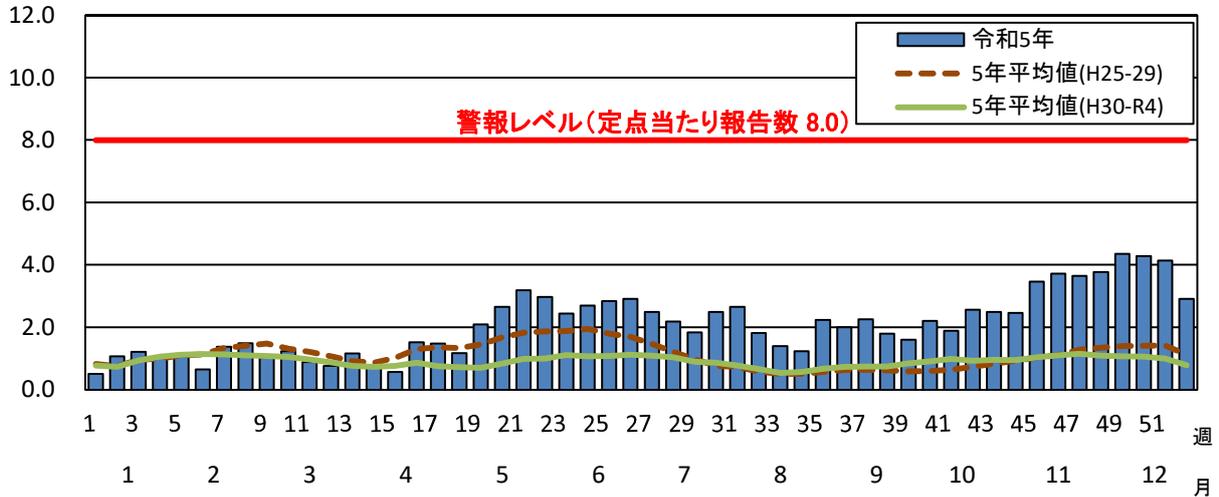
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



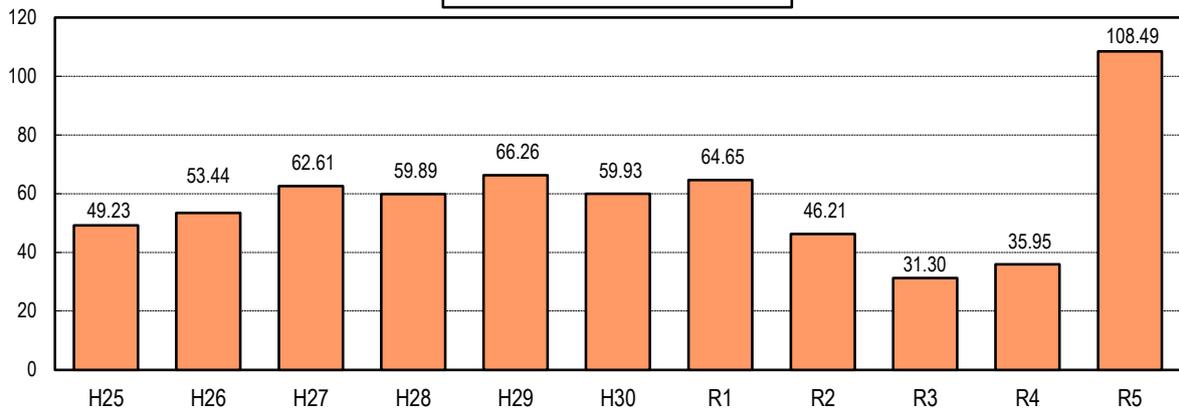
(ウ) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- ・年間報告数:4,665例(年間定点当たり報告数:108.49)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:2.28 / 前年比:3.02

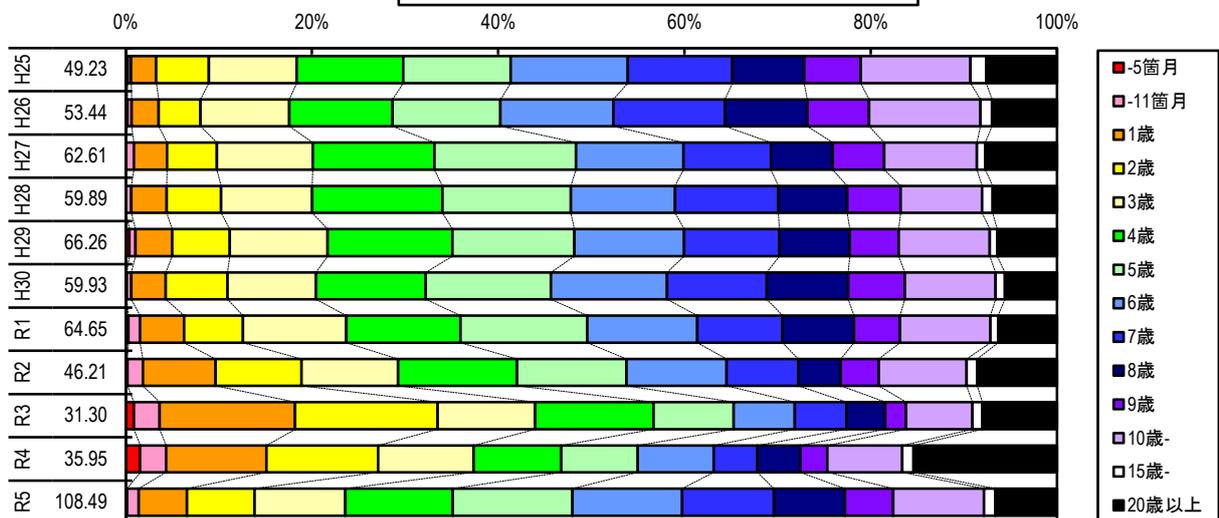
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



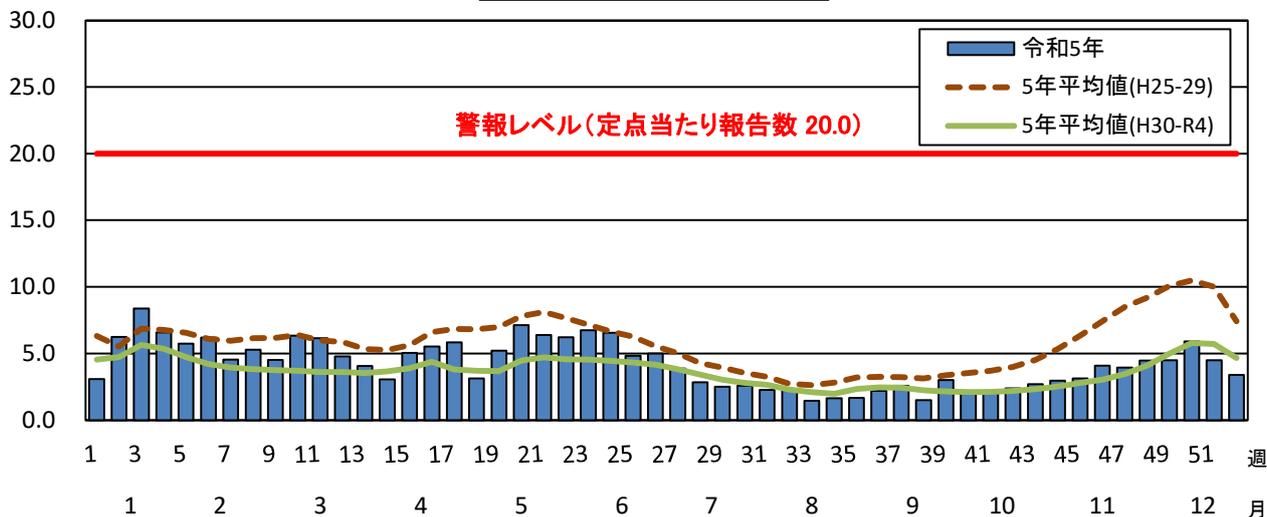
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



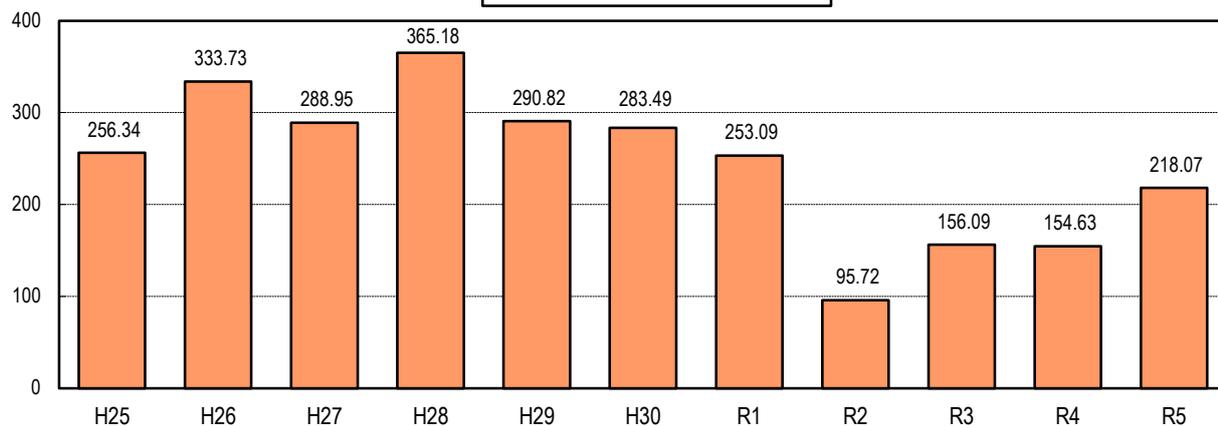
(工) 感染性胃腸炎

- ・年間報告数:9,377例(年間定点当たり報告数:218.07)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:1.16 / 前年比:1.41

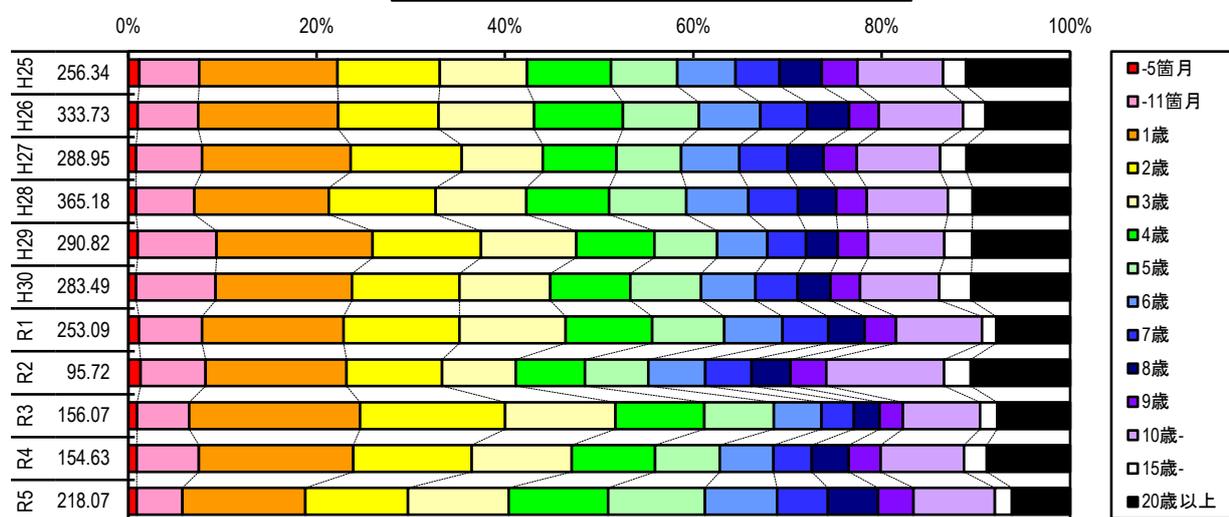
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



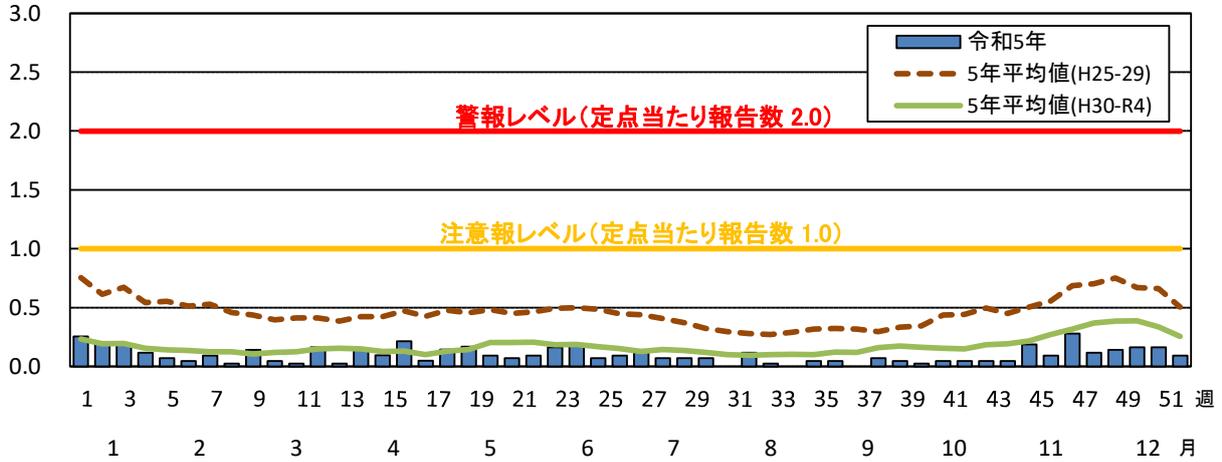
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



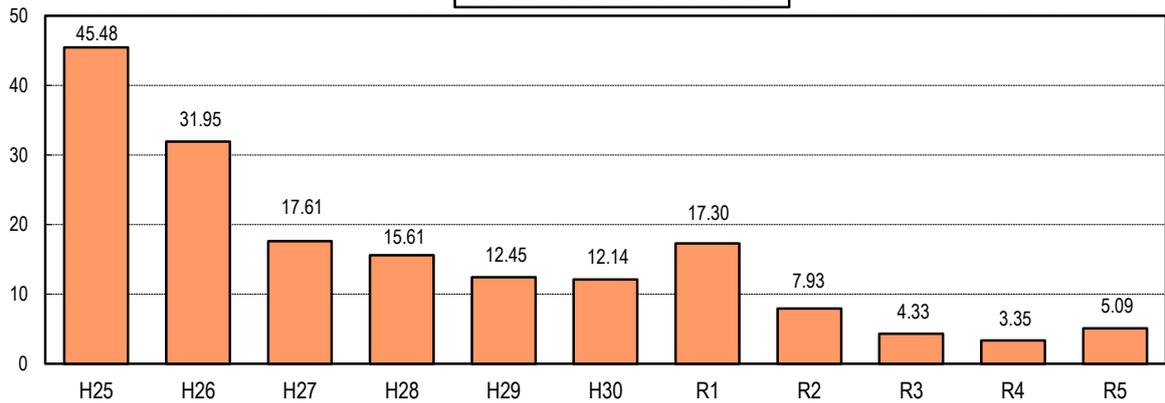
(オ) 水痘

- ・年間報告数:219例(年間定点当たり報告数:5.09)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.57 / 前年比:1.52

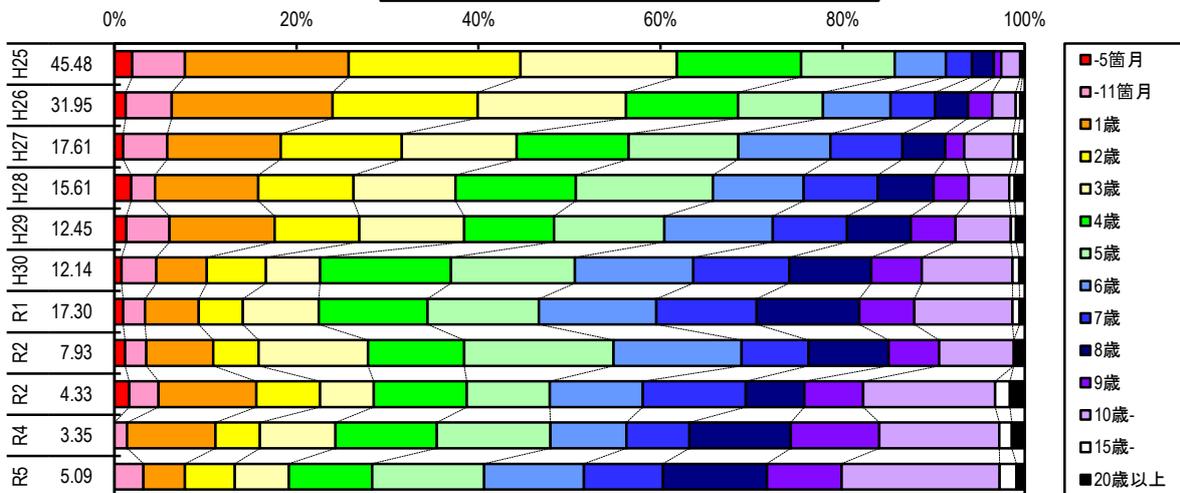
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



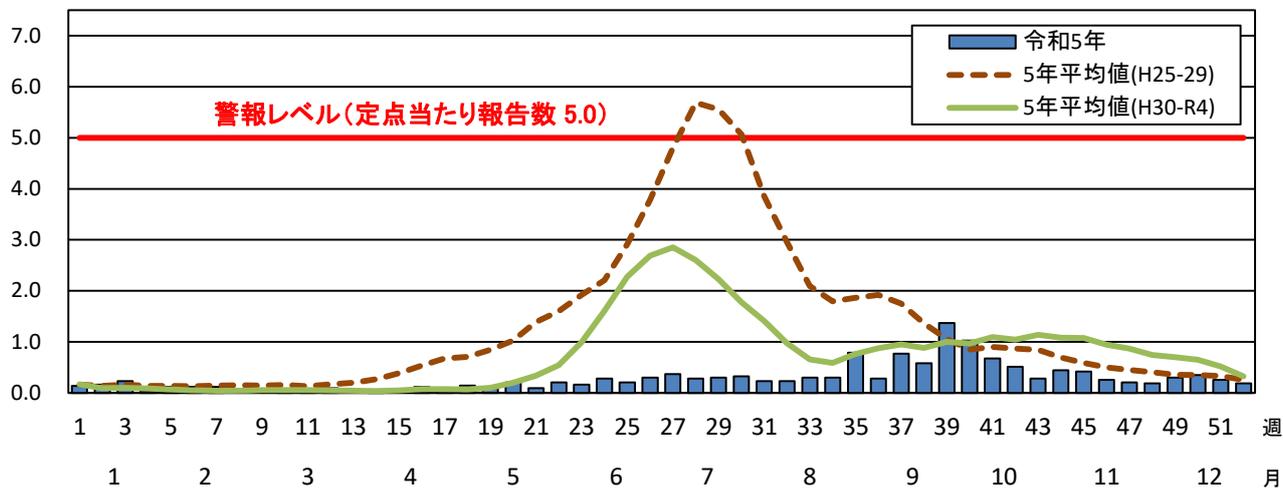
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



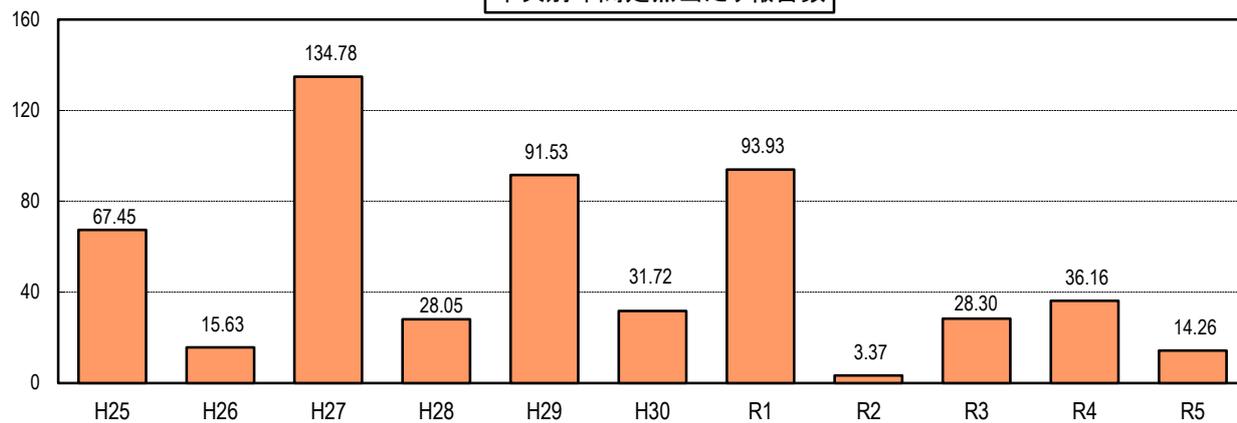
(カ) 手足口病

- ・年間報告数:613例(年間定点当たり報告数:14.26)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.37 / 前年比:0.39

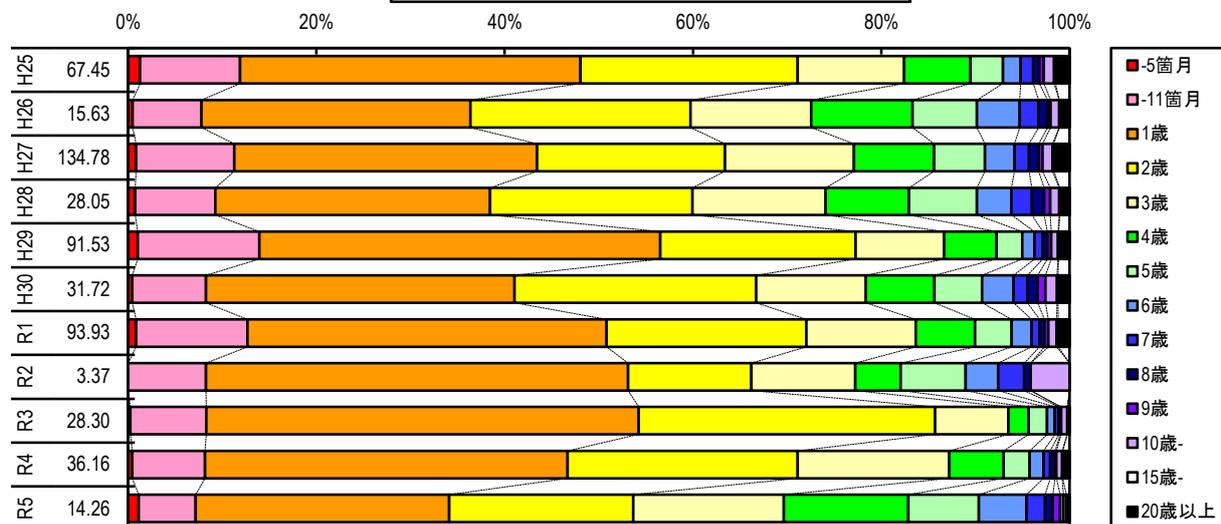
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



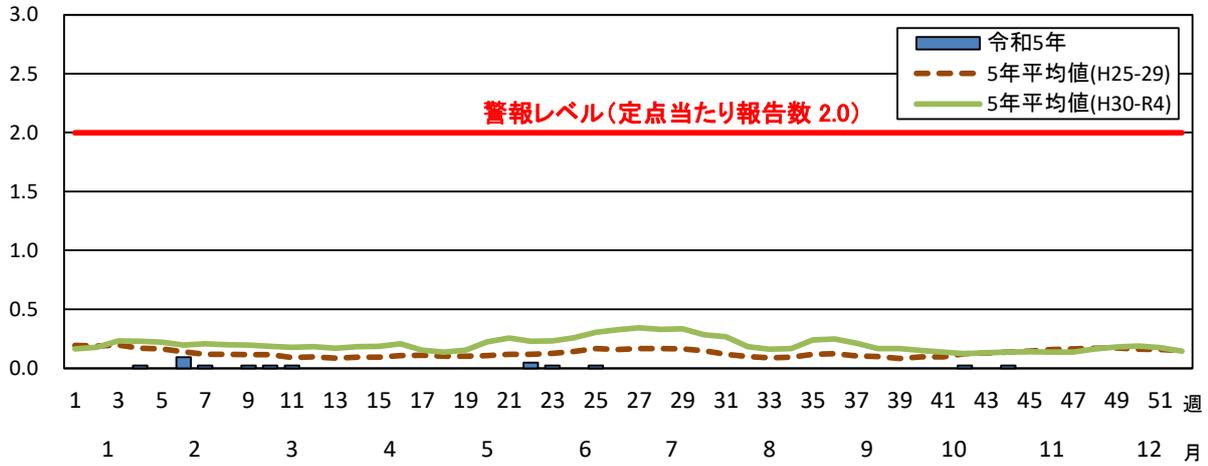
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



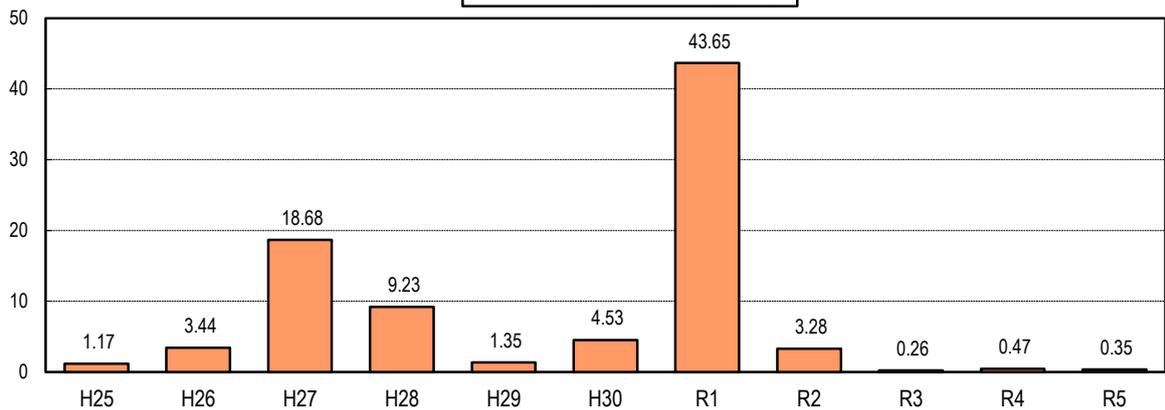
(キ) 伝染性紅斑

- ・年間報告数:15例(年間定点当たり報告数:0.35)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.03 / 前年比:0.75

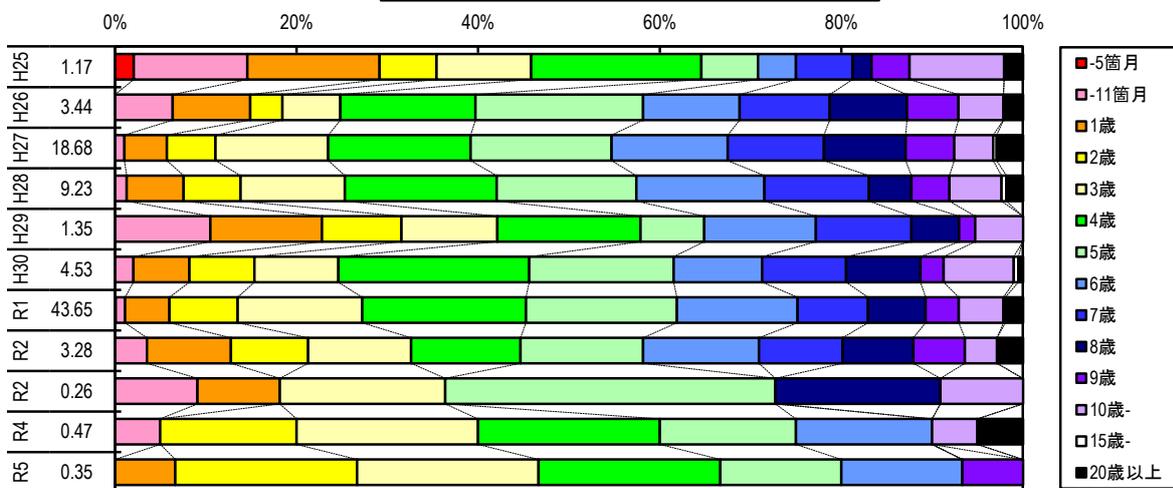
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



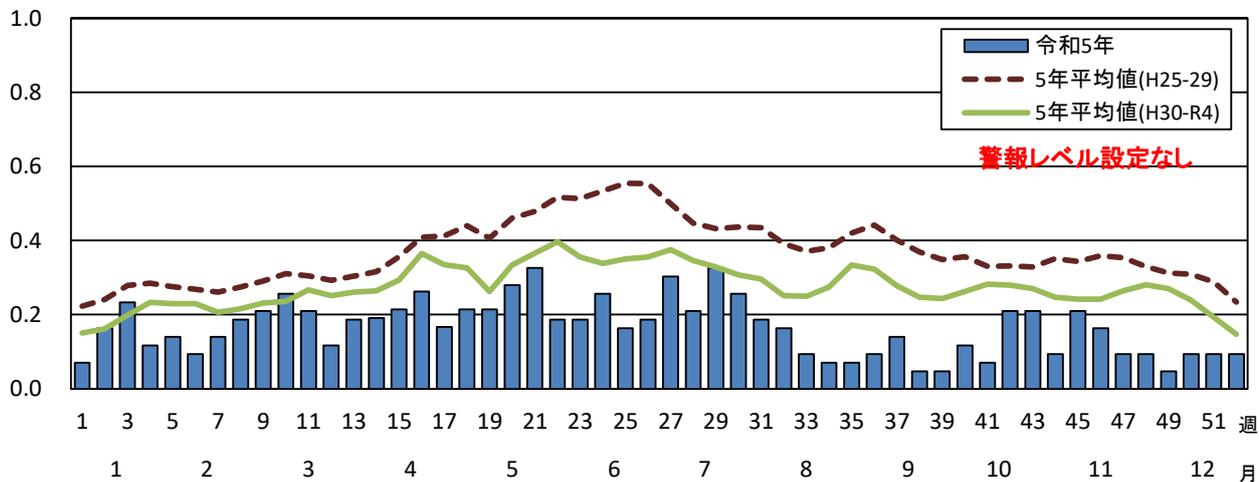
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



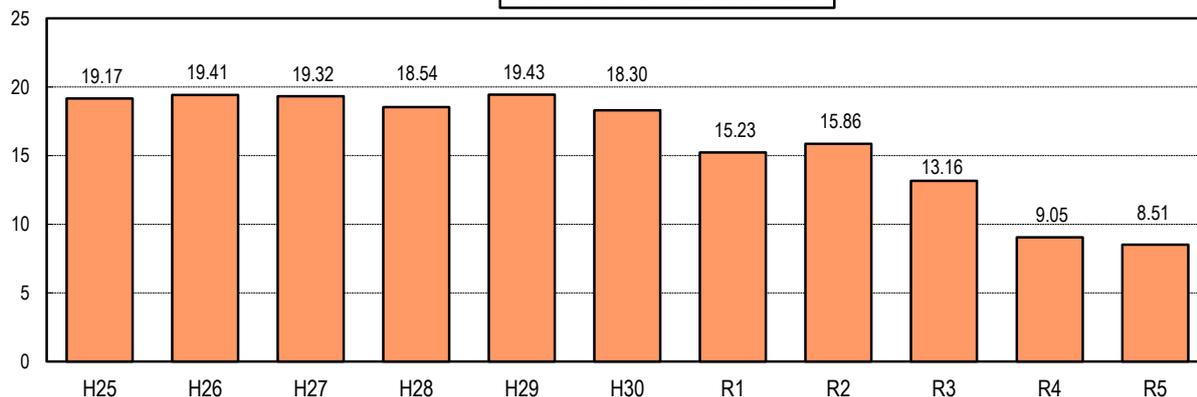
(ク) 突発性発しん

- ・年間報告数:366例(年間定点当たり報告数:8.51)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.59 / 前年比:0.94

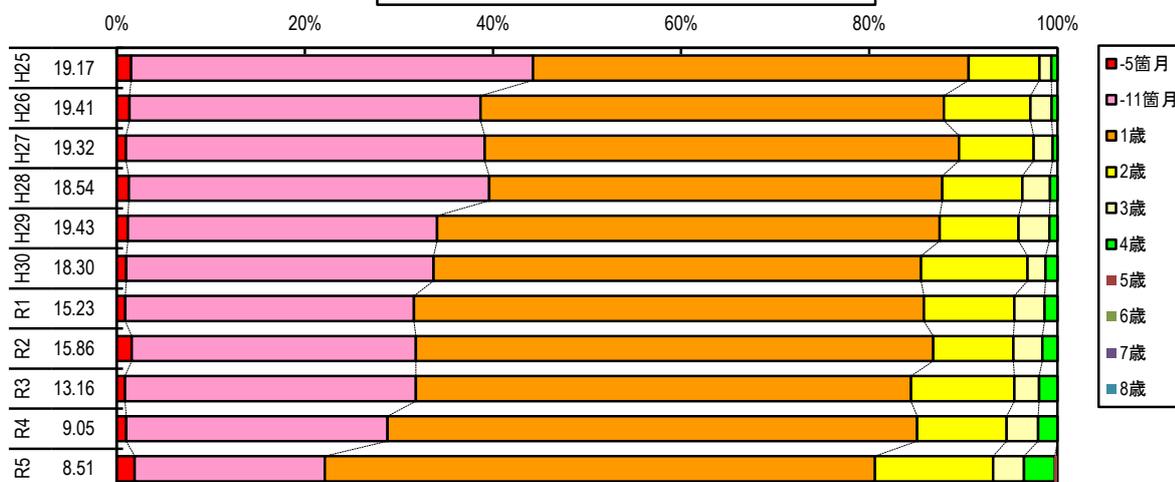
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



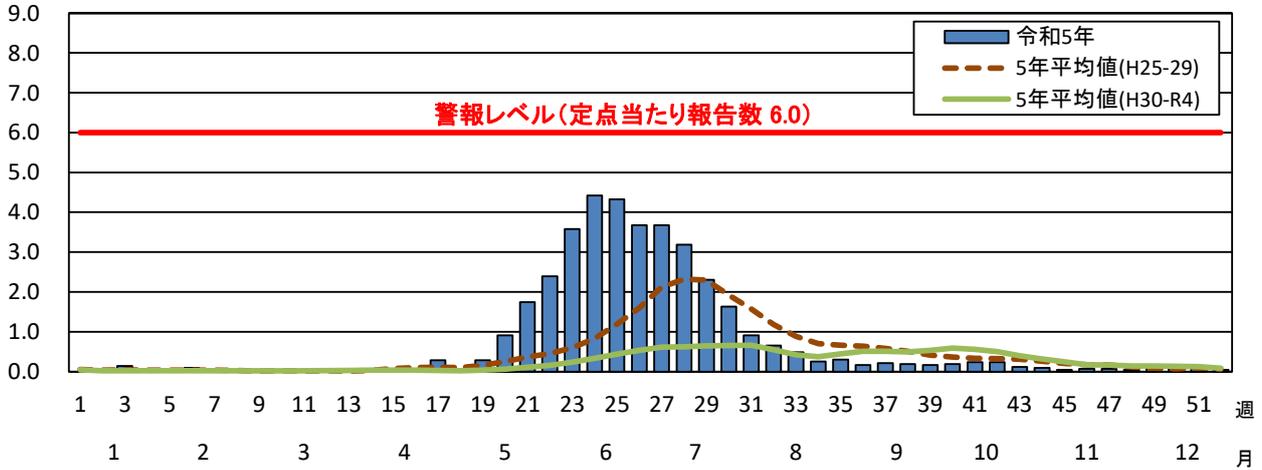
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



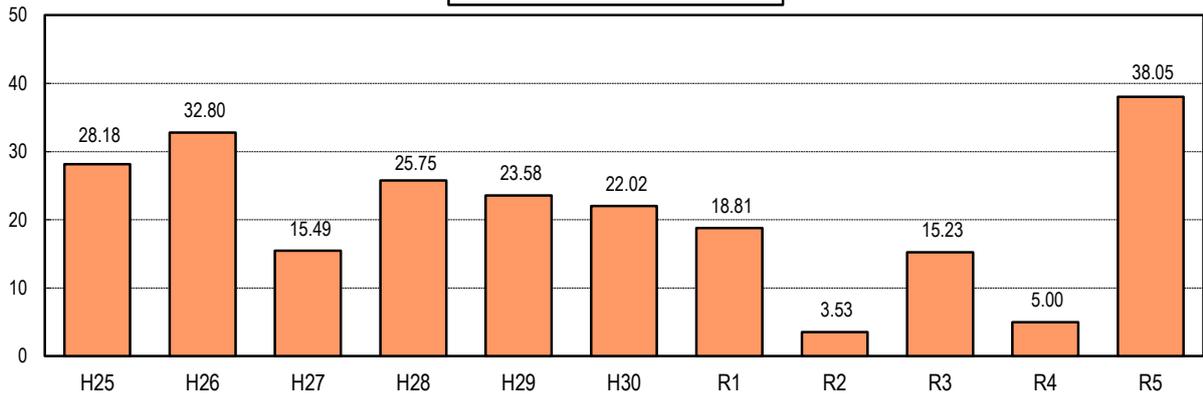
(ケ) ヘルパンギーナ

- ・年間報告数:1,636例(年間定点当たり報告数:38.05)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:2.94 / 前年比:7.61

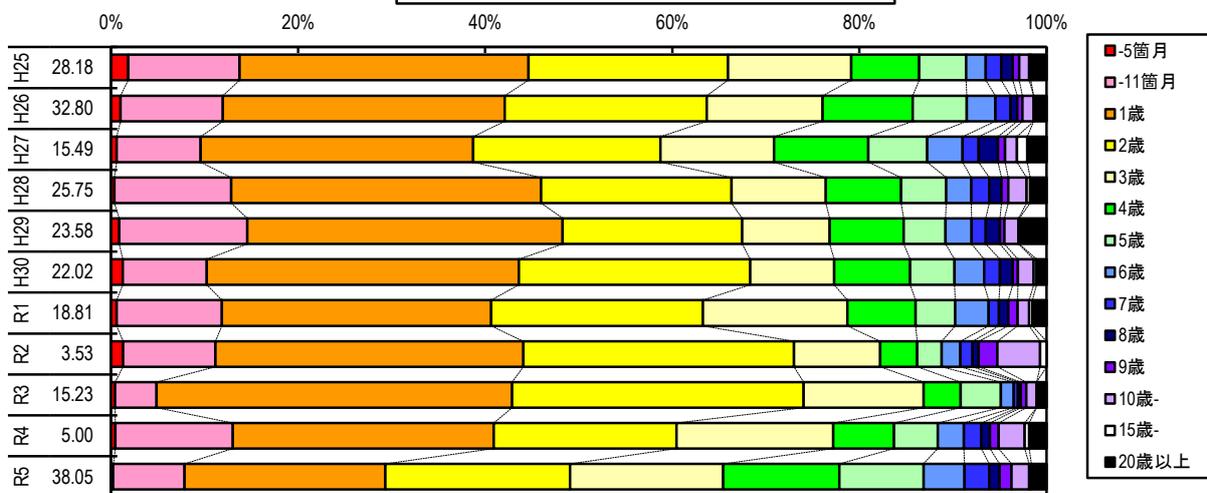
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



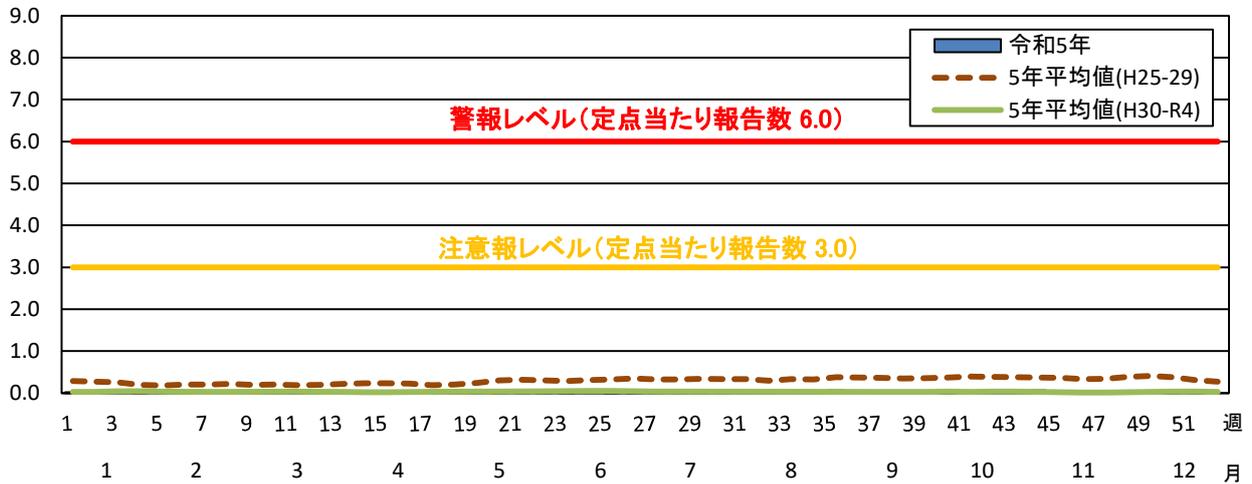
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



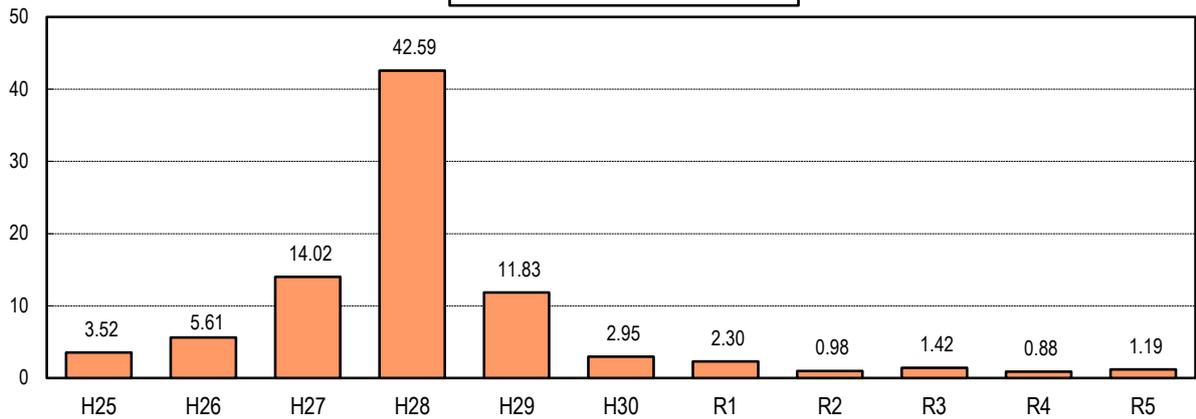
(コ) 流行性耳下腺炎

- ・年間報告数:51例(年間定点当たり報告数:1.19)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.69 / 前年比:1.34

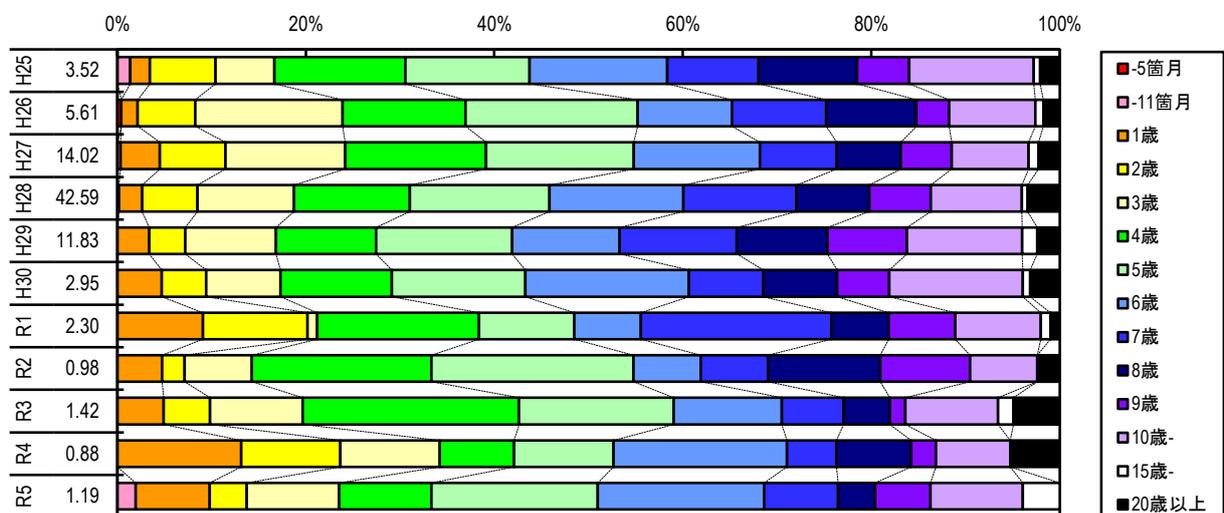
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



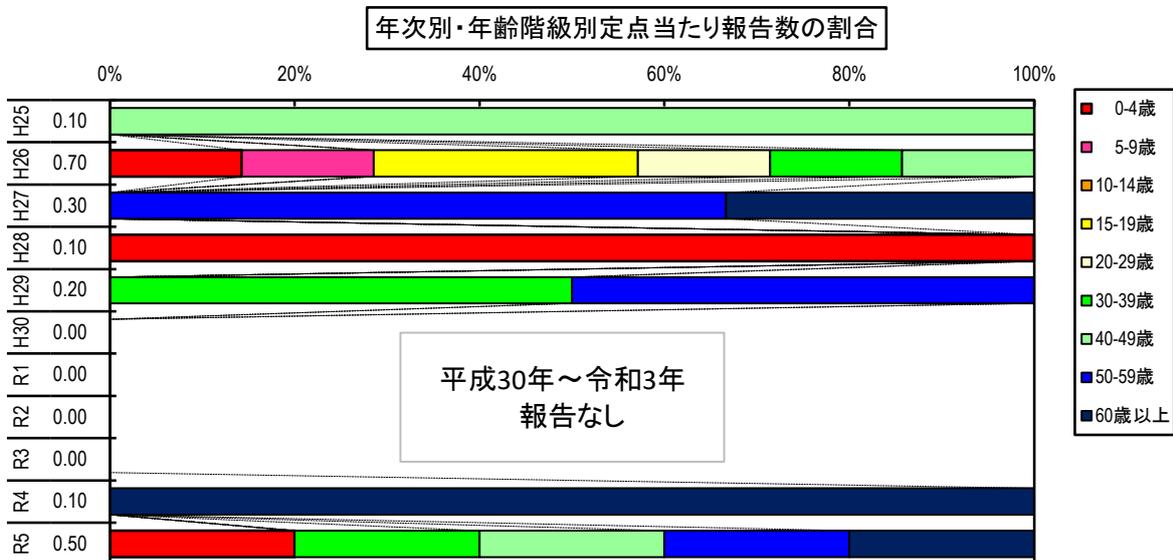
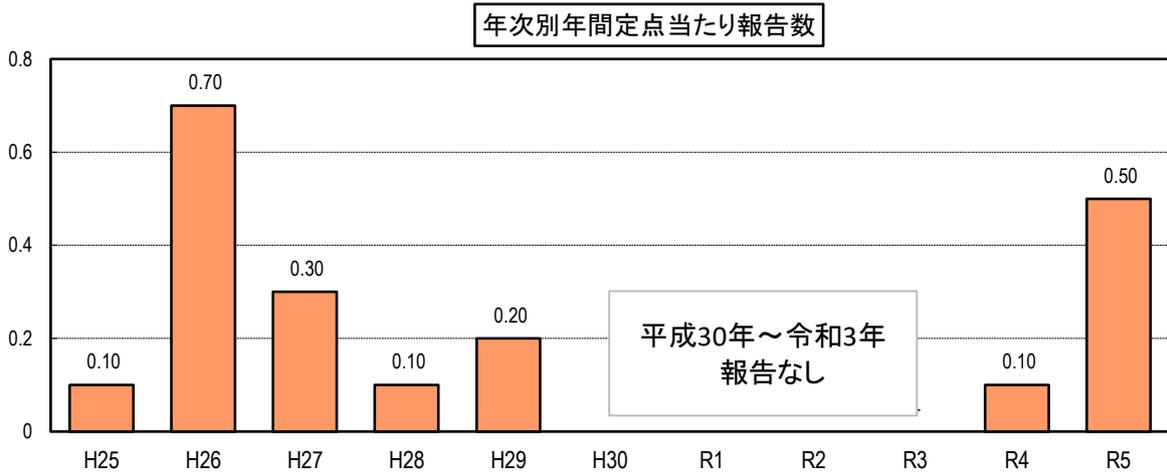
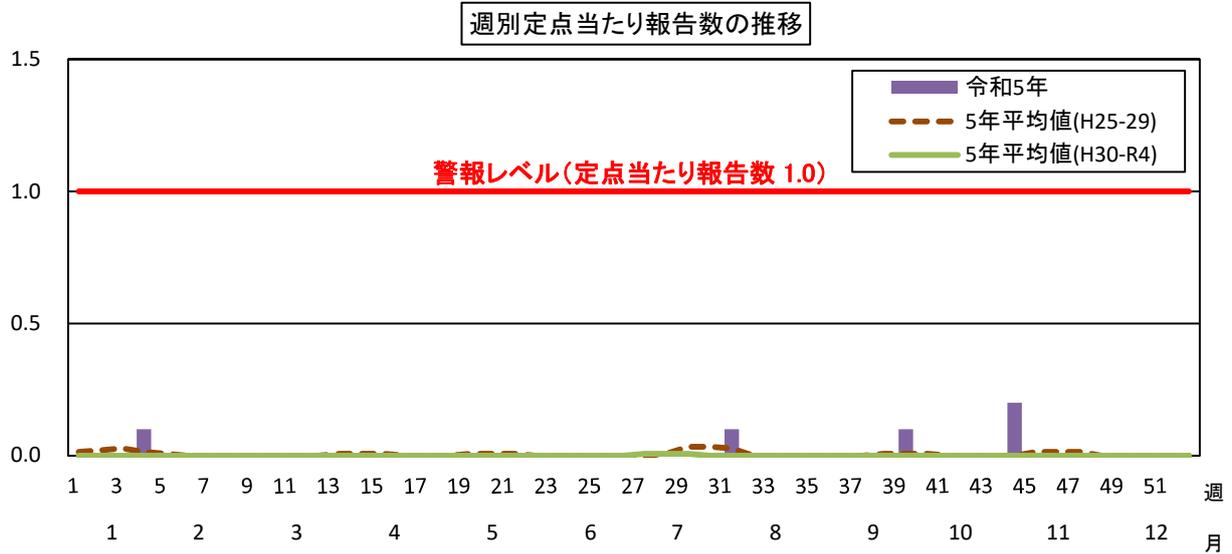
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



ウ 眼科定点

(ア) 急性出血性結膜炎

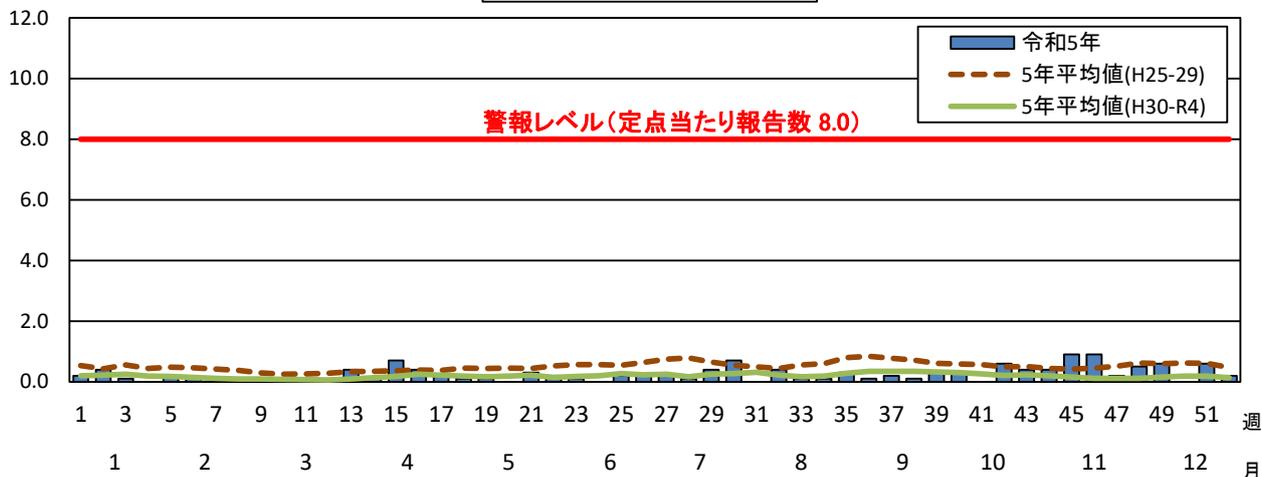
- ・年間報告数:5例(年間定点当たり報告数0.50)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:25.00 / 前年比:5.00



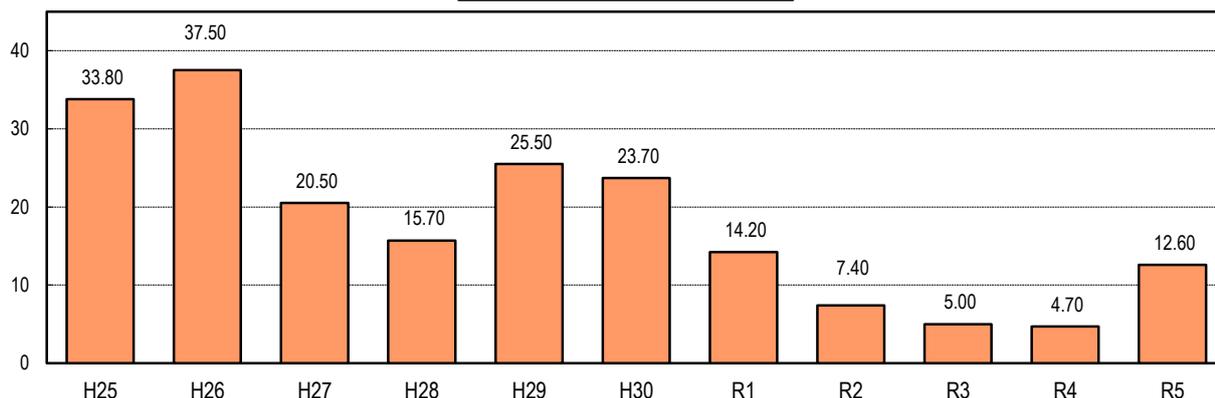
(イ) 流行性角結膜炎

- ・年間報告数:126例(年間定点当たり報告数:12.60)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:1.15 / 前年比:2.68

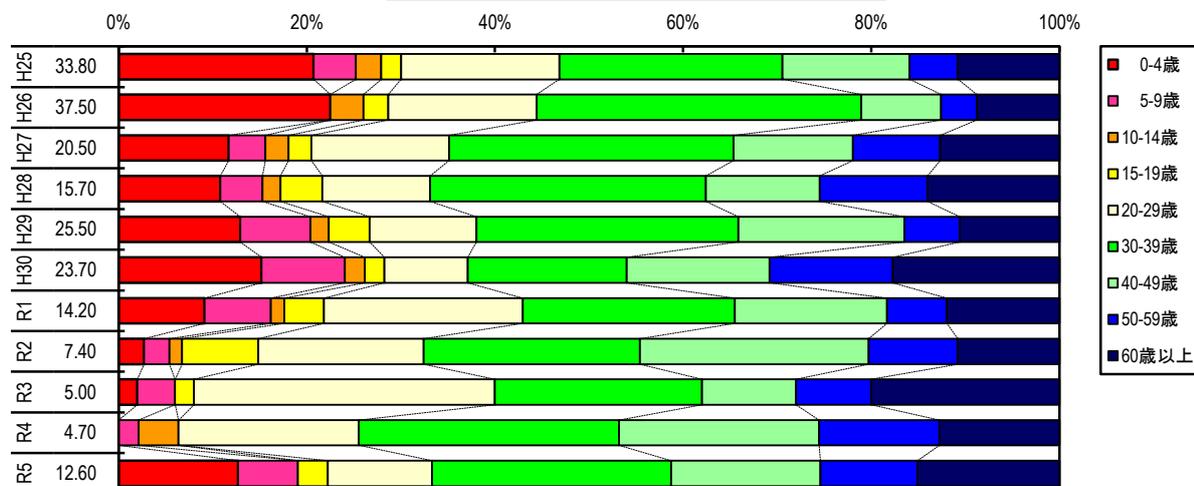
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合

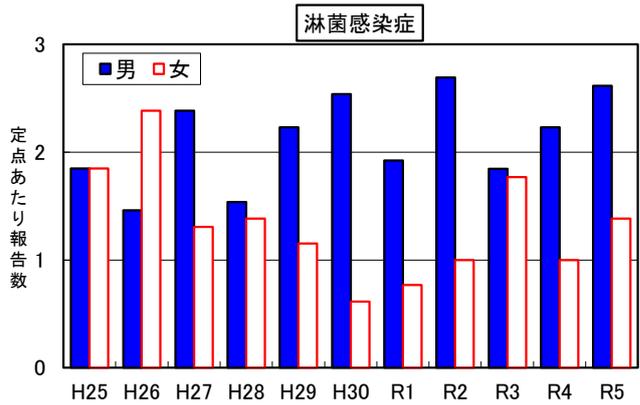
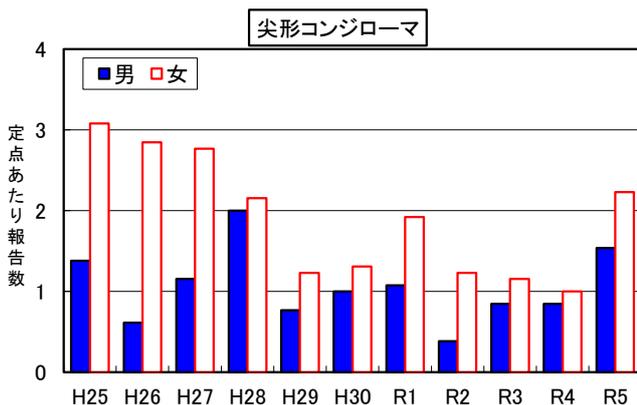
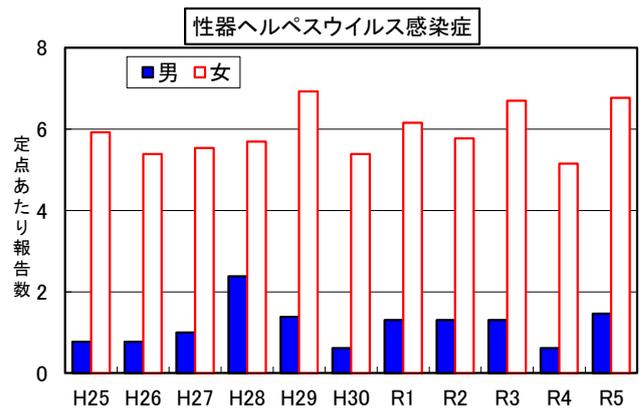
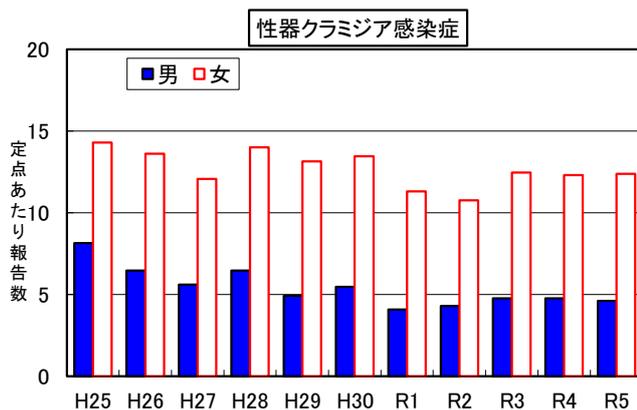


## エ 性感染症定点

性感染症の報告数と定点当たり報告数

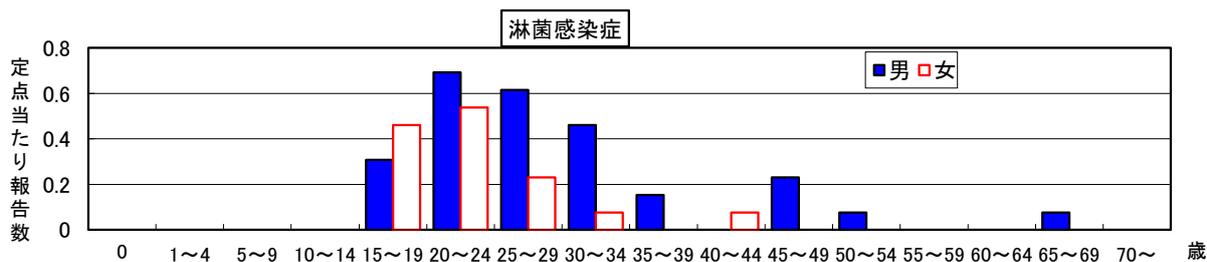
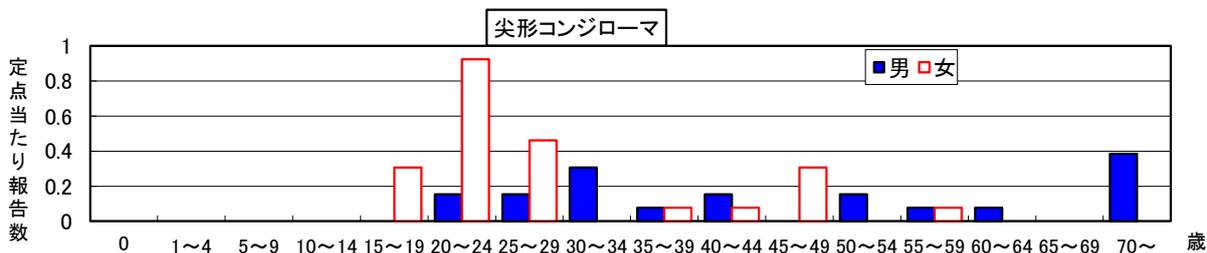
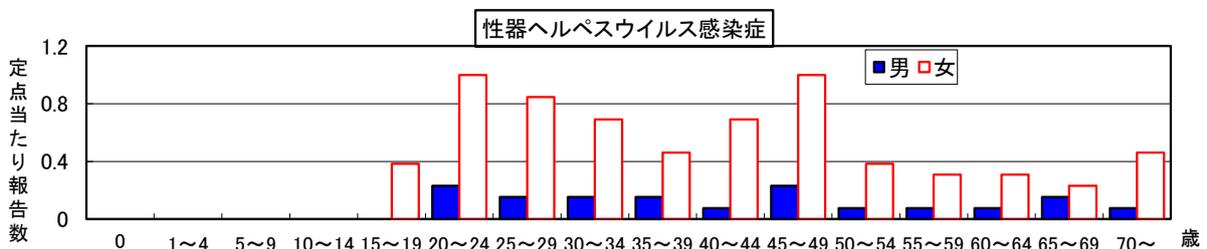
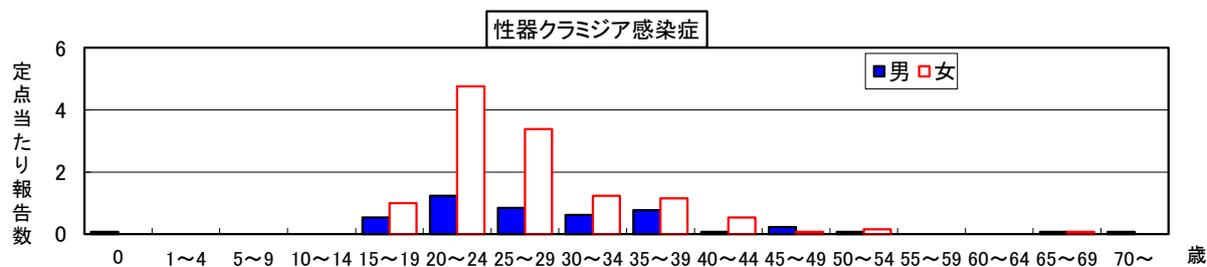
年	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
H25年	106	186	292	10	77	87	18	40	58	24	24	48
	8.15	14.31	22.46	0.77	5.92	6.69	1.38	3.08	4.46	1.85	1.85	3.69
H26年	84	177	261	10	70	80	8	37	45	19	31	50
	6.46	13.62	20.08	0.77	5.38	6.15	0.62	2.85	3.46	1.46	2.38	3.85
H27年	73	157	230	13	72	85	15	36	51	31	17	48
	5.62	12.08	17.69	1.00	5.54	6.54	1.15	2.77	3.92	2.38	1.31	3.69
H28年	84	182	266	31	74	105	26	28	54	20	18	38
	6.46	14.00	20.46	2.38	5.69	8.08	2.00	2.15	4.15	1.54	1.38	2.92
H29年	64	171	235	18	90	108	10	16	26	29	15	44
	4.92	13.15	18.08	1.38	6.92	8.31	0.77	1.23	2.00	2.23	1.15	3.38
H30年	71	175	246	8	70	78	13	17	30	33	8	41
	5.46	13.46	18.92	0.62	5.38	6.00	1.00	1.31	2.31	2.54	0.62	3.15
R1年	53	147	200	17	80	97	14	25	39	25	10	35
	4.08	11.31	15.38	1.31	6.15	7.46	1.08	1.92	3.00	1.92	0.77	2.69
R2年	56	140	196	17	75	92	5	16	21	35	13	48
	4.31	10.77	15.08	1.31	5.77	7.08	0.38	1.23	1.62	2.69	1.00	3.69
R3年	62	162	224	17	87	104	11	15	26	24	23	47
	4.77	12.46	17.23	1.31	6.69	8.00	0.85	1.15	2.00	1.85	1.77	3.62
R4年	62	160	222	8	67	75	11	13	24	29	13	42
	4.77	12.31	17.08	0.62	5.15	5.77	0.85	1.00	1.85	2.23	1.00	3.23
R5年	60	161	221	19	88	107	20	29	49	34	18	52
	4.62	12.38	17.00	1.46	6.77	8.23	1.54	2.23	3.77	2.62	1.38	4.00

上段: 報告数  
下段: 定点当たり報告数



性感染症の性別、年齢階級別報告数

疾病名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		総計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年齢(歳) \ 性別										
0	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
1~4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	7	13	-	5	-	4	4	6	11	28
20~24	16	62	3	13	2	12	9	7	30	94
25~29	11	44	2	11	2	6	8	3	23	64
30~34	8	16	2	9	4	-	6	1	20	26
35~39	10	15	2	6	1	1	2	-	15	22
40~44	1	7	1	9	2	1	-	1	4	18
45~49	3	1	3	13	-	4	3	-	9	18
50~54	1	2	1	5	2	-	1	-	5	7
55~59	-	-	1	4	1	1	-	-	2	5
60~64	-	-	1	4	1	-	-	-	2	4
65~69	1	1	2	3	-	-	1	-	4	4
70~	1	-	1	6	5	-	-	-	7	6
合計	60	161	19	88	20	29	34	18	133	296



オ 基幹定点

基幹定点対象感染症は7感染症あり、いずれも報告はなかった。

(5) 感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省で定める疑似症の概況

疑似症の報告はなかった。

《表 - 1》 報告週対応表(令和5年)

月・週	期間
1月	第1週 1月 2日 ~ 1月 8日
	第2週 1月 9日 ~ 1月15日
	第3週 1月16日 ~ 1月22日
	第4週 1月23日 ~ 1月29日
	第5週 1月30日 ~ 2月 5日
2月	第6週 2月 6日 ~ 2月12日
	第7週 2月13日 ~ 2月19日
	第8週 2月20日 ~ 2月26日
	第9週 2月27日 ~ 3月 5日
3月	第10週 3月 6日 ~ 3月12日
	第11週 3月13日 ~ 3月19日
	第12週 3月20日 ~ 3月26日
	第13週 3月27日 ~ 4月 2日
4月	第14週 4月 3日 ~ 4月 9日
	第15週 4月10日 ~ 4月16日
	第16週 4月17日 ~ 4月23日
	第17週 4月24日 ~ 4月30日
5月	第18週 5月 1日 ~ 5月 7日
	第19週 5月 8日 ~ 5月14日
	第20週 5月15日 ~ 5月21日
	第21週 5月22日 ~ 5月28日
	第22週 5月29日 ~ 6月 4日
6月	第23週 6月 5日 ~ 6月11日
	第24週 6月12日 ~ 6月18日
	第25週 6月19日 ~ 6月25日
	第26週 6月26日 ~ 7月 2日

月・週	期間
7月	第27週 7月 3日 ~ 7月 9日
	第28週 7月10日 ~ 7月16日
	第29週 7月17日 ~ 7月23日
	第30週 7月24日 ~ 7月30日
	第31週 7月31日 ~ 8月 6日
8月	第32週 8月 7日 ~ 8月13日
	第33週 8月14日 ~ 8月20日
	第34週 8月21日 ~ 8月27日
	第35週 8月28日 ~ 9月 3日
9月	第36週 9月 4日 ~ 9月10日
	第37週 9月11日 ~ 9月17日
	第38週 9月18日 ~ 9月24日
	第39週 9月25日 ~ 10月 1日
10月	第40週 10月 2日 ~ 10月 8日
	第41週 10月 9日 ~ 10月15日
	第42週 10月16日 ~ 10月22日
	第43週 10月23日 ~ 10月29日
	第44週 10月30日 ~ 11月 5日
11月	第45週 11月 6日 ~ 11月12日
	第46週 11月13日 ~ 11月19日
	第47週 11月20日 ~ 11月26日
	第48週 11月27日 ~ 12月 3日
12月	第49週 12月 4日 ~ 12月10日
	第50週 12月11日 ~ 12月17日
	第51週 12月18日 ~ 12月24日
	第52週 12月25日 ~ 12月31日

《表 - 2》 定点数の年次推移

		週単位	週単位	週単位	週単位 月単位	月単位	ただちに
		インフル エンザ /COVID-19	小児科	眼科定点	基幹定点 (1999年まで は病院定点)	性感染症 定点	疑似症
1982	昭和57年	-	48	3	1	-	-
1983	昭和58年	-	48	3	1	-	-
1984	昭和59年	-	48	3	1	-	-
1985	昭和60年	-	48	3	1	-	-
1986	昭和61年	-	48	3	1	-	-
1987	昭和62年	-	46	3	6	10	-
1988	昭和63年	-	46	3	6	10	-
1989	平成元年	-	46	3	6	10	-
1990	平成2年	-	46	3	6	9	-
1991	平成3年	-	46	3	6	9	-
1992	平成4年	-	46	3	6	9	-
1993	平成5年	-	43	3	6	9	-
1994	平成6年	-	42	3	6	9	-
1995	平成7年	-	49	3	6	12	-
1996	平成8年	-	49	3	6	12	-
1997	平成9年	-	49	3	6	12	-
1998	平成10年	-	49	3	6	12	-
1999	平成11年	68	41	10	1	13 <sup>*1*3</sup>	-
2000	平成12年	68	41	10	1	13 <sup>*1*3</sup>	-
2001	平成13年	68	41	10	1	13 <sup>*1*3</sup>	-
2002	平成14年	68	41	10	1	13 <sup>*1*3</sup>	-
2003	平成15年	68	41	10	1	13 <sup>*2</sup>	-
2004	平成16年	68	41	10	1	13 <sup>*2</sup>	-
2005	平成17年	68	41	10	1	13	-
2006	平成18年	68	41	10	1	13	-
2007	平成19年	68	41	10	1	13	-
2008	平成20年	68	41	10	1	13	90
2009	平成21年	68	41	10	1	13	89
2010	平成22年	68	41	10	1	13	89
2011	平成23年	67	40	10	1	13	88
2012	平成24年	68	41	10	1	13	90
2013	平成25年	68	41	10	1	13	90
2014	平成26年	68	41	10	1	13	90
2015	平成27年	68	41	10	1	13	90
2016	平成28年	69	42	10	1	13	91
2017	平成29年	69	42	10	1	13	90
2018	平成30年	69	43	10	1	13	90
2019	令和元年	69	43	10	1	13	13
2020	令和2年	69	43	10	1	13	13
2021	令和3年	69	43	10	1	13	13
2022	令和4年	69	43	10	1	13	13
2023	令和5年	69 <sup>*4</sup>	43	10	1	13	13

\*1: 性器クラミジアは定点数11(東山区, 下京区を除く)

\*2: 性器クラミジアは定点数12(下京区を除く)

\*3: 淋菌感染症は定点数12(下京区を除く)

\*4: 令和5年5月8日以降、既存のインフルエンザ定点をインフルエンザ/新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 定点に指定

《表 - 3》 感染症別報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
インフル/ COVID-19	インフルエンザ	13,538	20,657	10,130	17,989	15,552	20,649	20,435	6,970	11	434	31,023
	新型コロナウイルス感染症（注2）	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	14,919
小児科	RSウイルス感染症	792	928	1,004	797	1,340	1,110	1,134	95	2,015	1,823	1,305
	咽頭結膜熱	570	934	609	817	746	493	802	300	305	437	2,744
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,014	2,191	2,567	2,495	2,802	2,577	2,780	1,987	1,346	1,546	4,665
	感染性胃腸炎	10,497	13,683	11,847	15,246	13,310	12,190	10,883	4,116	6,712	6,649	9,377
	水痘	1,862	1,310	722	651	528	522	744	341	186	144	219
	手足口病	2,747	641	5,526	1,178	3,861	1,364	4,039	145	1,217	1,555	613
	伝染性紅斑	48	141	766	383	57	195	1,877	141	11	20	15
	突発性発しん	784	796	792	775	822	787	655	682	566	389	366
	百日咳（注1）	5	7	13	10	8	…	…	…	…	…	…
	ヘルパンギーナ	1,140	1,345	635	1,081	1,002	947	809	152	655	215	1,636
	流行性耳下腺炎	144	230	575	1,782	499	127	99	42	61	38	51
	合計	20,603	22,206	25,056	25,215	24,975	20,312	23,822	8,001	13,074	12,816	20,991
	眼科	急性出血性結膜炎	1	7	3	1	2	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎		338	375	205	157	255	237	142	74	50	47	126
合計		339	382	208	158	257	237	142	74	50	48	131
性感染症	性器クラミジア感染症	292	261	230	266	235	246	200	196	224	222	221
	性器ヘルペスウイルス感染症	87	80	85	105	108	78	97	92	104	75	107
	尖圭コンジローマ	58	45	51	54	26	30	39	21	26	24	49
	淋菌感染症	48	50	48	38	44	41	35	48	47	42	52
	合計	485	436	414	463	413	395	371	357	401	363	429
基幹 （週ごと）	細菌性髄膜炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	12	16	1	2	1	-	1	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	3	1	5	7	3	-	2	2	-	-	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	19	17	6	9	5	0	3	2	0	0	0
基幹 （月ごと）	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

（注1）百日咳は平成30年1月1日（1週）から全数把握対象感染症に変更となった。

（注2）新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日（19週）から定点把握対象感染症に追加となった。

《表 - 4》 感染症別定点当たり報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	過去5年平均値との比	前年比
インフル/ COVID-19	インフルエンザ	186.83	303.78	148.97	264.08	225.39	299.26	296.16	101.01	0.16	6.29	449.61	3.20	71.48
	新型コロナウイルス感染症	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	216.22	...	...
小児科	RSウイルス感染症	19.32	22.63	24.49	19.04	29.05	25.81	26.37	2.21	46.86	42.40	30.35	1.06	0.72
	咽頭結膜熱	13.93	22.78	14.85	19.55	17.68	11.47	18.65	6.98	7.09	10.16	63.81	5.87	6.28
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49.23	53.44	62.61	59.89	66.26	59.93	64.65	46.21	31.30	35.95	108.49	2.28	3.02
	感染性胃腸炎	256.34	333.73	288.95	365.18	290.82	283.49	253.09	95.72	156.09	154.63	218.07	1.16	1.41
	水痘	45.48	31.95	17.61	15.61	12.45	12.14	17.30	7.93	4.33	3.35	5.09	0.57	1.52
	手足口病	67.45	15.63	134.78	28.05	91.53	31.72	93.93	3.37	28.30	36.16	14.26	0.37	0.39
	伝染性紅斑	1.17	3.44	18.68	9.23	1.35	4.53	43.65	3.28	0.26	0.47	0.35	0.03	0.75
	突発性発しん	19.17	19.41	19.32	18.54	19.43	18.30	15.23	15.86	13.16	9.05	8.51	0.59	0.94
	百日咳	0.12	0.17	0.32	0.24	0.19	...	...	...	...	...	...	...	...
	ヘルパンギーナ	28.18	32.80	15.49	25.75	23.58	22.02	18.81	3.53	15.23	5.00	38.05	2.94	7.61
	流行性耳下腺炎	3.52	5.61	14.02	42.59	11.83	2.95	2.30	0.98	1.42	0.88	1.19	0.69	1.34
	合計	503.91	541.61	611.12	603.67	564.17	472.37	554.00	186.07	304.05	298.05	488.16	1.35	1.64
	眼科	急性出血性結膜炎	0.10	0.70	0.30	0.10	0.20	-	-	-	-	0.10	0.50	25.00
流行性角結膜炎		33.80	37.50	20.50	15.70	25.50	23.70	14.20	7.40	5.00	4.70	12.60	1.15	2.68
合計		33.90	38.20	20.80	15.80	25.70	23.70	14.20	7.40	5.00	4.80	13.10	1.19	2.73
性感染症	性器クラミジア感染症	22.46	20.08	17.69	20.46	18.08	18.92	15.38	15.08	17.23	17.08	17.00	1.02	1.00
	性器ヘルペスウイルス感染症	6.69	6.15	6.54	8.08	8.31	6.00	7.46	7.08	8.00	5.77	8.23	1.20	1.43
	尖圭コンジローマ	4.46	3.46	3.92	4.15	2.00	2.31	3.00	1.62	2.00	1.85	3.77	1.75	2.04
	淋菌感染症	3.69	3.85	3.69	2.92	3.38	3.15	2.69	3.69	3.62	3.23	4.00	1.22	1.24
	合計	37.31	33.54	31.85	35.62	31.77	30.38	28.54	27.46	30.85	27.92	33.00	1.14	1.18
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	12.00	16.00	1.00	2.00	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	3.00	1.00	5.00	7.00	3.00	-	2.00	2.00	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	19.00	17.00	6.00	9.00	5.00	-	3.00	2.00	-	-	-	-	-
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

《表 - 5》 月別の報告数 (定点把握対象五類感染症)

定点種	感染症	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフル/ COVID-19	インフルエンザ	6,981	6,414	1,698	209	128	108	271	269	1,371	3,919	3,993	5,662	31,023
	新型コロナウイルス感染症	…	…	…	…	721	1,374	3,983	3,276	3,182	977	503	903	14,919
小児科	RSウイルス感染症	21	23	137	320	330	229	167	50	16	10	1	1	1,305
	咽頭結膜熱	40	24	11	21	73	96	115	115	458	621	635	535	2,744
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	212	195	174	182	516	468	501	287	329	499	628	674	4,665
	感染性胃腸炎	1,289	882	915	817	1,197	994	602	302	398	525	670	786	9,377
	水痘	36	13	11	21	24	22	15	8	7	9	29	24	219
	手足口病	30	10	7	10	32	41	65	70	129	126	46	47	613
	伝染性紅斑	1	6	2	-	2	2	-	-	-	2	-	-	15
	突発性発しん	31	27	33	35	52	34	55	17	14	30	24	14	366
	ヘルパンギーナ	14	7	2	20	231	688	503	73	31	37	10	20	1,636
	流行性耳下腺炎	4	1	2	3	7	6	7	6	3	6	2	4	51
合計	1,678	1,188	1,294	1,429	2,464	2,580	2,030	928	1,385	1,865	2,045	2,105	20,991	
眼科	急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	5
	流行性角結膜炎	9	1	4	14	7	5	14	9	7	17	25	14	126
	合計	10	1	4	14	7	5	15	9	8	19	25	14	131
性感染症	性器クラミジア感染症	14	16	16	18	17	13	19	26	22	18	20	22	221
	性器ヘルペスウイルス感染症	5	8	9	11	15	4	7	11	6	14	6	11	107
	尖圭コンジローマ	4	1	8	4	8	8	2	5	2	1	4	2	49
	淋菌感染症	5	3	8	5	6	5	4	4	5	2	2	3	52
	合計	28	28	41	38	46	30	32	46	35	35	32	38	429
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《表 - 6》 月別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフル/ COVID-19	インフルエンザ	101.17	92.96	24.61	3.03	1.86	1.57	3.93	3.90	19.87	56.80	57.87	82.06	449.61
	新型コロナウイルス感染症	…	…	…	…	10.45	19.91	57.72	47.48	46.12	14.16	7.29	13.09	216.22
小児科	RSウイルス感染症	0.49	0.53	3.19	7.44	7.67	5.33	3.88	1.16	0.37	0.23	0.02	0.02	30.35
	咽頭結膜熱	0.93	0.56	0.26	0.49	1.70	2.23	2.67	2.67	10.65	14.44	14.77	12.44	63.81
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.93	4.53	4.05	4.23	12.00	10.88	11.65	6.67	7.65	11.60	14.60	15.67	108.49
	感染性胃腸炎	29.98	20.51	21.28	19.00	27.84	23.12	14.00	7.02	9.26	12.21	15.58	18.28	218.07
	水痘	0.84	0.30	0.26	0.49	0.56	0.51	0.35	0.19	0.16	0.21	0.67	0.56	5.09
	手足口病	0.70	0.23	0.16	0.23	0.74	0.95	1.51	1.63	3.00	2.93	1.07	1.09	14.26
	伝染性紅斑	0.02	0.14	0.05	-	0.05	0.05	-	-	-	0.05	-	-	0.35
	突発性発しん	0.72	0.63	0.77	0.81	1.21	0.79	1.28	0.40	0.33	0.70	0.56	0.33	8.51
	ヘルパンギーナ	0.33	0.16	0.05	0.47	5.37	16.00	11.70	1.70	0.72	0.86	0.23	0.47	38.05
	流行性耳下腺炎	0.09	0.02	0.05	0.07	0.16	0.14	0.16	0.14	0.07	0.14	0.05	0.09	1.19
	合計	39.02	27.63	30.09	33.23	57.30	60.00	47.21	21.58	32.21	43.37	47.56	48.95	488.16
眼科	急性出血性結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	0.20	-	-	0.50
	流行性角結膜炎	0.90	0.10	0.40	1.40	0.70	0.50	1.40	0.90	0.70	1.70	2.50	1.40	12.60
	合計	1.00	0.10	0.40	1.40	0.70	0.50	1.50	0.90	0.80	1.90	2.50	1.40	13.10
性感染症	性器クラミジア感染症	1.08	1.23	1.23	1.38	1.31	1.00	1.46	2.00	1.69	1.38	1.54	1.69	17.00
	性器ヘルペスウイルス感染症	0.38	0.62	0.69	0.85	1.15	0.31	0.54	0.85	0.46	1.08	0.46	0.85	8.23
	尖圭コンジローマ	0.31	0.08	0.62	0.31	0.62	0.62	0.15	0.38	0.15	0.08	0.31	0.15	3.77
	淋菌感染症	0.38	0.23	0.62	0.38	0.46	0.38	0.31	0.31	0.38	0.15	0.15	0.23	4.00
	合計	2.15	2.15	3.15	2.92	3.54	2.31	2.46	3.54	2.69	2.69	2.46	2.92	33.00
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《表-7》 年齢階級別の報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	年齢階級																	合計				
		-5歳月	1-11歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳		60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフル	インフルエンザ	89	234	905	1,202	1,568	1,828	2,263	2,259	2,091	1,984	1,774	6,259	2,170	1,692	1,571	1,614	733	348	265	174	31,023	
COVID-19	新型コロナウイルス感染症	121	172	299	188	142	151	157	165	186	205	243	1,443	1,005	1,828	1,511	1,546	1,668	1,176	1,331	1,382	14,919	
	合計	210	406	1,204	1,390	1,715	1,985	2,420	2,424	2,277	2,189	6,702	3,175	3,520	3,082	3,082	3,160	3,006	2,544	2,712	2,713	45,942	
小児科	RSウイルス感染症	201	205	425	245	116	58	25	8	6	4	7	-	2	3	1,305							
	咽頭結膜熱	10	84	458	385	455	403	336	245	134	78	48	40	15	53	2,744							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	58	241	339	455	537	601	548	460	357	241	455	56	309	4,665							
	感染性胃腸炎	85	455	1,224	1,023	1,001	990	965	718	506	498	355	809	169	579	9,377							
	水痘	-	7	10	12	13	20	27	24	19	25	18	38	4	2	219							
	手足口病	7	37	165	120	98	81	46	31	12	5	5	2	2	2	613							
	伝染性紅斑	-	-	1	3	3	3	2	2	-	-	1	-	-	-	15							
	突発性発しん	7	74	214	46	12	12	1	-	-	-	-	-	-	-	366							
	ヘルパンギーナ	4	125	351	323	268	203	147	72	43	18	21	31	4	26	1,636							
	流行性耳下腺炎	-	1	4	2	5	5	9	4	2	3	5	2	-	51								
	合計	322	1,046	3,093	2,498	2,426	2,312	2,159	1,657	1,184	987	699	1,380	254	974	20,991							
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	5	
	流行性角結膜炎	1	2	4	1	4	4	3	2	1	1	1	-	4	14	32	20	13	4	15	126		
	合計	1	2	5	1	4	4	3	2	1	1	1	-	4	14	33	21	14	4	16	131		
	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
	性器クラミジア感染症	1	-	-	-	20	78	55	24	25	8	4	3	-	-	2	1	221					
	性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	-	5	16	13	11	8	10	16	6	5	5	7	107						
	性感染症 尖圭コンジローマ	-	-	-	-	4	14	8	4	2	3	4	2	2	1	-	5	49					
	淋菌感染症	-	-	-	-	10	16	11	7	2	1	3	1	-	-	-	52						
	合計	1	-	-	-	39	124	87	46	37	22	27	12	7	6	8	13	429					
	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 (通こ)	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 (月ごと)	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

《表 - 8》 年齢階級別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症																					
	-5歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計		
インフルエンザ	1.29	3.39	13.12	17.42	22.73	26.50	32.80	32.74	30.31	28.75	25.71	90.72	31.46	24.53	22.77	23.40	10.62	5.04	3.84	2.52	449.66	
COVID-19																						
新型コロナウイルス感染症	1.75	2.49	4.33	2.72	2.06	2.19	2.28	2.39	2.70	2.97	3.52	20.91	14.57	26.50	21.90	22.41	24.18	17.05	19.29	20.03	216.25	
	-5歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上	合計								
RSウイルス感染症	4.71	4.81	9.97	5.74	2.72	1.36	0.59	0.19	0.14	0.09	0.16	-	0.05	0.07	30.60							
咽頭結核熱	0.23	1.96	10.66	8.96	10.58	9.37	7.81	5.70	3.12	1.82	1.12	0.93	0.35	1.23	63.83							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	1.36	5.62	7.90	10.60	12.51	14.00	12.76	10.71	8.31	5.62	10.60	1.30	7.20	108.67							
感染性胃腸炎	1.98	10.62	28.56	23.86	23.36	23.09	22.51	16.73	11.81	11.61	8.28	18.86	3.94	13.50	218.72							
水痘	-	0.16	0.23	0.28	0.30	0.47	0.63	0.56	0.44	0.58	0.42	0.89	0.09	0.05	5.11							
小児科	0.16	0.86	3.84	2.79	2.28	1.88	1.07	0.72	0.28	0.12	0.12	0.05	0.05	0.05	14.27							
伝染性紅斑	-	-	0.02	0.07	0.07	0.05	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	0.16	1.73	4.99	1.07	0.28	0.28	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	0.09	2.91	8.17	7.51	6.24	4.72	3.42	1.67	1.00	0.42	0.49	0.72	0.09	0.60	38.07							
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.09	0.05	0.12	0.12	0.21	0.21	0.09	0.05	0.07	0.12	0.05	-	1.19							
合計	7.53	24.42	72.16	58.24	56.56	53.87	50.31	38.59	27.59	23.00	16.29	32.16	5.92	22.70	489.34							
	-5歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計			
急性出血性結膜炎	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	0.10	-	0.10	0.50
眼科	0.10	0.20	0.40	0.10	0.40	0.40	0.30	0.20	0.10	0.10	0.10	-	0.40	1.40	3.20	2.00	1.30	0.40	1.50	12.60		
合計	0.10	0.20	0.50	0.10	0.40	0.40	0.30	0.20	0.10	0.10	-	0.40	1.40	3.30	2.10	1.40	0.40	1.60	1.60	13.10		
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
性器クラミジア感染症	0.08	-	-	1.54	6.00	4.23	1.85	1.92	0.62	0.31	0.23	-	-	0.15	0.08	17.00						
性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	0.38	1.23	1.00	0.85	0.62	0.77	1.23	0.46	0.38	0.38	0.38	0.54	8.23						
性感染症	-	-	-	0.31	1.08	0.62	0.31	0.15	0.23	0.31	0.15	0.15	0.08	-	0.38	3.77						
淋菌感染症	-	-	-	0.77	1.23	0.85	0.54	0.15	0.08	0.23	0.08	-	-	0.08	-	4.00						
合計	0.08	-	-	3.00	9.54	6.69	3.54	2.85	1.69	2.08	0.92	0.54	0.46	0.62	1.00	33.00						
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 (通こと)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹 (月ごと)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

《表 - 9》 感染症別の年齢階級別割合 (%) (定点把握対象五類感染症)

定点種	感染症																			
	-5歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計
インフル	0.3	0.8	2.9	3.9	5.1	7.3	7.3	6.7	6.4	5.7	20.2	7.0	5.5	5.1	5.2	2.4	1.1	0.9	0.6	100
COVID-19	0.8	1.2	2.0	1.3	1.0	1.1	1.1	1.2	1.4	1.6	9.7	6.7	12.3	10.1	10.4	11.2	7.9	8.9	9.3	100
新型コロナウイルス感染症																				
	-5歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上	合計						
RSウイルス感染症	15.4	15.7	32.6	18.8	8.9	4.4	1.9	0.6	0.5	0.3	0.5	-	0.2	0.2	100					
咽頭結膜炎	0.4	3.1	16.7	14.0	16.6	14.7	12.2	8.9	4.9	2.8	1.7	1.5	0.5	1.9	100					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.2	1.2	5.2	7.3	9.8	11.5	12.9	11.7	9.9	7.7	5.2	9.8	1.2	6.6	100					
感染性胃腸炎	0.9	4.9	13.1	10.9	10.7	10.6	10.3	7.7	5.4	5.3	3.8	8.6	1.8	6.2	100					
水痘	-	3.2	4.6	5.5	5.9	9.1	12.3	11.0	8.7	11.4	8.2	17.4	1.8	0.9	100					
手足口病	1.1	6.0	26.9	19.6	16.0	13.2	7.5	5.1	2.0	0.8	0.8	0.3	0.3	0.3	100					
伝染性紅斑	-	-	6.7	20.0	20.0	20.0	13.3	13.3	-	-	6.7	-	-	-	100					
突発性発しん	1.9	20.2	58.5	12.6	3.3	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-	100					
ヘルパンギーナ	0.2	7.6	21.5	19.7	16.4	12.4	9.0	4.4	2.6	1.1	1.3	1.9	0.2	1.6	100					
流行性耳下腺炎	-	2.0	7.8	3.9	9.8	9.8	17.6	17.6	7.8	3.9	5.9	9.8	3.9	-	100					
合計	1.5	5.0	14.7	11.9	11.6	11.0	10.3	7.9	5.6	4.7	3.3	6.6	1.2	4.6	100					
	-5歳月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計	
急性出血性結膜炎	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	100.00
眼科	0.8	1.6	3.2	0.8	3.2	3.2	2.4	1.6	0.8	0.8	0.8	-	3.2	11.1	25.4	15.9	10.3	3.2	11.9	100
流行性角結膜炎	0.8	1.6	3.2	0.8	3.2	3.2	2.4	1.6	0.8	0.8	0.8	-	3.2	11.1	45.4	35.9	30.3	3.2	31.9	200
合計	0.8	1.6	3.2	0.8	3.2	3.2	2.4	1.6	0.8	0.8	-	3.2	11.1	45.4	35.9	30.3	3.2	31.9	200	
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計			
性器クラミジア感染症	0.5	-	-	9.0	35.3	24.9	10.9	11.3	3.6	1.8	1.4	-	-	0.9	0.5	100				
性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	4.7	15.0	12.1	10.3	7.5	9.3	15.0	5.6	4.7	4.7	4.7	6.5	100				
性感染症 尖圭コンジローム	-	-	-	8.2	28.6	16.3	8.2	4.1	6.1	8.2	4.1	4.1	2.0	-	10.2	100				
淋菌感染症	-	-	-	19.2	30.8	21.2	13.5	3.8	1.9	5.8	1.9	-	-	-	1.9	100				
合計	0.2	-	-	9.1	28.9	20.3	10.7	8.6	5.1	6.3	2.8	1.6	1.4	1.9	3.0	100				
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計			
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計			
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

《表 - 10》 行政区別の報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	合計
インフル/ COVID-19	インフルエンザ	1,079	1,406	3,389	1,139	1,222	3,673	588	4,694	4,278	6,138	3,417	31,023
	新型コロナウイルス感染症	1,101	1,131	1,332	804	1,015	1,718	447	2,971	1,161	1,475	1,764	14,919
小児科	RSウイルス感染症	26	35	181	133	67	130	1	36	343	269	84	1,305
	咽頭結膜熱	52	36	297	86	4	331	-	142	999	463	334	2,744
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	64	233	122	12	398	4	482	1,952	1,014	328	4,665
	感染性胃腸炎	128	106	800	234	295	460	11	1,326	1,451	2,952	1,614	9,377
	水痘	2	5	25	17	-	20	-	24	62	38	26	219
	手足口病	16	25	132	40	5	49	-	67	40	171	68	613
	伝染性紅斑	1	-	1	1	-	1	-	7	2	1	1	15
	突発性発しん	11	9	49	1	2	56	-	44	44	94	56	366
	ヘルパンギーナ	43	43	75	232	18	78	-	388	240	369	150	1,636
	流行性耳下腺炎	-	1	7	5	-	21	-	2	5	5	5	51
	合計	335	324	1,800	871	403	1,544	16	2,518	5,138	5,376	2,666	20,991
眼科	急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	5
	流行性角結膜炎	13	3	4	15	-	-	-	-	67	22	2	126
	合計	14	3	4	15	-	3	-	-	68	22	2	131
性感染症	性器クラミジア感染症	-	1	18	62	19	22	10	36	-	48	5	221
	性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	-	7	12	23	40	-	25	-	107
	尖圭コンジローマ	-	-	-	-	17	17	1	5	-	9	-	49
	淋菌感染症	-	-	3	4	3	5	-	8	-	29	-	52
	合計	-	1	21	66	46	56	34	89	-	111	5	429
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	無菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	マイコプラズマ肺炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0

《表 - 11》 行政区別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	全区
インフル/ COVID-19	インフルエンザ	154.14	281.20	484.14	227.80	407.33	525.24	294.00	782.33	534.75	558.00	427.13	449.66
	新型コロナウイルス感染症	157.29	226.20	190.29	160.80	338.33	245.57	223.50	495.17	145.13	134.09	220.50	216.25
小児科	RSウイルス感染症	6.50	11.67	45.25	44.33	33.50	29.05	1.00	9.00	68.60	38.43	16.80	30.60
	咽頭結膜熱	13.00	12.00	74.25	28.67	2.00	66.50	-	35.50	199.80	66.14	66.80	63.83
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14.00	21.33	58.25	40.67	6.00	81.00	4.00	120.50	390.40	144.86	65.60	108.67
	感染性胃腸炎	32.00	35.33	200.00	78.00	147.50	94.40	11.00	331.50	290.20	421.71	322.80	218.72
	水痘	0.50	1.67	6.25	5.67	-	4.05	-	6.00	12.40	5.43	5.20	5.11
	手足口病	4.00	8.33	33.00	13.33	2.50	9.80	-	16.75	8.00	24.43	13.60	14.27
	伝染性紅斑	0.25	-	0.25	0.33	-	0.20	-	1.75	0.40	0.14	0.20	0.35
	突発性発しん	2.75	3.00	12.25	0.33	1.00	11.80	-	11.00	8.80	13.43	11.20	8.54
	ヘルパンギーナ	10.75	14.33	18.75	77.33	9.00	15.70	-	97.00	48.00	52.71	30.00	38.07
	流行性耳下腺炎	-	0.33	1.75	1.67	-	4.30	-	0.50	1.00	0.71	1.00	1.19
	合計	83.75	108.00	450.00	290.33	201.50	316.80	16.00	629.50	1,027.60	768.00	533.20	489.34
眼科	急性出血性結膜炎	1.00	-	-	-	...	3.00	...	...	1.00	-	-	0.50
	流行性角結膜炎	13.00	3.00	4.00	7.50	...	-	...	...	67.00	11.00	2.00	12.60
	合計	14.00	3.00	4.00	7.50	...	3.00	...	...	68.00	11.00	2.00	13.10
性感染症	性器クラミジア感染症	-	1.00	18.00	31.00	19.00	22.00	10.00	36.00	-	24.00	5.00	17.22
	性器ヘルペスウイルス感染症	-	-	-	-	7.00	12.00	23.00	40.00	-	12.50	-	8.40
	尖圭コンジローマ	-	-	-	-	17.00	17.00	1.00	5.00	-	4.50	-	3.85
	淋菌感染症	-	-	3.00	2.00	3.00	5.00	-	8.00	-	14.50	-	4.07
	合計	-	1.00	21.00	33.00	46.00	56.00	34.00	89.00	-	55.50	5.00	33.54
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	無菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	マイコプラズマ肺炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0

## 2 検 査 情 報

### (1) 三類感染症

#### ア 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付された表1に示す152検体について検査を実施した。なお、コレラ菌、赤痢菌、パラチフスA菌及びチフス菌については、コレラ汚染地域への渡航者が消化器系感染症を発症した場合などに、患者、患者との接触者及び旅行の同行者について検査を実施する。

表1 三類感染症病原体検査 取扱件数及び項目数

検体数		152 (ふん便	117 , 菌株	35 )	陽性数
検査項目	コレラ菌	2 (ふん便	2 , 菌株	0 )	0
	赤痢菌	4 (ふん便	4 , 菌株	0 )	0
	パラチフスA菌	5 (ふん便	4 , 菌株	1 )	0
	チフス菌	5 (ふん便	4 , 菌株	1 )	1
	EHEC	136 (ふん便	103 , 菌株	33 )	37
合計		152 (ふん便	117 , 菌株	35 )	38

#### イ 検査方法

常法により直接又は増菌培養した後に寒天培地に接種し、分離菌について生化学的性状と血清反応等による同定を行った。腸管出血性大腸菌については、免疫クロマト法（以下「IC法」という。）及び逆受身ラテックス凝集反応法による毒素検出とPCR法による毒素遺伝子の確認を行った。また、医療機関などで検出された菌株についても、同様に同定を行った。

#### ウ 結果

腸管出血性大腸菌は、患者及び接触者等のふん便103検体から4株を分離した。また、医療機関で分離された菌株33株（疑い事例を含む）が当所に搬入され、33株を分離した。検査を行った計37株の血清型及び毒素型は表2のとおりであった。

表2 腸管出血性大腸菌の血清型別の検出状況

血清型（毒素型）	株数	血清型（毒素型）	株数
O8 : H19(VT2)	1 株	O146: HNM(VT2)	1 株
O8 : HUT (VT2)	2 株	O157 : H7 (VT2)	11 株
O26 : HNM (VT1)	1 株	O157 : H7 (VT1+2)	6 株
O103 : H2(VT1)	1 株	O157 : HNM (VT1+2)	3 株
O128 : H2 (VT1+2)	3 株	OUT: HUT(VT2)	1 株
O111: HNM (VT1)	2 株	OUT: HUT(VT1)	1 株
O115: H10(VT1)	2 株	OUT: H7(VT2)	1 株
O115: HUT(VT1)	1 株	合計	37 株

### (2) 四類感染症

#### ア デングウイルス

##### (ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送

付されたもの（血液及び尿）を検査対象とする。

(イ) 検査方法

デングウイルスの非構造タンパク抗原検査（以下「NS1」という。）については、医療機関での検査が未実施の血液検体を対象に、検査キットに添付のマニュアルに従い行う。遺伝子検査は、国立感染症研究所のデングウイルス感染症診断マニュアルに準じ、検体から RNA を抽出し、リアルタイム RT-PCR 法により行う。

(ウ) 結果

8月に1事例（1名2検体）、9月に1事例（1名2検体）、10月に3事例（3名5検体）の検査を実施し、NS1 陽性（医療機関での検査実施分を含む）は3名であった。遺伝子検査ではデングウイルス1型を1名2検体から、3型を2名4検体から検出した。いずれの事例も海外渡航者等、海外における感染であった。

イ ジカウイルス

(ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（血液及び尿）を検査対象とする。

(イ) 検査方法

遺伝子検査は、国立感染症研究所のジカウイルス感染症診断マニュアルに準じ、検体から RNA を抽出し、リアルタイム RT-PCR 法により行う。

(ウ) 結果

4月に1事例（1名2検体）の検査を実施したが、ジカウイルスは検出されなかった。

ウ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス

(ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（血液、鼻咽頭ぬぐい液及び尿）を検査対象とした。

(イ) 検査方法

検査は、国立感染症研究所の SFTS ウイルス検査マニュアルに準じ、検体から RNA を抽出し、RT-PCR 法により行った。

(ウ) 結果

3月に1事例（1名3検体）の検査を実施したが、SFTS ウイルスは検出されなかった。

エ M 痘ウイルス

(ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（咽頭拭い及び病変部拭い若しくは肛門拭い）を検査対象とする。

(イ) 検査方法

検体を常法により前処理した後、RNA を抽出し、RT-PCR 法により遺伝子検出を行う。

(ウ) 結果

2月に1事例(1名2検体)、5月に1事例(1名2検体)の検査を実施したが、M痘ウイルスは検出されなかった。

(3) 五類感染症

ア 感染性胃腸炎患者集団発生事例(図1/p.41、表3/p.42)

(ア) 検査対象

高齢者福祉施設等からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの(ふん便)を検査対象とした。

(イ) 検査方法

検体を常法により前処理した後、RNAを抽出し、リアルタイムRT-PCR法によりノロウイルスの遺伝子検出を行った。また、必要に応じて、リアルタイムRT-PCR法でサポウイルスの遺伝子検出を、IC法でロタウイルス及びアデノウイルスの抗原検出を行った。

(ウ) 結果と考察

図1及び表3に示すとおり、令和5年は、1月に7施設、2月に10施設、3月に4施設、4月に1施設、5月に3施設、9月に1施設、10月に1施設、12月に3施設の計30施設の集団感染事例が発生し、患者便137検体を採取し検査を行った。そのうち、22施設88検体からノロウイルスGII、2施設10検体からノロウイルスGI、4施設18検体からサポウイルスを検出した。

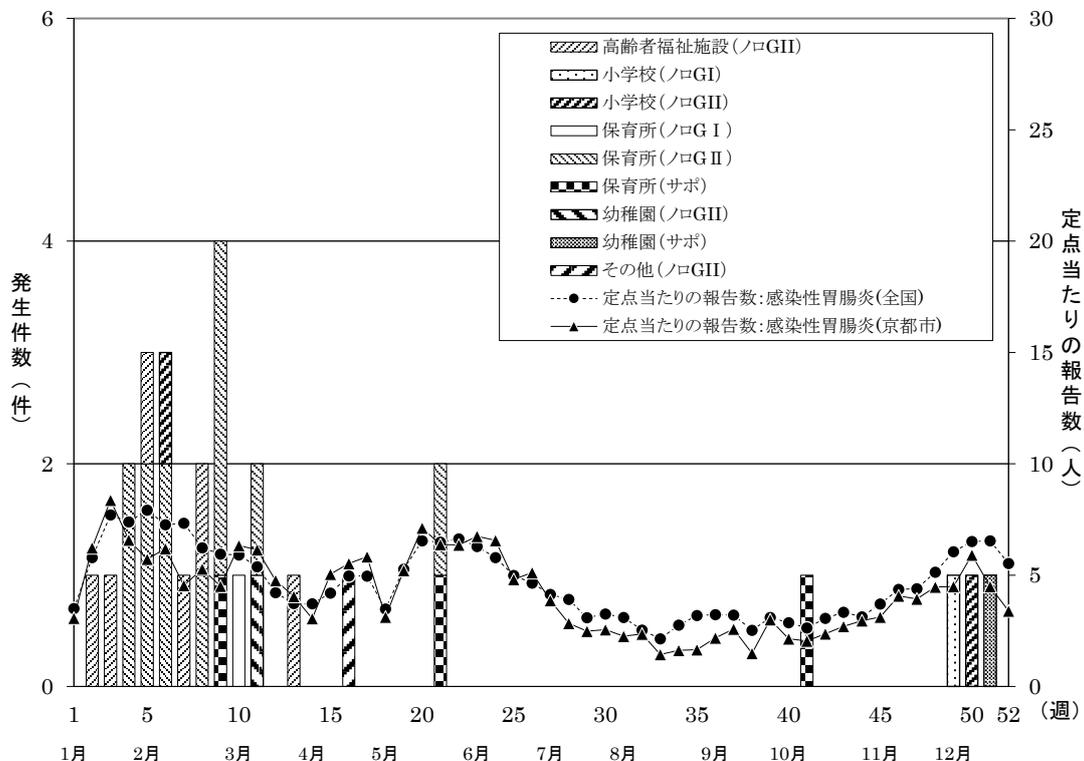


図1 感染性胃腸炎の集団発生事例における発生施設及び病因物質別の発生状況(令和5年)

表3 感染性胃腸炎患者集団発生事例における病原体検出状況

月	週	行政区	施設	検体数		陽性数	検出検体
1	2	中京区	高齢者福祉施設	患者便	6	6	ノロウイルスGII
	3	伏見区	高齢者福祉施設	患者便	5	5	ノロウイルスGII
	4	西京区	保育所	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	4	北区	保育所	患者便	4	3	ノロウイルスGII
	5	中京区	保育所	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	5	右京区	保育所	患者便	5	5	ノロウイルスGII
	5	山科区	高齢者福祉施設	患者便	5	5	ノロウイルスGII
2	6	洛西支所	小学校	患者便	12	10	ノロウイルスGII
	6	北区	保育所	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	6	上京区	保育所	患者便	2	1	ノロウイルスGII
	7	右京区	高齢者福祉施設	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	8	左京区	保育所	患者便	2	2	ノロウイルスGII
	8	山科区	高齢者福祉施設	患者便	3	3	ノロウイルスGII
	9	西京区	保育所	患者便	5	5	ノロウイルスGII
	9	左京区	保育所	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	9	醍醐支所	保育所	患者便	4	4	サポウイルス
	9	山科区	保育所	患者便	4	4	ノロウイルスGII
3	10	右京区	保育所	患者便	4	3	ノロウイルスGI
	11	深草支所	保育所	患者便	4	1	ノロウイルスGII
	11	東山区	幼稚園	患者便	5	5	ノロウイルスGII
	13	左京区	高齢者福祉施設	患者便	3	2	ノロウイルスGII
4	16	左京区	児童福祉施設	患者便	4	3	ノロウイルスGII
5	21	深草支所	保育所	患者便	5	4	ノロウイルスGII
	21	左京区	保育所	患者便	3	3	サポウイルス
	21	左京区	保育所	患者便	3	0	陰性
9	36	左京区	保育所	患者便	5	0	陰性
10	41	深草支所	保育所	患者便	3	3	サポウイルス
12	49	南区	小学校	患者便	7	7	ノロウイルスGI
	50	南区	小学校	患者便	6	4	ノロウイルスGII
	51	伏見区	幼稚園	患者便	8	8	サポウイルス
合計					137	116	

## イ 麻しんウイルス及び風しんウイルス

### (ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（鼻咽頭ぬぐい液、尿及び血液）を検査対象とした。

なお、風しんとして届出のあった検体についても検査対象とした。

### (イ) 検査方法

検査は、国立感染症研究所の病原体検出マニュアル麻しんに準じ、検体から RNA を抽出し、RT-PCR 法又はリアルタイム RT-PCR 法による遺伝子検出を行った。また、培養細胞 B95a 細胞によるウイルス分離を行った。風しんは国立感染症研究所の病原体検出マニュアル風しんに準じ検査を行った。

### (ウ) 結果

麻しん疑いとして届出のあった事例は4月に1事例（1名2検体）、5月に1事例（1名2検体）、6月に2事例（2名6検体）、7月に2事例（2名5検体）、8月に1事例（1名3検体）、9月に1事例（1名3検体）、10月に1事例（1名3検体）、11月に1事例（1名3検体）、また、風しん疑いとして届出のあった事例は4月に1事例（1名1検体）、5月に1事例（1名3検体）、11月に2事例（2名3検体）であり、全ての検体について検査を行ったが、麻しんウイルス及び風しんウイルスともに検出しなかった。

## ウ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

### (ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、衛生環境研究所に送付された検体（医療機関等で検出された菌株）について検査を実施した。

### (イ) 検査方法

検査は、溶血性レンサ球菌の分離培養、生化学的性状等検査、Lancefield 群別及び T 型別（A 群のみ）の血清学的検査を行った。検査終了後は、詳細な解析を行うため、衛生環境研究所で分離した菌株を溶血性レンサ球菌レファレンスセンターの地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送付した。

### (ウ) 結果

検出された月ごとの株の種類と株数は表4のとおり。

表4 劇症型溶血レンサ球菌月ごとの株の種類と株数

月	A群		B群	G群
	T1	T12		
1				2
4				2
5				1
6	1		1	1
7				1
8				1
10	1	1		1
11	1			
小計	3	1	1	9
合計				14

#### (4) 京都市感染症発生動向調査事業における病原体検査（定点医療機関分）

##### ア 検査対象感染症

令和5年1月から12月までに病原体検査を行った疾病は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、手足口病、感染性髄膜炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、RSウイルス感染症、その他の計10疾病であった。

##### イ 検査材料

検査材料は、市内4箇所の病原体定点（小児科定点4箇所、インフルエンザ定点4箇所、眼科定点1箇所、基幹定点1箇所）の医療機関の協力により採取されたもので、患者84名から表5に示す検査材料について検査を行った。

##### ウ 検査方法

###### (ア) ウイルス検査

検体を常法により前処理した後、培養細胞（FL「ヒト羊膜由来細胞」、RD-18S「ヒト胎児横紋筋腫由来細胞」及びVero「アフリカミドリザル腎由来細胞」）を用いてウイルス分離を行った。インフルエンザウイルスの分離には、培養細胞（MDCK「イヌ腎由来細胞」）を使用した。

分離したウイルスの同定には、中和反応、ダイレクトシーケンス法、蛍光抗体法（以下「FA法」という。）及びリアルタイムRT-PCR法等を用いた。

###### (イ) 細菌検査

常法により、ふん便から下痢原性大腸菌、サルモネラ属菌及び黄色ブドウ球菌などの食中毒や感染性胃腸炎の起因菌の分離を、鼻咽頭拭い液等から溶血性レンサ球菌などの呼吸器感染症の起因菌の分離を行った。

表5 検査材料別・ウイルス及び細菌別の検査実施状況

		ウイルス	細菌	全数
受付患者数		83	52	84
検査材料	ふん便	55	50	55
	鼻咽頭ぬぐい液	28	2	28
	髄液	4	3	4
	咽頭うがい液	2	1	3
	その他	1	0	1
	眼ぬぐい液	1	0	1
	検体合計	91	56	92
病原体検出患者数		17	17	34
病原体の検出株数		18	17	35
患者当たりの検出率(%)		20.5	32.7	40.5

エ 検査結果

(ア) 月別病原体検出状況 (小児科、インフルエンザ、眼科、基幹定点) (表 8/p.52)

各月の受付患者数は、5月、7月、12月が最も多く13名で、1月及び2月は最も少なくそれぞれ1名受付であった。年間の受付患者84名のうち34名から35株の病原微生物を検出し、受付患者当たりの検出率は40.5%であった。

ウイルス検査では、被検患者83名中17名から18株のウイルスを検出した。被検患者当たりのウイルス検出率は20.5%であった。検出したウイルスの内訳は、表6のとおりである。

表6 検出したウイルス・細菌の内訳

検出ウイルス	株数	検出比率	検出細菌	株数	検出比率
エンテロウイルス	<b>9</b>	<b>25.7</b>	黄色ブドウ球菌	<b>1</b>	<b>2.9</b>
エコー11型	1	2.9	コアグラエゼ型別不明		
コクサッキーA2型	1	2.9	サルモネラ	<b>1</b>	<b>2.9</b>
コクサッキーA4型	2	5.7	下痢原性大腸菌		
コクサッキーA8型	1	2.9	EPEC(2株)	<b>15</b>	<b>42.9</b>
コクサッキーA9型	1	2.9	EaggEC(1株)		
コクサッキーA10型	1	2.9	その他病原性大腸菌(12株)		
コクサッキーB5型	2	5.7	小計		
アデノウイルス	<b>1</b>	<b>2.9</b>			
アデノ1型	1	2.9			
ノロウイルス	<b>3</b>	<b>8.6</b>			
GⅡ型	3	8.6			
RSウイルス	<b>4</b>	<b>11.4</b>			
インフルエンザウイルス	<b>1</b>	<b>2.9</b>			
インフルエンザAH1pdm09型	1	2.9			
小計	<b>18</b>	<b>51.4</b>	合計	<b>35</b>	<b>56.3</b>

検出ウイルスの季節推移をみると、エンテロウイルス(コクサッキーA群、コクサッキーB群ウイルス及びエコーウイルス)は4月から10月にかけて検出した。アデノウイルスは12月に検出した。

ノロウイルスは、6月から8月に検出した。RSウイルスは、4月及び5月に検出した。

インフルエンザウイルスは9月に検出した。

細菌検査では、被検患者52名中17名から17株の病原細菌を検出し、患者当たりの検出率は32.7%であった。検出した細菌の内訳は表6のとおりである。

黄色ブドウ球菌は5月、下痢原性大腸菌を3月から7月10月及び12月に、サルモネラを8月に検出した。

(イ) 感染症別病原体検出状況 (小児科、インフルエンザ、眼科、基幹定点) (表 9/p.53)

感染性胃腸炎は、受付患者数の58.3%、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎などの呼吸器疾患は、33.3%を占めていた。

主な感染症別の病原体検出率は、咽頭結膜熱が71.4%、インフルエンザ及び手足口病が50.0%、RSウイルス感染症が42.9%、感染性胃腸炎が40.8%、感染性髄膜炎が33.3%、ヘルパンギーナが27.3%であった。

主な感染症について、ウイルスの検出状況をみると、咽頭結膜熱では、5種5株、感染性胃腸炎では、ノロウイルス1種3株、RSウイルスでは3株、ヘルパンギーナでは3種3株をそれぞれ検出した。

また、細菌の検出状況をみると、感染性胃腸炎の検体から、黄色ブドウ球菌1株、サルモネラ1株、下痢原性大腸菌15株の計17株を検出した。

(ウ) 年齢階層別病原体検出状況 (小児科、インフルエンザ、眼科、基幹定点) (表 10/p.54)

受付患者の年齢階層別分布をみると、1～4歳が50名(59.5%)で最も多く、次いで0歳17名(20.2%)であった。

年齢階層別の受付患者当たりの検出率は、5～9歳が46.7%(ウイルス2種2株、細菌2種5株)、1～4歳が40.0%(ウイルス8種10株、細菌1種11株)、0歳が29.4%(ウイルス4種4株、細菌1種1株)であった。

エンテロウイルスは1～4歳で5種5株、0歳で3種3株、5～9歳で1種1株、アデノウイルスは1～4歳で1種1株を検出した。ノロウイルスは1～4歳、5～9歳及び10～14歳でそれぞれ1種1株を検出した。RSウイルスは1～4歳でそれぞれ3株、0歳で1株を検出した。インフルエンザウイルスはAH1pdm09型を15歳以上で1株検出した。

(エ) 主な疾病（臨床診断）と病原体検出状況（表8/p.52、表9/p.53、表10/p.54）

a インフルエンザ（図2-1、図2-2）

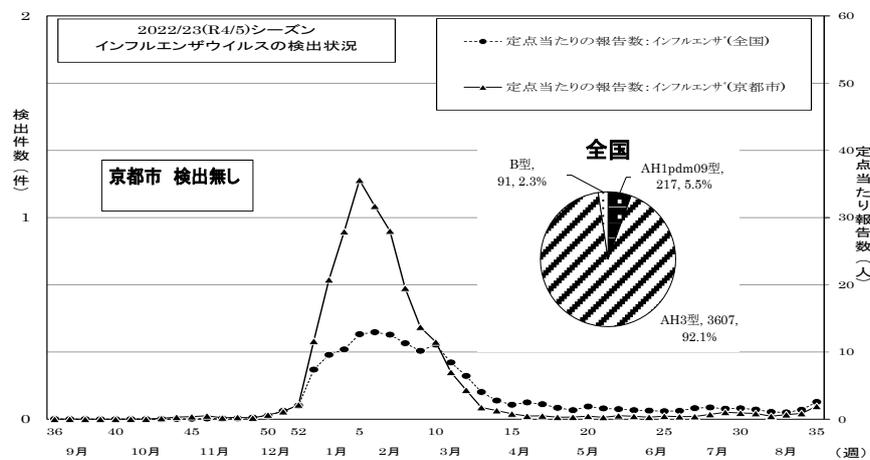


図2-1 インフルエンザ患者の発生状況とインフルエンザウイルスの検出状況(令和4年9月～令和5年8月)

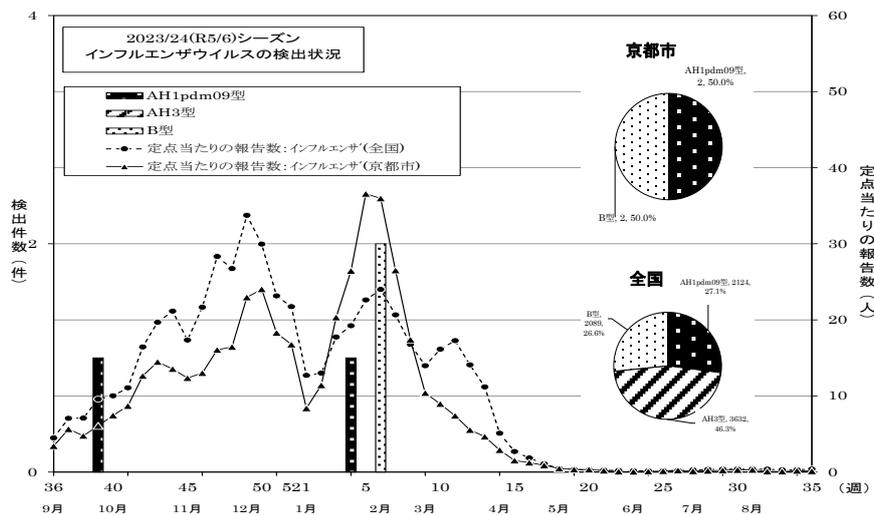


図2-2 インフルエンザ患者の発生状況とインフルエンザウイルスの検出状況(令和5年9月～令和6年8月)

本市感染症発生動向調査患者情報によると、2022/23 (R4/5) シーズンは令和4年12月の第51週に定点当たり報告数が1.0を超え、インフルエンザの流行期に入り、令和5年1月第2週に注意報レベル10を1月第5週に警報レベル30を超えピークを形成後減少に転じ、4月第15週で終息した。が、その後、7月第29週とシーズン終わりの8月第35週で1.0を超えた。全国でも同様に、令和4年12月の第51週に流行期に入り、

令和5年1月の第4週に注意報レベルの10を超えた後、2月第6週でピークを形成し減少に転じたが、このシーズン終了まで1.0を下回ることなく推移した。本市ではインフルエンザの検出がなく、全国ではAH1pdm09型217株、AH3型3607株、B型91株の検出があった。

本市の2023/24 (R5/6) シーズンは前シーズン1.0を下回らず推移し、令和5年10月の第42週に注意報レベル10を超え12月第50週に第1回目のピークを形成したのち、一旦減少したが再度増加し、1月の第5週で警報レベルを超え第2回目のピークを形成し、4月第17週で終息した。全国の推移は、前シーズン終了まで1.0を下回ることなく推移してシーズン入りした後増加し、10月第40週で注意報レベルを、12月第49週で警報レベルを超えピークを形成した後減少し、再増加があったものの4月第18週で終息した。インフルエンザウイルスの検出状況は本市で9月の第39週及び1月第4週にAH1pdm09型をそれぞれ1株、2月第6週にB型2株検出した。全国では、AH1pdm09型を2124株、AH3型を3632株、B型2089株であった。

b 感染性胃腸炎 (図3-1、図3-2)

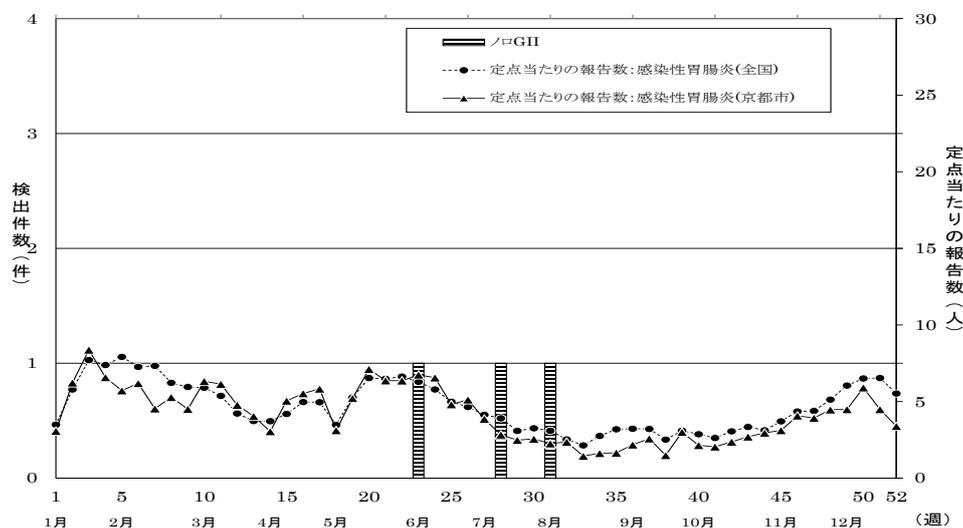


図3-1 感染性胃腸炎患者における病原ウイルスの検出状況(令和5年)

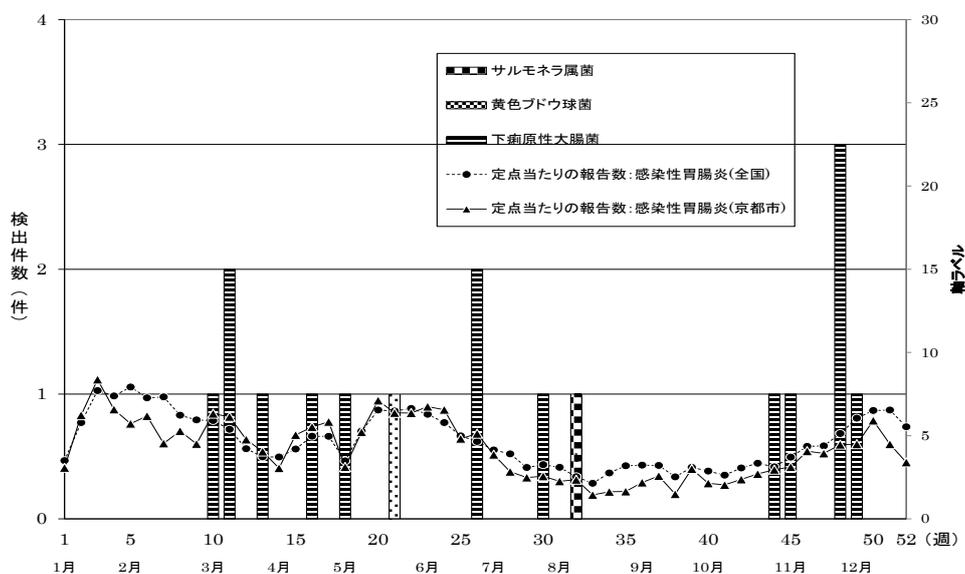


図3-2 感染性胃腸炎患者における病原細菌の検出状況(令和5年)

本市では、臨床診断名が感染性胃腸炎の受付検患者 49 名のうち 20 名からウイルス 3 株及び細菌 17 株を検出した。ウイルスでは、6 月、7 月及び 8 月にノロウイルスの GII を各月 1 株ずつ検出した。

細菌では、黄色ブドウ球菌を 5 月に 1 株、サルモネラを 8 月に 1 株、下痢原性大腸菌を 3 月から 7 月に合計 9 株及び 10 月から 12 月に合計 6 株を検出した。

c RS ウイルス感染症 (図 4)

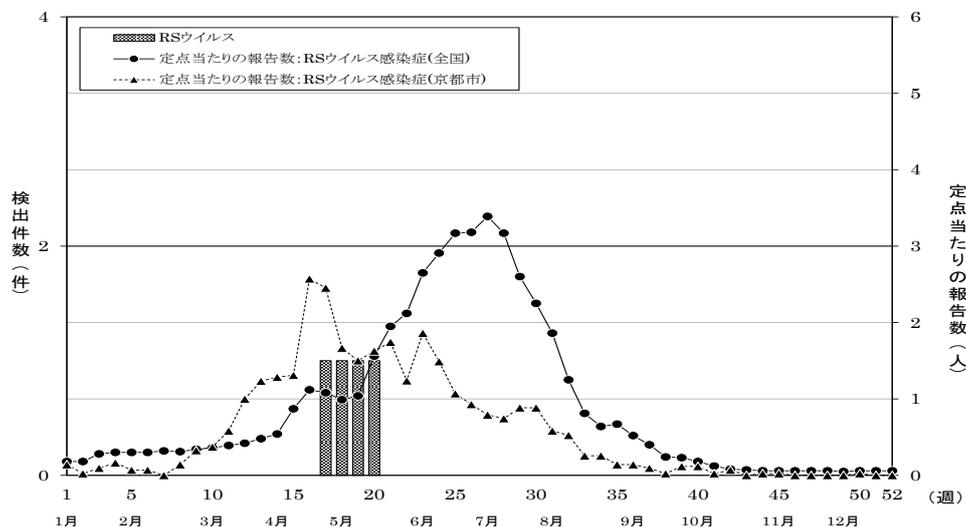


図 4 RS ウイルス感染症患者におけると病原体の検出状況(令和 5 年)

本市における臨床診断名が RS ウイルス感染症の受付検患者数は 7 名で、うち 3 名から RS ウイルスを 3 株検出した。

d 咽頭結膜熱 (図 5)

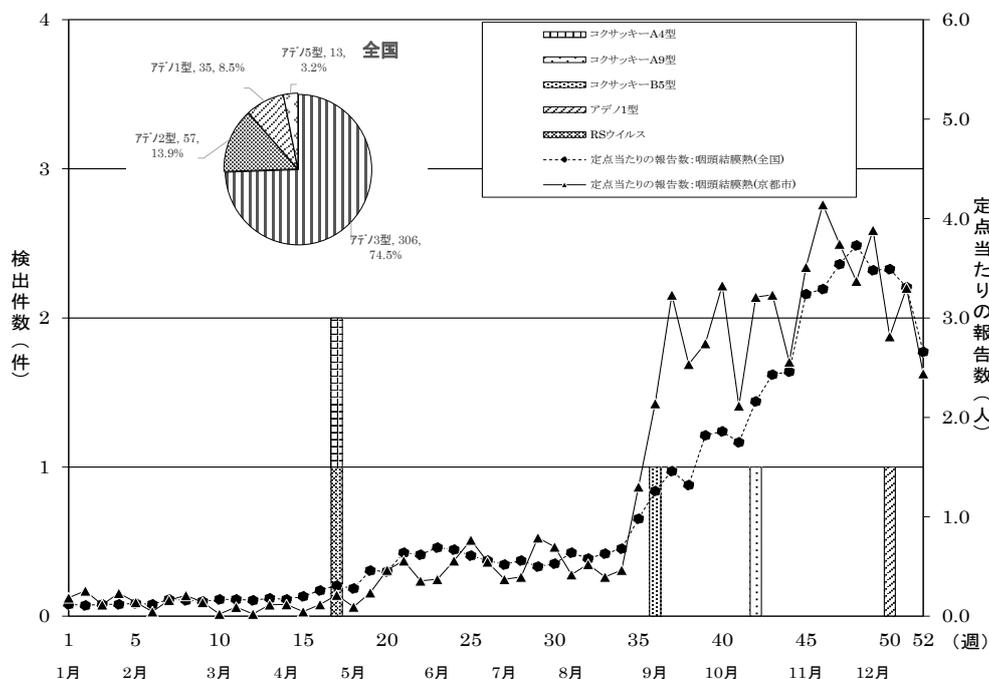


図 5 咽頭結膜熱患者発生状況と病原体検出状況(令和 5 年)

本市感染症発生動向調査患者情報によると、9 月の第 37 週に定点当たり報告数が警報レベル 3.0 を超え、

12月の第52週まで高い状態で推移した。全国では11月の第45週に定点当たり報告数が警報レベル3.0を超え、12月第52週まで高い状態で推移した。本市における臨床診断名が咽頭結膜熱の受付患者数は7名であったが、うち5名からコクサッキーA4型1株、コクサッキーA9型1株、コクサッキーB5型1株、アデノ1型1株、RSウイルス1株を検出した。

令和5年の全国の咽頭結膜熱におけるウイルスの検出状況では、図5のとおりでアデノウイルス3型が最も多く74.5%であった。

e A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図6-1、図6-2)

本市における臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の受付患者数は1名で、A群溶血性レンサ球菌は検出しなかった。全国のT血清型別検出比率をみると、T12型の検出率が高く、35.3%であった。

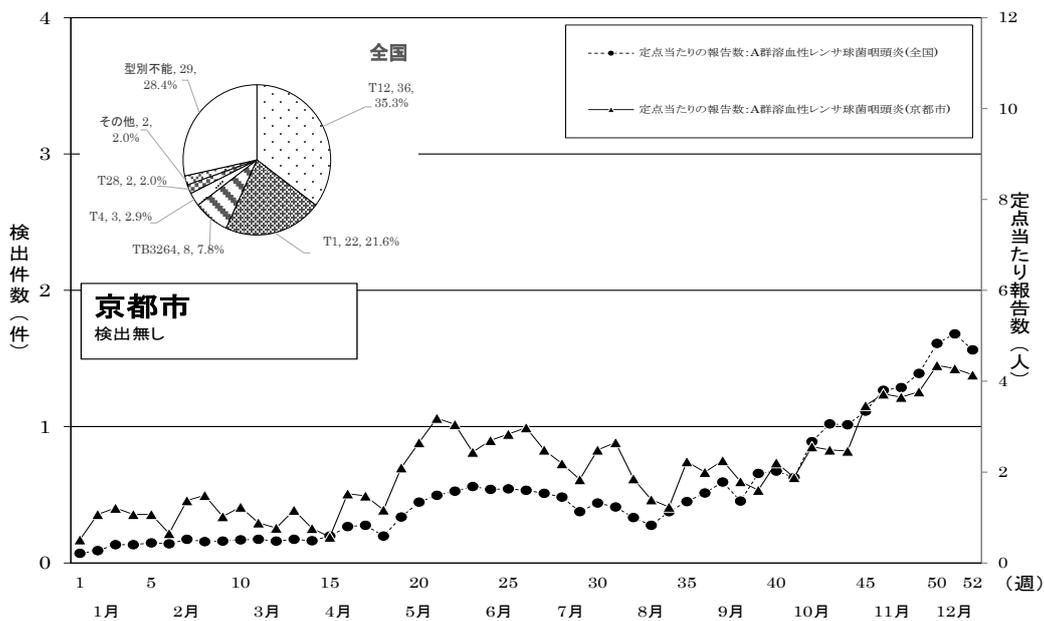


図6-1 A群溶血性レンサ球菌(T血清型別)の検出状況(令和5年)

f ヘルパンギーナ (図7)

臨床診断名がヘルパンギーナの受付患者数は11名で、うち3名からコクサッキーA2型、コクサッキーA4型、コクサッキーA8型を検出した。令和5年は本市全国ともに5月から増加し始め、本市は6月第24週に

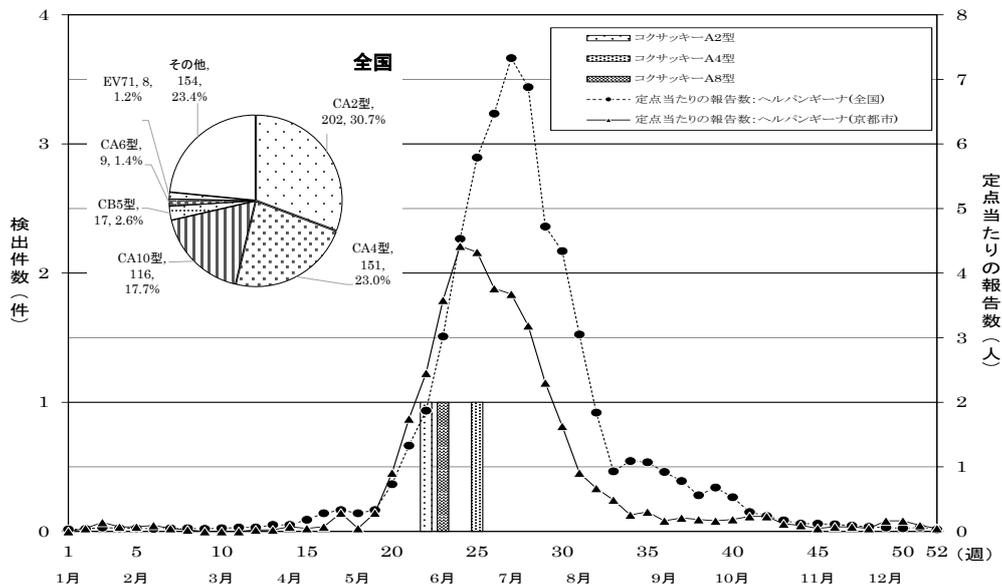


図7 ヘルパンギーナ患者における病原ウイルスの検出状況(令和5年)

全国は7月第27週にそれぞれピークを形成し、全国では警報レベル6.0を超過した。全国の病原体検出状況を図7に示した。令和5年は、コクサッキーA群ウイルス2型(30.7%)、4型(23.0%)の順にウイルスが検出された。

g 手足口病 (図8)

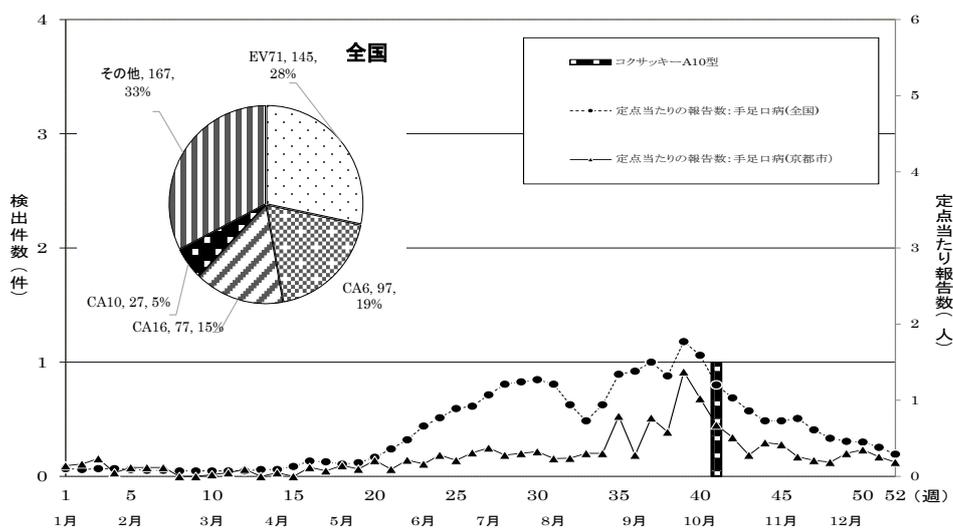


図8 手足口病患者における病原ウイルス検出状況(令和5年)

令和5年は本市、全国共に6月から緩やかに増加し始め、ブロードなピークを形成し本市、全国ともに9月(第39週)に微小なピークトップを示して以降、減少した。本市では、臨床診断名が手足口病の受付患

者数は2名で、そのうち1名からコクサッキーA10型を1株検出した。全国では、エンテロウイルス71型が28.0%、コクサッキーA6型が19.0%、16型が15.0%、10型が5.0%、その他33%であった。

(オ) 検体別・検出方法別病原ウイルス検出状況(表 11/p.55)

エコーウイルスは、11型の2株がRD-18S細胞で分離された。うち1株は遺伝子検査でも検出された。コクサッキーウイルスA群は4型を1株がRD-18S細胞で分離され遺伝子検査でも検出された。また、コクサッキーA2型1株、A8型1株、A9型1株、A10型1株、B5型3株を遺伝子検査によりウイルス遺伝子を検出した。アデノウイルス1型は1株を遺伝子検査及びイムノクロマトで検出した。インフルエンザウイルスはAH1pdm09型を1株、遺伝子検査で検出した。

ノロウイルスはG IIを3株、RSウイルスは3株を遺伝子検査によりウイルス遺伝子を検出した。培養細胞法によるウイルスの検査体制はほぼ確立されているが、被検患者から採取した検体中に活性のあるウイルスが存在していることが必須条件となり、採取後の温度や期間等の保管条件によっては失活し検出できなくなる。また、分離困難なウイルスも存在するといった欠点がある。

感染症発生动向調査においても、迅速な実験室診断が要請される傾向は年々強まっており、検出率と迅速性の向上を目指して、培養細胞法と並行して可能な限り新たな検査技術の導入を図っていかねばならないと考える。

オ まとめ

(ア) 京都市感染症発生动向調査事業における病原体検査（定点医療機関分）では、受付患者84名のうち34名(40.5%)から病原体を検出した。ウイルスでは、被検患者83名中17名(20.5%)から、エコー、コクサッキーA群、B群、アデノ、ノロ、RS、インフルエンザのウイルス7種類18株を検出した。細菌では、被検患者52名中17名(32.7%)から、黄色ブドウ球菌、下痢原性大腸菌及びサルモネラ菌の細菌17株を検出した。

(イ) 感染症別病原体の検出率は、疾病の種類により異なり、咽頭結膜熱が71.4%、手足口病が50.0%、RSウイルス感染症が42.9%、感染性胃腸炎が40.8%、感染性髄膜炎が33.3%、ヘルパンギーナが27.3%であった。

(ウ) 新型コロナウイルス感染症流行の影響と思われるインフルエンザや咽頭結膜熱など例年とは違う推移を示す感染症があった。

表 8 月別病原体検出状況(小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹定点)

令和 5 年 1 月～12 月

検体採取月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	病原体検出比率 (%)		
総受付患者数		1	1	6	4	13	7	13	12	4	6	4	13	84			
検査材料	ふん便	1	1	6	2	6	3	9	8	2	2	4	11	55		92	
	鼻咽頭ぬぐい液	0	0	0	2	7	1	4	4	4	4	0	2	28			
	髄液	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4			
	咽頭うがい液	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3			
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			
	眼結膜ぬぐい液	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			
病原体検出患者数		0	0	4	2	6	4	3	4	2	3	4	2	34			
患者当たりの検出率(%)		0.0	0.0	66.7	50.0	46.2	57.1	23.1	33.3	50.0	50.0	100.0	15.4	40.5			
ウイルス	被検患者数		1	1	6	4	13	7	13	11	4	6	4	13	83	/	
	検出患者数		0	0	0	1	4	3	1	3	2	2	0	1	17		
	患者当たりの検出率(%)		0.0	0.0	0.0	25.0	30.8	42.9	7.7	27.3	50.0	33.3	0.0	7.7	20.5		
	エンテロ	エコー11型								1					1		2.9
		コクサッキーA2型					1								1		2.9
		コクサッキーA4型					1		1						2		5.7
		コクサッキーA8型							1						1		2.9
		コクサッキーA9型										1			1		2.9
		コクサッキーA10型										1			1		2.9
		コクサッキーB5型								1	1				2		5.7
	アデノ	アデノ1型											1	1	2.9		
	ノロウイルスGII型						1	1	1						3		8.6
	RSウイルス					1	3								4		11.4
	インフル	インフルエンザAH1pdm09型									1				1		2.9
小計		0	0	0	2	4	3	1	3	2	2	0	1	18	51.4		
細菌	被検患者数		1	1	6	2	5	3	8	9	1	2	4	10	52	/	
	検出患者数		0	0	4	1	2	1	2	1	0	1	4	1	17		
	患者当たりの検出率(%)		0.0	0.0	66.7	50.0	40.0	33.3	25.0	11.1	0.0	50.0	100.0	10.0	32.7		
	黄色ブドウ球菌						1								1		2.9
	サルモネラ									1					1		2.9
	下痢原性大腸菌				4	1	1	1	2			1	4	1	15		42.9
小計		0	0	4	1	2	1	2	1	0	1	4	1	17	48.6		
合計		0	0	4	3	6	4	3	4	2	3	4	2	35	100.0		

表 9 感染症別病原体検出状況(小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹定点)

令和5年1月~12月

疾病名		感染性胃腸炎	インフルエンザ	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	手足口病	感染性髄膜炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	流行性角結膜炎	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	その他	計(重複有)	計(重複無)		病原体検出比率(%)	
総受付患者数		49	2	11	7	2	6	1	1	0	7	1	87	84			
検査材料	ふん便	49	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	55	55	92		
	鼻咽頭ぬぐい液	1	2	7	5	2	4	0	1	0	6	1	29	28			
	髄液	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	5	4			
	咽頭うがい液	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	3			
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1			
	眼結膜ぬぐい液	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1			
病原体検出患者数		20	1	3	5	1	2	0	0	0	3	0	35	34			
患者当たりの検出率(%)		40.8	50.0	27.3	71.4	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	40.2	40.5			
ウイルス	被検患者数		49	2	11	7	2	6	0	1	0	7	1	86	83		
	検出患者数		3	1	3	5	1	2	0	0	0	3	0	18	17		
	患者当たりの検出率(%)		6.1	50.0	27.3	71.4	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	20.9	20.5		
	エンテロ	エコー11型						1						1	1	2.9	
		コクサッキーA2型			1									1	1	2.9	
		コクサッキーA4型			1	1								2	2	5.7	
		コクサッキーA8型			1									1	1	2.9	
		コクサッキーA9型				1								1	1	2.9	
		コクサッキーA10型					1							1	1	2.9	
		コクサッキーB5型				1		1						2	2	5.7	
	アデノ	アデノ1型				1								1	1	2.9	
	ノロウイルスGII型		3											3	3	8.6	
	RSウイルス					1						3		4	4	11.4	
	インフル	インフルエンザAH1pdm09型		1										1	1	2.9	
小計		3	1	3	5	1	2	0	0	0	3	0	18	18	51.4		
細菌	被検患者数		48	0	0	0	0	3	1	0	0	0	52	52			
	検出患者数		17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17		
	患者当たりの検出率(%)		35.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.7	32.7		
	黄色ブドウ球菌		1											1	1	2.9	
	サルモネラ		1											1	1	2.9	
	下痢原性大腸菌		15											15	15	42.9	
小計		17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	48.6		
合計		20	1	3	5	1	2	0	0	0	3	0	35	35	100.0		

表 10 年齢階層別病原体検出状況(小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹定点)

令和5年1月~12月

年齢		0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15歳以上	計	病原体検出比率(%)	
総受付患者数		17	50	15	1	1	84		
検査材料	ふん便	10	32	12	1	0	55		92
	鼻咽頭ぬぐい液	9	18	0	0	1	28		
	髄液	2	1	1	0	0	4		
	咽頭うがい液	1	0	2	0	0	3		
	その他	0	1	0	0	0	1		
	眼結膜ぬぐい液	0	1	0	0	0	1		
病原体検出患者数		5	20	7	1	1	34		
患者当たりの検出率(%)		29.4	40.0	46.7	100.0	100.0	40.5		
被検患者数		17	50	14	1	1	83		
検出患者数		4	9	2	1	1	17		
患者当たりの検出率(%)		23.5	18.0	14.3	100.0	100.0	20.5		
ウイルス	エンテロ	エコー11型	1					1	2.9
		コクサッキーA2型		1				1	2.9
		コクサッキーA4型		1	1			2	5.7
		コクサッキーA8型		1				1	2.9
		コクサッキーA9型	1					1	2.9
		コクサッキーA10型		1				1	2.9
		コクサッキーB5型	1	1				2	5.7
	アデノ	アデノ1型		1				1	2.9
	ノロウイルスGI型			1	1	1		3	8.6
	RSウイルス		1	3				4	11.4
インフル	インフルエンザAH1pdm09型					1	1	2.9	
小計		4	10	2	1	1	18	51.4	
被検患者数		8	30	14	0	0	52		
検出患者数		1	11	5	0	0	17		
患者当たりの検出率(%)		12.5	36.7	35.7	0.0	0.0	32.7		
黄色ブドウ球菌		1					1		2.9
サルモネラ				1			1		2.9
下痢原性大腸菌			11	4			15		42.9
小計		1	11	5	0	0	17	48.6	
合計		5	21	7	1	1	35	100.0	

表 11 検出方法別病原ウイルス検出状況

令和5年1月～12月

		検体の種類				検出 件数	培養細胞				イムノ クロマト	遺伝子 検査
		ふん便	鼻咽頭 ぬぐい液	髄液	その他		FL	RD-18S	Vero	MDCK		
エンテロ	エコー11型	1	1			2						1
	コクサッキーA2型		1			1						1
	コクサッキーA4型		1		1	2		1				1
	コクサッキーA8型		1			1						1
	コクサッキーA9型		1			1						1
	コクサッキーA10型		1			1						1
	コクサッキーB5型	1	2			3						3
アデノ	アデノ1型		1			1				1		1
ノロウイルスGII型		3				3						3
インフル エンザ	インフルエンザ AH1pdm09型		1			1						1
RSウイルス			3			3						3
合 計		5	13	0	1	19	0	3	0	0	1	17